I イ ネ 1 水稲病害虫

水稲病害虫重点防除指導方針

福井米のレベルアップを積極的に推進し、消費者ニーズに応じた品質・食味に優れ、かつ安全で安心な福井米を生産するために、稲作栽培環境の改善を図るとともに病害虫の適切な防除を推進する。

1 安全で安心な福井米の生産

- (1) 農薬の使用時期、使用回数、散布量・濃度などの使用基準の遵守を推進する。
- (2) 生産履歴記帳を推進する。

2 発生予察に基づく防除の推進

- (1) 病害虫防除室および病害虫防除員等による発生予察を実施し、その発生予察情報を指導機関および 生産者へ迅速に提供する。
- (2) 要防除水準に基づく総合的な病害虫防除を推進する。

3 防除体制の整備

- (1) 地域における病害虫の発生動向を的確に把握するため、圃場内をよく調査する。防除にあたっては、 広域、請負、共同防除、大型防除機を利用し、適期に効率的な防除を推進する。
- (2) 無人航空機による防除は、危被害防止を万全にするため、国の「無人へリコプターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」または「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」および県の「福井県無人航空機利用空中散布等作業実施要領」に基づき適正に実施する。

4 水稲主要病害虫の防除技術

- (1) 種子消毒と育苗期の病害虫
 - ア 指定採種圃から採種された健全な種子を用いるとともに、種子消毒の徹底により育苗期の病害虫 発生の防止に努める。
 - イ 育苗器材の清浄、育苗施設での温度管理と苗立枯病の体系防除を推進する。
- (2) 本田初期病害虫
 - 育苗箱施薬による予防を基本とし、併せて中干し等による耕種的防除を推進する。
- (3) 収量、品質低下の影響が大きい病害虫
 - ア 穂いもち防除は出穂直前と穂揃直後の2回の薬剤散布を基本とし、多発が予想される場合は傾穂期にさらにもう1回の薬剤散布を実施する。
 - イ 紋枯病は近年の水稲生育期の気温上昇により多発傾向にあるので、箱粒剤等予防散布で発生を抑制するなど要防除水準に基づき薬剤散布を推進する。
 - ウ 斑点米カメムシ類の防除は、出穂10日前までに圃場周辺の草刈を行い、穂揃期~乳熟期と糊熟 初期の2回の薬剤散布を基本とし、多発が予想される場合は、さらにもう1回薬剤を散布する。
- (4) 移植時期が遅い栽培、直播栽培での病害虫
 - いもち病、紋枯病、イネツトムシ、ニカメイチュウ、イネヒメハモグリバエ、イネアオムシの発生が 多くなりやすいので、特に注意する。

5 環境に配慮した防除の推進

- (1) 住宅周辺では飛散の少ない粒剤・微粒剤等の使用を推進する。
- (2) 農薬散布時は排水路等への流出を防止するため、排水口を止水板(高さ 10 cm程度)などで閉じ、落水やかけ流しはしないなど、十分な止水管理を推進する。
- (3) 要防除水準に基づき適正に薬剤散布することで、環境負荷の少ない防除を推進する。
- (4) 種子消毒後の廃液および使用済み農薬等は、関係法令に基づき適正な処理を推進する。

RPA

(1)種子消毒・育苗管理

種子消毒

生」//17		T	1	ı		T	RP <i>F</i>
病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇		使用時期	使用方法	使用回数
いもち病	タフフ゛ロック	BM2		200倍	催芽時	24時間種子浸漬	-
				200倍	催芽前	24~48時間種子浸漬	-
	テクリート゛Cフロアフ゛ル	M1,3		7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理	1回
				20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
	ベンレートT水和剤20	M3,1		乾燥種籾重量の0.5~1%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
				20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
	ホーマイ水和剤	M3,1		20~30倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
				乾燥種もみ重量の0.5~1.0%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
	モミカ゛ート゛ C・DF	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	ŧミガードC水和剤	M1,12,		乾燥種籾重量の0.5%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
	ルーチンシート [*] FS	P3		乾燥種もみ1kg当り原液6~12mL(原液 71mL/10aまで)	は種前 (浸種後)	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに塗沫処理	1回
				乾燥種もみ1kg当り原液6~12mL(原液 71mL/10aまで)	は種前 (浸種前)	塗沫処理(種子被覆剤を加用)	1回
ごま葉枯	テクリート゛Cフロアフ゛ル	M1,3		20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
病				7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理	1回
	ベンレートT水和剤20	M3,1		20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
				乾燥種籾重量の0.5~1%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
	ホーマイ水和剤	M3,1		乾燥種もみ重量の0.5~1.0%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	10
				20~30倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
	モミカ゛ート゛ C・DF	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	tミガードC水和剤	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
				乾燥種籾重量の0.5%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
ばか苗病	タフフ゛ロック	BM2		200倍	催芽時	24時間種子浸漬	-
				200倍	催芽前	24~48時間種子浸漬	-
	テクリート゛Cフロアフ゛ル	M1,3		20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
				7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理	1回
	ベンレートT水和剤20	M3,1		乾燥種籾重量の0.5~1%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
				20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
				7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	ホーマイ水和剤	M3,1		乾燥種もみ重量の0.5~1.0%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
				20~30倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
	モミカ゛ート゛ C・DF	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	ŧミガードC水和剤	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
				乾燥種籾重量の0.5%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
もみ枯細	タフフ゛ロック	ВМ2		200倍	催芽時	24時間種子浸漬	-
菌病				200倍	催芽前	24~48時間種子浸漬	-
	テクリ−ド Cフロアブル	M1,3		7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理	1回
				20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
	モミカ゛ート゛ C・DF	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	モミガードC水和剤	M1,12,		乾燥種籾重量の0.5%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
		3		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回

病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用時期	使用方法	使用回数
褐条病	タフフ゛ロック	BM2		200倍	催芽時	24時間種子浸漬	-
	テクリート゛Cフロアフ゛ル	M1,3		20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
				7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理	1回
	モミカ゛ート゛ C・DF	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	tミガードC水和剤	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
				乾燥種籾重量の0.5%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
苗立枯細	タフフ゛ロック	BM2		200倍	催芽前	24~48時間種子浸漬	-
菌病				200倍	催芽時	24時間種子浸漬	-
	テクリート゛Cフロアフ゛ル	M1,3		7.5倍、使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL	浸種前	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)又は種子塗沫処理	1回
				20倍	浸種前	10分間種子浸漬	1回
	ŧミガードC・DF	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
	tミガードC水和剤	M1,12,		7.5倍(使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液 30mL)	浸種前	吹き付け処理(種子消毒機使用)又は塗沫処理	1回
				乾燥種籾重量の0.5%	浸種前	種子粉衣(湿粉衣)	1回
紋枯病	エバーゴルシードFS	7		乾燥種もみ1kg当り原液10mL(原液 44mL/10aまで)	は種前 (浸種後)	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに塗沫処理	1回
				乾燥種もみ1kg当り原液10mL(原液 44mL/10aまで)	は種前 (浸種前)	塗沫処理(種子被覆剤を加用)	1回
イネシンカ゛レセン チュウ	スミチオン乳剤	1B		1000倍	収穫21日 前まで	散布	2回以内
	パダンSG水溶剤	14	劇	1500~3000倍	浸種前	24時間種もみ浸漬	1回
イネト゛ロオイムシ	ヨーハ゛ルシート゛FS	28		乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液 55mL/10aまで)	は種前 (浸種後)	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに塗沫処理	10
				乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液 55mL/10aまで)	は種前 (浸種前)	塗沫処理(種子被覆剤を加用)	1回
	ルミピアFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液4~7mL	は種前 (浸種前)	種子吹き付け処理又は塗沫処理	1回
イネミス゛ソ゛ウム シ	ヨーハ゛ルシート゛FS	28		乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液 55mL/10aまで)	は種前 (浸種後)	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに塗沫処理	1回
				乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液 55mL/10aまで)	は種前 (浸種前)	塗沫処理(種子被覆剤を加用)	1回
	ルミヒ [®] アFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液4~7mL	は種前 (浸種前)	種子吹き付け処理又は塗沫処理	1回
ニカメイチュウ	ヨーハ゛ルシート゛ FS	28		乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液 55mL/10aまで)	は種前 (浸種前)	塗沫処理(種子被覆剤を加用)	1回
				乾燥種もみ1kg当り原液11mL(原液 55mL/10aまで)	は種前 (浸種後)	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに塗沫処理	1回
	ルミヒ゛アFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液4~7mL	は種前 (浸種前)	種子吹き付け処理又は塗沫処理	1回

育苗期間の防除

· 使电力	杏刘力	DAG	主劇	(本田) 曲	佐田 島	/古田吐田	(4.00	/击田□*/-
病害虫名 	薬剤名	RAC	毒劇		使用量	使用時期	使用方法	使用回数
い苗防止	タチガレエースM液剤	32,4		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5以)1箱当り500mL	は種時又は発芽後 	土壌灌注	1回
	タチカ゛レエースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り6~8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチガレン液剤	32		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチガ・レン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5以)1箱当り4~8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
褐条病	カスミン液剤	24		4~8倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5以)1箱当り希釈液50mL	覆土前	は種した種籾の上から均 一に散布する。	1回
	カスミン粒剤	24		育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5ね)1箱当り30g		は種前	育苗培土に均一に混和する。	1回
				育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り15~20g		覆土前	育苗箱には種した種籾の上から均一に散布する。	1回
根の生育促進	タチカ゚レエースM液剤	32,4		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	1回
	タチガレエースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り6~8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチガレン液剤	32		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチガレン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り4~8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
苗立枯細菌病	カスミン液剤	24		4~8倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り希釈液50mL	覆土前	は種した種籾の上から均 一に散布する。	1回
	カスミン粒剤	24		育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り15~20g		覆土前	育苗箱には種した種籾の 上から均一に散布する。	1回
				育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り30g		は種前	育苗培土に均一に混和する。	1回
苗立枯病(トリコデルマ菌)	ダコレート水和剤	M5,1		400~600倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5次)1箱当り0.5次	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	灌注	2回以内
				800~1200倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	灌注	2回以内
	ベンレート水和剤	1		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時1回又はは種 時とは種7日後頃の 2回	灌注	2回以内
苗立枯病(ピシウ ム菌)	タチガレエースM液剤	32,4		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	1回
	タチガレエースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り6~8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチカ゛レン液剤	32		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5以)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチカ゛レン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り3~6g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
	ナエファインフロアブ゛ル	U17		1000~2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期	土壌灌注	2回以内
				2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り0.5~1%	は種時	土壌灌注	2回以内

病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
苗立枯病(フザリ ウム菌)	ダコレート水和剤	M5,1		800~1200倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	灌注	2回以内
				400~600倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	灌注	2回以内
	タチガレエースM液剤	32,4		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	10
苗立枯病(フザリウム菌)	タチガレエースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り6~8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチガレン液剤	32		500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチガレン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り3~6g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
	ナエファインフロアフ゛ル	U17		2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り0.5~1%	は種時	土壌灌注	2回以内
				1000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り0.5%	は種時	土壌灌注	2回以内
	ダ コニール1000	M5		1000~2000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	土壌灌注	2回以内
				500~1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り500mL	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	土壌灌注	2回以内
	ダコニール粉剤	M5		育苗箱(30×60×3cm、使用土 壌約5%)1箱当り15~20g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
	ダコレート水和剤	M5,1		400~600倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	灌注	2回以内
				800~1200倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌 約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後ま で	灌注	2回以内
	ナエファインフロアフ゛ル	U17		2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り0.5~1%	は種時	土壌灌注	2回以内
				1000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り0.5%	は種時	土壌灌注	2回以内
幼苗腐敗症(も み枯細菌病菌)	カスミン粒剤	24		育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り15~20g		覆土前	育苗箱には種した種籾の 上から均一に散布する。	1回
				育苗箱(30×60×3cm使用土壌 約5%)1箱当り30g		は種前	育苗培土に均一に混和する。	10

水稲種子消毒の手順と育苗管理

種子選定

- ・採種圃産種子を使用する。
- ・傷籾や脱ぷ籾が混入していないものを使用する。

比 重 選

- 重症感染籾の除去に有効。
- ・水と硫安の量はおよそ次のとおりであるが、必ず比重計で比重を調整する。

	比重	水	硫安
うるち	1. 13	10 ℓ	2.64kg
もち	1.08	10 @	1.50kg

消 毒 薬 剤 処 理

【湿粉衣処理】

- ・適度の湿り気を与えた籾(種子重の約3%の水分量)に所定量の薬剤を少しずつ加え粉衣する。
- ・胴回転式ミキサー利用の場合は、粉衣後に左右それぞれ3分間計6分間程度回転する。

【浸 漬 処 理】

- ・液温は10℃以上とする。
- ・浸漬中に2~3回袋を上下、または攪拌する。

【吹き付け処理】

・専用の種子消毒器を用いて、乾燥種子1kg 当たり30ml の希釈液を種籾に吹き付ける。

【涂 沫 処 理】

・適当な容器内で種籾を攪拌しながら、希釈液を滴下し、種籾に均一に付着させる。

温湯処理

- ・温湯処理専用の機械を使用する。
- ・処理条件として、60℃10分または58℃15分が妥当である。
- ・対象病害はいもち病、ばか苗病、苗立枯細菌病である。
- ・褐条病には効果が不十分であるが、温湯処理に加え、催芽時に食酢 200 倍液浸 漬処理することで防除効果が得られる。
- ・温湯処理は乾燥籾で行い、**処理温度と時間を厳守**する。濡れた種籾で行うと発芽不良 の原因となり、温度・時間が不適切だと発芽不良を起こしたり消毒効果が十分に得られ ない。特に温度が高い場合や消毒時間が長い場合には発芽率が低下するので注意する。
- ・処理後は速やかに水で冷却し、直ぐに浸種を行う。
- ・防除効果が高い新技術(事前乾燥+65℃10分)には専用設備使用が望ましい。
- ・十分風乾し、籾に薬剤を固着させる。

【湿粉衣籾、塗沫籾】

- ・サラン袋詰めの場合は風通しのよい日陰に2~4日間おく。
- ・シートの上に薄く広げる場合は日陰に3~6時間おく。

【浸 漬 籾】

- ・シートの上に薄く広げ、日陰に2日間おく。
- ・袋詰めによる風乾はしない。

風 乾

浸 種

- ・防除効果の低下を防ぐため、停滞水中で行い、浸種開始から3日間は換水しない。
- ・病原菌の感染防止のため、河川、湖沼、ため池等の水は使わない。
- ・病原菌の増殖・感染防止のため、**20℃以上**で浸種しない。

温度	浸種日数
10℃	10日間
1 5℃	7日間

催 芽

- 30℃で1~2日間行い、催芽揃いのよい状態にする。
- ・病原菌の増殖を防ぐため、30℃を超えないようにする。
- ・特にテクリードCフロアブル、モミガードC水和剤・DFを使用したときは、初期 生育が遅延することがあるので、十分にはとむね状態にする。
- ※モミガードC水和剤、モミガードC・DFで、循環式の浸種水槽・催芽器を使用する場合は、循環水に空気が混じると泡が発生するので、給水口を水面下に入れる。また、泡は汚れた水でも発生するので、催芽にあたって、水を1回ごとに交換する。

はとむね催芽器使用上の留意点

- ・はとむね催芽器を使用すると、細菌病が増加しやすいのでなるべく使用しない。
- ・使用する場合は次の手順で行うとよい。

消毒 籾
→
停滞水 (水温 10℃で4日間) で浸種
→
水 (水温 15℃) を循環させて2日間浸種

その他の注意事項・消毒後の知は有

- ・消毒後の籾は有害であるから 食用や飼料には用いない。
- ・使用済みの薬液や浸種液は河川や池等に流さず適正に処理する。

水温を高めて(水温**30℃**)循環させ、1日間 催芽 ↓ は種

は種

- ・床土のpHは4.5~5.1程度とする。pHが高いともみ枯細菌病やムレ苗が、低いと 苗立枯細菌病が発生しやすい(くんたんはpHが高いため、床土に混ぜる場合は pHが上がりすぎないように注意)。
- ・苗立枯病防除のため、薬剤の混和・灌注を行う(苗立枯病の種類によって薬剤が異なる。
- ・育苗資材の洗浄・消毒。
- ・厚播き、多肥を避ける。

出 芽

- ・病原菌の増殖・蔓延防止のため、**30℃**を超えないように管理する。
- 出芽を揃える。

育 苗

- ・温度:夜間5℃以下、昼間25℃以上にならないように管理する。温度が高いと細菌病蔓延のリスクが爆発的に高まる。
- ・水管理: 過灌水、乾燥を避ける(天気の良い日の早朝に行い、灌水量は必要最小限とする)。
- ・病原菌感染防止のため、池や川の水は使用せず水道水を使う。
- ・防除: 苗立枯病の発生をみたら薬剤を灌注する。細菌病には発病後の対策はない。

種子消毒剤の適用病害虫一覧(◎防除指針に採用、〇登録のあるもの、×登録のないもの)

1王 1 7日 年 7 10 7 20 7 1 1 7			71/1/11/11/2	>1 1 - 3>147	133	20,100	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	•••		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0 - 0 0.	,	
		ば	いく	``	ŧ	褐	苗	抽	7	Ĺ.	枯	病	セイ
薬 剤 名	処 理 法	か苗	もち	ま葉枯	み枯細菌	条	立枯細菌		リゾープス	フザリウム	トリコデルマ	ピシウム	ン チュンガ
		病	病	病	病	病	病		菌	菌	菌	菌	ウレ
	粉 衣	0	0	0	0	0	X		0	0	0	0	0
ベンレートT水和剤 20	浸 漬	0	0	0	X	0	X		0	0	0	0	0
	吹き付け	0	0	0	0	X	X		X	×	X	X	0
ホーマイ水和剤	粉 衣	0	0	0	X	X	×	0	_	_	_	_	0
	浸 漬	0	0	0	X	×	×	\circ	_	_	_	_	×
スターナ水和剤	粉 衣	X	X	X	0	0	0	×	_	_	_	_	×
ヘクー / 小和剤	浸 漬	X	X	X	0	0	\circ	×	_	_	_	_	×
テクリードCフロアブル	浸 漬	0	0	0	0	0	0		0	×	0	×	×
777 1076777	吹き付け	0	0	0	0	0	0		0	×	0	X	×
	粉衣	0	0	0	0	0	0		0	0	0	X	×
モミガードC水和剤	浸 漬	0	0	0	0	0	0		0	0	0	×	×
	吹き付け	0	0	0	0	0	0		0	0	0	×	×
モミガードC・DF	浸 漬	0	0	0	0	0	0		0	0	0	×	×
L C A P C · D F	吹き付け	0	0	0	0	0	0		0	0	0	×	×
タフブロック	粉 衣	0	0	X	0	X	0		0	0	0	X	×
	浸 漬	0	0	X	0	0	0		0	0	0	×	×
ルーチンシード FS	塗 沫	X	0	X	0	X	X	×	_	_	_	_	×

吹き付け:塗沫処理を含む。 タフブロックの褐条病は催芽時処理。

苗立枯病、褐条病、もみ枯細菌病等適用農薬一覧(◎防除指針に採用、○登録のあるもの)

				対	象	病	原	菌	等			
薬剤名	トリコデルマ菌	ピシウム菌	リゾープス菌	フザリウム菌	褐	条病	幼苗腐 (もみ枯細		苗立枯細菌病	ムレ苗防止 根の生剤健	根の伸長およ び発根促進	いもち病
タチガレエースM粉剤		0		0						0		
タチガレエースM液剤		0		0						0		
タチガレン粉剤		0		0						0		
タチガレン液剤		0		0						0		
ダコニール粉剤			0									
ダコニール1000			0									
ダコレート水和剤	0		©	0								〇 (試もち)
ベンレート水和剤	0			0								0
ナエファインフロアブル		0	0	0						\circ		
カスミン粒剤					(0	0)	0			
カスミン液剤					(0	С)	0			〇 (試べち)
フジワン粒剤										○ムレ苗防止	0	0

※育苗期間に登録のある農薬について記載

☆糸状菌による苗立枯病

- ・フザリウム、ピシウム、リゾープス、トリコデルマ、リゾクトニア菌などによって発生する。
- ・育苗環境の不良や急変により、苗が不健康なときに発生しやすい。

フザリウム菌

局部的に発生し、地際部に白いかびが見られるほか、籾を中心に白色~紅色のかびが認められる。

床土のpHが5.5以上の場合や緑化期以降に10℃以下の低温にあうと発生しやすい。また、苗の活力、特に根の活力を低下させ、根を傷つけるような管理(床土の乾燥・過湿を繰り返すなど)は発病を助長する。

ピシウム菌

フザリウム菌による被害と似て坪状に発生するが、地際にかびは見られない。なお、ムレ苗は本菌による場合が多い。

床土のp Hが高い(5.5以上)と発病しやすく、緑化期に低温(5 $^{\circ}$ C以下)にあうと発病しやすい。畑土を床土に用いたり、河川や池の水を灌水に利用すると発生しやすい。

リゾープス菌

出芽期に箱全体、または一部が白いかびに覆われる。床土の表面や籾のまわりによく発生し、菌糸の層を形成する。根は短く、先端が異常にふくらんだりする。

床土のpHが高いと発病しやすく、出芽時に32℃を超す高温や、緑化開始10日頃までの低温は発病を多くする。

トリコデルマ菌

出芽時に床土表面・籾のまわりに白いかびが生え、しばらくするとかびは青緑色となる。

床土のpHは4.0以下で発生しやすく、土壌水分が少ない場合に発生しやすい。

リゾクトニア菌

下葉や葉鞘が灰色となり、葉腐れ症状を示す。葉鞘には菌糸がくもの巣状になり、初め白色、後に褐色の小さな菌核を作る。

本菌は野菜なども侵すので、畑土を床土として用いると発生しやすい。

☆細菌による苗立枯病

・いったん発生すると効果のある防除薬剤がないため予防を徹底する。

もみ枯細菌病

坪枯れ状に発生し、腐敗した苗の芯葉を引っ張ると容易に抜ける。腐敗した苗は悪臭を放つ。

浸漬中に保菌籾から健全籾へ感染する。水温が10 $\mathbb C$ の場合感染は少ないが、水温が高くなるほど感染が進む。また、催芽温度も20 $\mathbb C$ $\mathbb C$

褐条病

出芽中に激しく発病すると腐敗枯死する。病気の進展が遅い場合は、2~3葉期に達した苗の葉鞘に暗褐色の条斑が現れる。条斑は葉身にも見られる。発病苗は育苗箱内に均一に分散して発生することが多く、坪枯れとはならない。

はとむね催芽器を使用すると多発しやすい。出芽および緑化期の高温は発生を多くする。出芽温度が32℃より低い温度では発病が少ない。

苗立枯細菌病

普通坪状に発生するが、ひどいときは箱全体の苗が枯死する。通常葉芯は腐敗しないため、引っ張っても抜けにくく、枯死した苗は先端がロール状に巻き、赤茶けた状態で乾枯する。病原菌は催芽時に急激に増加し、緑化期あるいは硬化期に発病する。

出芽および緑化期の高温、土壌の乾湿は発生を助長する。人工培土で発生しやすい。

育苗箱施薬による病害虫防除

,	使用時期	薬剤名	抵抗性誘導		紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌 病	内頴褐変病	穂枯れ (ごま葉枯 れ病菌)	イネハモグ リバエ	イネヒメハ モグリバエ	イネゾウム シ	イネミズ ゾウムシ	イネドロ オイムシ	ニカメイ チュウ	イナゴ類	ツマグロ ヨコバイ	ウンカ類	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	フタオビ コヤガ	イネツトムシ	コブノメイ ガ	イネクロ カメムシ	カメムシ類	イネシンガセンチュリ
菌緑化	公期~移植当日	D r . オ リ ゼ 箱 粒 剤		50		50	50		50																	
fil was in		" (高密度に播種する場合)	Ĺ	50~100 (3日前~)		50~100 (3日前~)	50~100 (3日前~)		50~100 (当日)																	
は種	前、移植当日	パ ダ ン 粒 剤 4	Ł							50~100		幼虫 80~100	60~100	50~100	80~100		50~100						50~100			
		ゼロカウント粒剤	IJ								50 (当日)		幼虫 50 (当目)	50	50 (2目前~)						50 (は種時~)	50 (2日前~)				
		" (高密度に播種する場合)									50~100 (当日)		幼虫 50~100	50~100	50~100 (2日前~)						50~100 (は種時~)	50~100 (2日前~)				
け種前	又はは種時(覆土	プリンス粒剤	IJ								50		(当日)	50	50	50		50			50	50	50	50		50
前))~移植当日	" (高密度に播種する場合)									50~100		50~100	50~100	50~100	50~100		50~100			50~100	(は種前) 50~100	50~100	50~100		(は種時) 50~100
		フェルテラ箱粒剤									50					00 100	50	00 100			(は種時~)	(は種前)		(は種時~)		(は種時
			יי ו								(当日) 50~100		50	50	50		(当日) 50~100				50	50	50			
		" (高密度に播種する場合)								00 00	(当日)		50~100	50~100	50~100		(当日)		50.00	50.00	50~100	50~100	50~100			20
		オ ン コ ル 粒 剤 5 " (高密度に播種する場合)								30~60 30~120	30~60 50~120		30~60 50~120	30~60 30~120			50~160 50~160		50~80 50~160	50~80 50~160						60 60~120
移植3	日前~移植当日	リ デ イ ア 箱 粒 剤								(当日)	(当日)		(当日)	(当日)	50	50	(当日)	50	(当日)	(当日)	50					(当日)
		" (高密度に播種する場合)	.,								50~100		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100			50~100					
		ファーストオリゼリディア粒剤		50									50	50	50	50	50	50			50					
は種前、	は種時 (覆土前)	ファーストオリゼフェルテラ粒剤		50 (は種前〜)		50 (は種時)	50 (は種時)				50 (は種時)		50	50 (は種前〜)	50		50				50	50				
		" (高密度に播種する場合)		50~100g (は種時)		50~100g (は種時)	50~100g (は種時)				50~100g (は種時)		50~100g (は種時)	50~100g (は種時)	50~100g (は種時)		50~100g (は種時)				50~100g (は種時)	50~100g (は種時)				
		ブーンパディート箱粒剤	IJ	50 (は種前~)		50 (当日)	50 (当日)	50 (当日)	50 (当日)	しゅっき	50 (当日)		50 (は種前~)	50 (は種前~)	50 (は種時~)	50 (当日)	50 (当日)		50 (当日)		50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (当日)			
		" (高密度に播種する場合)	0	50~100 (は種時)		50~100 (当日)	50~100 (播種時)	50~100 (当日)	50~100 (当日)		50~100 (当日)		50~100 (は種前)	50~100 (は種前)	50~100 (は種時~)	50~100 (当日)	50~100 (当日)		50~100 (当日)		50~100 (は種時~)	50~100 (当日)	50~100 (当日)			
			 IJ	50~75		50~75	50~75	50~75	50~75 (3日前~)		50~75 (3日前~)		50~75	50~75	50~75	50~75	50~75		(ヨゖ)		50~75	50~75	50~75			
		" (高密度に播種する場合)	0	50~100		50~100	50~100	50~100	50~100		50~100		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100				50~100	50~100	50~100			
		ヨーバルプライムEV箱粒剤	1	50	50	50	50	50	(3日前~)		(3日前~)		50	50	50	50	50				50	50	50			
		" (高密度に播種する場合)	0	(は種前〜) 50〜100	50~100	50~100	50~100	(3日前~) 50~100	(3日前~) 50~100		50~100		(は種前~) 50~100	50~100	50~100	50~100	50~100				50~100	50~100	50~100			
					50 -100	50	(3日前~) 50	(3日前~) 50	(3日前~) 50		30 -100					50		F0								
		エバーゴルワイド箱粒剤		50 50~100	50~100	(播種時) 50~100	(当日) 50~100	(播種時) 50~100	(播種時) 50~100				50 50~100	50 50~100	50 50~100	(は種前) 50~100	50 50~100	50 50~100			50 50~100	50 50~100	50 50~100			
		" (高密度に播種する場合)		(3日前~)	(3日前~)	(3日前~)	(当日)	(3日前~)	(3日前~)				(3日前~)	(3日前~)	(3日前~)	(は種前)	(3日前~)	(3日前~)			(3日前~)	(3日前~)	(3日前~)			
,		ス タ ウ ト ア レ ス 箱 粒 剤 " (高密度に播種する場合)		50 50~100		50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100		50 50~100		50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100			50 50~100	50 50~100	50 50~100			
		スタウトアレスモンガレス箱粒剤		50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)				50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)			50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)			
		" (高密度に播種する場合)	0	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100				50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100			50~100	50~100	50~100			
	は種時(覆土前) 〜移植当日	スタウトダントツ箱粒剤		(は種時~) 50	(は種時~)	(は種時~) 50	(は種時~) 50	(は種時~) 50	(は種時~) 50		50		(は種時~) 50	(は種時~) 50	(は種時~) 50	(は種時~)	(は種時~) 50	(は種時~) 50			(は種時~) 50	(は種時~)	(は種時~)			
		" (高密度に播種する場合)		50~100		50~100	50~100	50~100	50~100		50~100		50~100	50~100	50~100		50~100	50~100			50~100					
		ス タ ウ ト パ デ ィ ー ト 箱 粒 剤 ツ イ ン パ デ ィ ー ト 箱 粒 剤 ル ー チ ン デ ュ オ 箱 粒 剤	IJ	50		50	50	50	50		50		50	50	50	50	50		50		50	50	50			
		』(高密度に播種する場合)		50~100		50~100	50~100	50~100	50~100		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100		50~100		50~100	50~100	50~100			
		スタウトパディート D X 箱 粒剤	IJ	50		50	50	50	50				50	50	50	50 (3日前~)	50	50			50	50				
		" (高密度に播種する場合)	0	50~100		50~100	50~100	50~100	50~100				50~100	50~100	50~100	50~100 (3日前~)	50~100	50~100			50~100	50~100				
		スタウトダントツ箱粒剤08	3	50		50	50	50			50		50	50		(3日則~)	50	50						50		
		ツインターボ箱粒剤 0 8							50															(当日)		
		" (高密度に播種する場合)		50~100		50~100	50~100	50~100	50~100		50~100 50		50~100	50~100			50~100	50~100						(当日)		
		ブーンアレス箱粒剤		50		50	50	50	50		(当日)	50	50	50	50	50	50	50			50	50	50			
		"(高密度に播種する場合)		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100			50~100 (当日)	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100			50~100	50~100	50~100			
		ブーンレパード箱粒剤		50	50	50 (当日)	50 (当日)	50 (当日)	50 (当日)				50	50	50 (は種時~)		50 (当日)				50 (は種時~)	50 (は種時〜)				
		" (高密度に播種する場合)		50~100	50~100 (は種時~)	50~100 (当日)	50~100 (当日)	50~100 (当日)	50~100 (当日)				50~100 (は種時~)	50~100 (は種時~)	50~100 (は種時~)		50~100 (当日)				50~100 (は種時~)	50~100 (は種時~)				

育苗箱施薬による病害虫防除

		り内古玉別体	Jur.			<u> </u>		1		1			Γ	Ι	Τ		1	1	I		I	1	T			
	使用時期	薬剤名	抵抗性誘導	いもち病	紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌 病	内頴褐変病	穂枯れ (ごま葉枯 れ病菌)	イネハモグ リバエ	イネヒメハ モグリバエ	イネゾウム シ	イネミズ ゾウムシ		ニカメイ チュウ	イナゴ類	ツマグロ ヨコバイ	ウンカ類	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	フタオビ コヤガ	イネツトム シ	コブノメイガ	イネクロ カメムシ	カメムシ類	イネシンガレ センチュウ
		ルーチンエキスパート箱粒剤		50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (当日)	50 (は種時~)	50 (は種時~)				50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)		50 (は種時~)	50 (は種時~)			50 (は種時~)	50 (は種時~)	50 (は種時~)			
け毎	前、は種時(覆土前)	" (高密度に播種する場合)	0 -	50~100	50~100	50~100	()	50~100	50~100				50~100	50~100	50~100		50~100	50~100			50~100	50~100	50~100			***************************************
イム小玉	~移植当日	レ シ ー ド プ ラ ス 箱 粒 剤		(3日前~)	(3日前~)	(3日前~)		(3日前~)	(3日前~)				(3日前~)	50	(3日前~)	50	(3日前~)	(3日前~)			(3日前~) 50	(3日前~)	(3日前~)			
		リョーガフェルテラ粒剤		50								50		50	50	(3日前~)										
		ブイゲットハコレンジャーL粒剤	1 1	50	50	50	50	50 (3日前~)					50	50	50		50	50			50	50	50			
		" (高密度に播種する場合)	0	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100					50~100	50~100	50~100		50~100	50~100			50~100	50~100	50~100			
		ブイゲットパディート粒剤		50		50	50	(3日前~)			50		50	50	50	50	50		50	***************************************	50	50	50			
			0																(3日前~) 50~100			(3日前~) 50~100				
		" (高密度に播種する場合)		50~100		50~100	50~100 				50~100 50		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100		(3日前~)		50~100	(3日前~)	50~100 50			
		ブイゲットフェルテラ粒剤	0	50		50	(3日前~)				(3日前~)		50	50	50		50				50	(当日)	(当日)			
	緑化期~移植当日	"(高密度に播種する場合)		50~100		50~100	50~100 (3日前~)				50~100 (3日前~)		50~100	50~100	50~100		50~100				50~100	50~100 (当日)	50~100 (当日)			
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ブイゲットプリンスリンバーL粒剤		50	50	50	50 (3日前~)	50 (当日)					50	50	50			50				50	50			
		" (高密度に播種する場合)		50~100	50~100	50~100	50~100 (3日前~)	50~100 (当日)					50~100	50~100	50~100			50~100				50~100	50~100			
		D r . オリゼパディート粒剤		50							50 (当日)		50	50	50 (3日前~)	50 (当日)	50		50		50 (3日前	50 (3日前				
		" (高密度に播種する場合)	0 -	50~100 (3日前~)							50~100 (当日)		50~100 (3日前~)	50~100 (3日前~)	50~100 (3日前~)	50~100 (当日)	50~100 (3日前~)		50~100 (3日前~)			~) 50~100 (3日前~)				
		Dr. オリゼフェルテラ粒剤		50		50	50	50			50		50	50	50	() H /	50		(0 H Bi) /		50	50	50			
		" (高密度に播種する場合)	0 -	50~100		50~100	50~100	(3日前~) 50~100			(3日前~) 50~100		50~100	50~100	50~100		50~100				50~100	50~100	(当日)			
		ブイゲットバリアード粒剤		(3日前~) 50		(3日前~) 50	50	(3日前~)			(3目前~)		(3日前~)	(3日前~) 50	(3日前~) 50		(3日前~)				(3目前~)	(3日前~)	(当日)			
移植	值10日前~移植当日		0				(3日前~) 50~100								(当日)											
×п		" (高密度に播種する場合) 箱 い り 娘 粒 剤		50~100 50	50	50~100 50	(3日前~) 50	50	50		50		50~100 50	50~100 50	(当日)		50~100 50	50			50	50	50			
菌•		" (高密度に播種する場合)	0 -	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100		50~100		50~100	50~100	50~100		50~100	50~100			50~100	50~100	50~100			
殺 虫		箱 大 臣 粒 剤		50	50	50	50	50	50				50	50	50		50	50			50					
剤 移	植7日前~移植当日	" (高密度に播種する場合)		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100				50~100	50~100	50~100 50		50~100	50~100			50~100					
		C s . オリゼリディア E V 箱 粒 剤	0	50	50								50	50	(3日前~)			50								
		" (高密度に播種する場合)		50~100 (3目前~)	50~100 (3日前~)								50~100 (3日前~)	50~100 (3日前~)	50~100 (3日前~)			50~100 (3日前~)								
		サ ン エ ー ス 箱 粒 剤 " (高密度に播種する場合)	0	50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100	50 50~100				50 50~100	50 50~100	50 50~100		50 50~100	50 50~100			50 50~100	50 50~100	50 50~100			
		サントリプル箱粒剤		50	50 -100	50	50	50	50, 5100				50	50	50	50	50	50			50	50	50	50		•
		" (高密度に播種する場合)	0	50~100		50~100	50~100	50~100					50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100			50~100	50~100	50~100	50~100		
		ジャッジ箱 粒剤		50		50	50				50		50	50	第1世代 50		50		50	50						50
		" (高密度に播種する場合)		50~100 (当日)		50~100 (当日)	50~100 (当日)				50~100 (当日)		50~100 (当日)	50~100 (当日)	第1世代 50~100		50~100 (当日)		50~100 (当日)	50~100 (当日)						50~100 (当日)
		ツ イ ン キ ッ ク 箱 粒 剤		50		50	50				50		50	50	(当日)	50					50	50				_
		" (高密度に播種する場合)	-	50~100		50~100	50~100				(当日) 50~100		50~100	50~100	50~100	(当日) 50~100	-				50~100	50~100				
						50 100					(当日)				50	(当日)	50	50			30 100	30 100		50 ()([])		
移	植 3日前~移植当日	デジタルコラトップアクタラ箱粒剤		50									50	50	(当日) 50~100		50	50						50 (当日) 50~100		
		"(高密度に播種する場合)		50~100									50~100	50~100	(当日)		50~100	50~100						(当日)		
		デジタルメガフレア箱粒剤		50									50	50	50(当日)		50 (当日)	50							50	
		″ (高密度に播種する場合)		50~100									50~100	50~100	50~100 (当日)		50~100 (当日)	50~100							50~100	
		トリプルキック箱粒剤		50	50	50	50	50	50		50 (当日)		50	50	50	50 (当日)					50	50				
		" (高密度に播種する場合)		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100		50~100 (当日)		50~100	50~100	50~100	50~100 (当日)					50~100	50~100				
		ルーチンコア箱粒剤		50		50	50	50	50		50		50	50	50		50									
		" (高密度に播種する場合) Dr. オリゼフェルテラグレータム粒剤		50~100 50	50	50~100 50	50~100 50	50~100	50~100		50~100		50~100 50	50~100 50	50~100		50~100 50				50					
		(高密度に播種する場合)			50~100	50~100	50~100						50~100	50~100			50~100				50~100					

育苗箱施薬による病害虫防除

	使用時期	薬剤名	抵抗性誘導	いもち病	紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌 病	内頴褐変病	穂枯れ (ごま葉枯 れ病菌)	イネハモグ リバエ	イネヒメハモグリバエ	イネゾウム シ	イネミズ ゾウムシ	イネドロオイムシ	ニカメイ チュウ	イナゴ類	ツマグロ ヨコバイ	ウンカ類	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	フタオビ コヤガ	イネツトム シ	コブノメイ ガ	イネクロ カメムシ	カメムシ類	イネシンガレセンチュウ
	移植3日前~移植当日	Dr. オリゼリディア箱 粒剤		50							50		50	50	50	50	50	50			50					
殺殺 虫菌	炒他3日則~炒性当日	" (高密度に播種する場合)		50~100							50~100		50~100	50~100	50~100	50~100	50~100	50~100			50~100					
剤・	移植2日前~移植当日	ルーチンアドスピノGT箱粒剤	0	50	50	50	50 (当日)	50 (当日)					50	50	50		50	50			50	50	50			

(2) 湛水直播栽培における防除

RPA

が は は が が が が が が が が が が が が が が が が が	fンシート* FS r. オリセ* フェルテラ粒剤 iい り 娘粒剤 iい り 娘粒剤 r- テ* リアES * マイヤー水和剤 * マイヤー水和剤	P3 P2,2 8 P3,4 A,5,7 7 P3,4 A,5,7 4		乾燥種もみ1kg当り原液6~ 12mL(原液71mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液6~ 12mL(原液71mL/10aまで) 1kg/10a 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 1kg/10a		は種前 (浸種前) は種前 (浸種後) は種時 は種時 は種前 (浸種後)	塗沫処理(種子被覆剤を加用) コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10 10 10 10
対抗病 エハ・ (本) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	「いり娘粒剤 [*] ーゴルシードFS 「いり娘粒剤 [*] ーテ゚リアES [*] マイヤー水和剤	P3,4 A,5,7 7 P3,4 A,5,7		乾燥種もみ1kg当り原液6~ 12mL(原液71mL/10aまで) 1kg/10a 1kg/10a 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		は種前 (浸種後) は種時 は種時 は種前 (浸種後)	塗沫処理 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10 10 10
対抗病 エハ・ (ピシウスケーム菌) ウンカ類 アト・ (イネミス・ソ・ウムシタ・ン	「いり娘粒剤 [*] ーゴルシードFS 「いり娘粒剤 [*] ーテ゚リアES [*] マイヤー水和剤	P3,4 A,5,7 7 P3,4 A,5,7		12mL(原液71mL/10aまで) 1kg/10a 1kg/10a 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		(浸種後) は種時 は種時 は種前 (浸種後)	塗沫処理 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10 10 10
対抗病 エハ・ (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシャン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「いり娘粒剤 [*] ーゴルシードFS 「いり娘粒剤 [*] ーテ゚リアES [*] マイヤー水和剤	P3,4 A,5,7 7 P3,4 A,5,7		12mL(原液71mL/10aまで) 1kg/10a 1kg/10a 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		は種時 は種時 は種前 (浸種後)	は種同時施薬機を用いて土中施用する。 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10
対抗病 エハ・ (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシャン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「いり娘粒剤 [*] ーゴルシードFS 「いり娘粒剤 [*] ーテ゚リアES [*] マイヤー水和剤	P3,4 A,5,7 7 P3,4 A,5,7		1kg/10a 1kg/10a 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		は種時 は種時 は種前 (浸種後)	は種同時施薬機を用いて土中施用する。 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10
対抗病 エハ・ (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ タ・ン) (有い (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシ (イネミス・ソ・ウムシャン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「いり娘粒剤 [*] ーゴルシードFS 「いり娘粒剤 [*] ーテ゚リアES [*] マイヤー水和剤	P3,4 A,5,7 7 P3,4 A,5,7		1kg/10a 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		は種時 は種前 (浸種後)	る。 は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10
紋枯病 エハ・ 一類に 苗腐病(ピシウスクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマク・ロヨコハ・イアト・ イネミス・ソ・ウムシ ダ・ン	・ーゴルシート・FS 「いり娘粒剤 バーテ・リアES ・マイヤー水和剤	A,5,7 7 P3,4 A,5,7		乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		は種前 (浸種後)	は種同時施薬機を用いて土中施用する。 コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	10
紋枯病 エハ・ 一類は 苗腐病(ピシウスクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマク・ロヨコハ・イアト・ イネミス・ソ・ウムシ ダ・ン	・ーゴルシート・FS 「いり娘粒剤 バーテ・リアES ・マイヤー水和剤	A,5,7 7 P3,4 A,5,7		乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		は種前 (浸種後)	る。 コーティング中又はコーティング後の種もみに 塗沫処理	10
苗腐病(ピシウスクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマケ・ロヨコハ・イ アト・ イネミス・ソ・ウムシ ダ・ン	iいり娘粒剤 アーデリアES ・ [*] マイヤー水和剤	P3,4 A,5,7		10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		(浸種後)	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに 塗沫処理	
苗腐病(ピシウスクーム菌) アト・ マイ・ロヨコハ・イアト・ イネミス・ソ・ウムシ ダ・ン	iいり娘粒剤 アーデリアES ・ [*] マイヤー水和剤	A,5,7 4		10mL(原液44mL/10aまで) 乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		(浸種後)	塗沫処理	
苗腐病(ピシウ スクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマク・ロヨコハ・イ アト・ イネミズ・ゾ・ウムシ ダ・ン	/ーデリアES [*] マイヤー水和剤	A,5,7 4		乾燥種もみ1kg当り原液 10mL(原液44mL/10aまで)		<u> </u>		+
苗腐病(ピシウスクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマク・ロヨコハ・イ アト・ イネミズ・ゾ・ウムシ ダ・ン	/ーデリアES [*] マイヤー水和剤	A,5,7 4		- 10mL(原液44mL/10aまで)		* V A (122 PH	塗沫処理(種子被覆剤を加用)	1回
苗腐病(ピシウスクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマク・ロヨコハ・イ アト・ イネミズ・ゾ・ウムシ ダ・ン	/ーデリアES [*] マイヤー水和剤	A,5,7 4				(浸種前)		
苗腐病(ピシウスクーム菌) ウンカ類 アト・ ツマク・ロヨコハ・イ アト・ イネミズ・ゾ・ウムシ ダ・ン	/ーデリアES [*] マイヤー水和剤	A,5,7 4		11/6/ 100		は種時	↓ は種同時施薬機を用いて土中施用す	10
ム菌) ウンカ類 アト・ ツマケ・ロヨコハ・イ アト・ イネミス・ソ・ウムシ ダ・ン	゛マイヤー水和剤	4				(6) (主书)	る。	
ム菌) ウンカ類 アト・ ツマケ・ロヨコハ・イ アト・ イネミス・ソ・ウムシ ダ・ン	゛マイヤー水和剤			 乾燥種もみ1kg当り原液5mL		は種前	■。 種子吹き付け処理又は塗沫処理	10
ウンカ類 アト [*] ツマク [*] ロヨコハ [*] イ アト [*] イネミス [*] ソ [*] ウムシ タ [*] ン		4A	1	TOWNE OF THESE TIMES THE		ながまり	10000000000000000000000000000000000000	
ツマグ ロヨコハ イ アト イ イネミス ゾ ウムシ タ ン		7/1	劇	■ 種もみ3kg当り150~		は種前	 過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣	10
イネミズ゛ゾ゛ウムシ タ゛ン	* ¬ / レ _ L : エロ ゼロ	"`	/A/J	200g(200g/10aまで)		なりまり		1-12
イネミズ゛ゾ゛ウムシ タ゛ン	・ ノ 4 4/ ニフレ オロ みロ	4A	劇	200g(200g/10aよ C) 種もみ3kg当り150~	+	は種前	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣	10
	· 411, _ // / / / / / / / / / / / / / / / / /	4/	廖 リ	性もの3kg = 9150 で 200g(200g/10aまで)		は作用		TH
	ントツフロアフ [゛] ル	4A		原液	重もみ3kg当	は種前	上 塗沫処理	10
] <i>r</i>	Σ[')/μ)/ <i>N</i>	4/		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	り75mL/10a	はが生り	(全)	110
1 1 /	-バルシードFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液	7 7 3111L/ 10a	は種前	コーティング中又はコーティング後の種もみに	10
	7 107-11 13	20		11mL(原液55mL/10aまで)		(浸種後)	塗沫処理	工品
D::	·· ∔Ⅱ┕° ¬ ·□ ニニヤ┴ 文Ⅱ	D2 2		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				1 🗔
Dr.	r.オリゼフェルテラ粒剤	P2,2 8		1kg/10a		は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	1回
/>>¬* \/* \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	л = У.Н., L.С			ナ県廷+ 7.11.×火リ原冻0		14年光	る。	1 🗔
	·ルテンザ゛FS	28		乾燥種もみ1kg当り原液8mL		は種前	種子吹き付け処理又は塗沫処理	1回
箱し	いり娘粒剤	P3,4		1kg/10a		は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	10
<u> </u>		A,5,7					る。	
ルミヒ	ːビアFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液4~		は種前	種子吹き付け処理又は塗沫処理	10
				7mL				
イネト゛ロオイムシ ヨーバ	-バルシードFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液		は種前	コーティング 中又はコーティング 後の種もみに	1回
<u> </u>				11mL(原液55mL/10aまで)		(浸種後)	塗沫処理	
Dr.:	r.オリゼフェルテラ粒剤	P2,2		1kg/10a		は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	10
<u> </u>		8					る。	
箱し	いり娘粒剤	P3,4		1kg/10a		は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	1回
		A,5,7					る。	
ルミと	EL TFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液4~		は種前	種子吹き付け処理又は塗沫処理	1回
<u> </u>				7mL				
フォル	・ルテンサ゛ FS	28		乾燥種もみ1kg当り原液8mL		は種前	種子吹き付け処理又は塗沫処理	1回
キリウシ゛ガ ガ ンボ 箱し	いり娘粒剤	P3,4		1kg/10a		は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	1回
		A,5,7					る。	
ニカメイチュウ ヨーバ	·バルシードFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液		は種前	コーティング中又はコーティング後の種もみに	1回
				11mL(原液55mL/10aまで)		(浸種後)	塗 沫処理	
箱し	いり娘粒剤	P3,4		1kg/10a		は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	1回
		A,5,7					る。	
ルミと	EĽ 7FS	28		乾燥種もみ1kg当り原液4~		は種前	種子吹き付け処理又は塗沫処理	10
				7mL				
フタオビ コヤカ 箱し	 いり娘粒剤	P3,4		1kg/10a		は種時	↓ ┃は種同時施薬機を用いて土中施用す	10
		A,5,7					3.	
イネツトムショーバ	-バルシードFS	28		乾燥種もみ1kg当り原液		は種前		10
				11mL(原液55mL/10aまで)		(浸種後)	塗沫処理	
箱!	 いり娘粒剤	P3,4		1kg/10a	†	は種時	は種同時施薬機を用いて土中施用す	10
70	· · · › · · · · · · · · · · · · · · · ·	A,5,7				10. [12.67]	る。	I
<u></u> 安午 :		P3,4		1kg/10a	+	は種時	↓~。 は種同時施薬機を用いて土中施用す	10
1°H -	·— □ ·(☆/□)	A,5		16/ 100		10 压机	る。	

(3) 本田期の防除 RPA 本剤の RAC 毒劇 病害虫名 防除時期 薬剤名 使用濃度 使用量 使用時期 使用方法 使用回数 葉いもち 6月下旬 ブラシン粉剤DL U14, 3∼4kg/10a 収穫7日前まで 散布 2回以内 16.1 U14, 60~150 ใน/10a フ゛ラシンフロアフ゛ル 1000倍 収穫7日前まで 散布 2回以内 7月上旬 16.1 トライフロアフ゛ル U16 1000倍 60~150⅓%/10a 収穫14日前まで 散布 2回以内 0.8 ¦x/10a 無人航空機による散布 2回以内 8倍 収穫14日前まで 初発の10日前~初 オリゼメート1キロ粒剤 P02 $1 \sim 1.3 \text{kg} / 10 \text{a}$ 収穫14日前まで 散布 2回以内 発時 オリゼメート粒剤 P02 3~4kg/10a 葉いもちには初発の10日前~初発 散布 2回以内 時穂いもちには出穂3~4週間前 収穫14日前まで オリゼメート粒剤20 P02 1kg/10a 収穫14日前まで 散布 2回以内 コラトップ 1和粒剤12 2回以内 16 $1 \sim 1.5 \text{kg} / 10 \text{a}$ 葉いもちに対しては初発10日前~ 散布 初発時 穂いもちに対しては出穂 30日前~5日前まで 初発の10日前~ オリブ ライト250G 11 250g/10a 出穂10日前まで ただし、収穫45日 散布 10 10日後 前まで 初発前 P03 収穫30日前まで ルーチン粒剤 1kg/10a 湛水散布 2回以内 穂いもち病 第2回目 ラフ゛サイト゛タ゛ントツフロアフ゛ル 4A,1 8倍 800mL/10a 収穫7日前まで 無人ヘリコプターによる散布 3回以内 穂揃直後 6.1 収穫14日前まで 3回以内 アミスタートレボンSE 3A,1 8倍 800mL/10a 空中散布 1 1000倍 60~150 ใน/10a 収穫14日前まで 散布 3回以内 トライフロアフ゛ル U16 1000倍 60~150 ใน/10a 収穫14日前まで 2回以内 散布 0.8 ใน/10a 無人航空機による散布 8倍 収穫14日前まで 2回以内 ブ ラシン粉剤DL U14, 3∼4kg/10a 2回以内 収穫7日前まで 散布 16.1 U14, 収穫7日前まで ブ ラシンフロアブ ル 1000倍 60~150 ใน/10a 散布 2回以内 16.1 ビームエイトEXゾル 4C,1 250倍 25以/10a 収穫7日前まで 散布 3回以内 6.1 8倍 0.8 ใน/10a 無人航空機による散布 3回以内 収穫7日前まで 60~150 ใน/10a 1000倍 収穫7日前まで 散布 3回以内 ヒ゛ームエイトエクシート゛ソ゛ル 25 ¦x/10a 4C,1 250倍 収穫7日前まで 散布 3回以内 6.1 8倍 0.8 ใน/10a 収穫7日前まで 無人航空機による散布 3回以内 60~150 ใน/10a 1000倍 収穫7日前まで 3回以内 散布 3∼4kg/10a 3回以内 ビームスタークル粉剤5DL 4A,1 収穫7日前まで 散布 5~8倍 ヒ゛ームエイトモンカットフロアフ゛ル 16,7 800mL/10a 収穫14日前まで 無人航空機による散布 3回以内 出穂3~4週間前 オリゼメート粒剤 P02 3∼4kg/10a 葉いもちには初発の10日前~初発 散布 2回以内 時穂いもちには出穂3~4週間前 収穫14日前まで ワイドパンチ豆つぶ 出穂10日前頃 2B,1 250g/10a 収穫35日前まで 散布 1回 紋枯病 第1回目 バリダシン液剤5 U18 1000倍 60~150 ใน/10a 収穫14日前まで 散布 5回以内 バリダシン粉剤DL U18 3∼4kg/10a 穂ばらみ期 5回以内 収穫14日前まで アミスタートレボンSE 11, 無人航空機による散布 3回以内 (垂直進展初期) 8倍 800mL/10a 収穫14日前まで 3A 1000倍 60~150以/10a 収穫14日前まで 第2回目 散布 3回以内 3回以内 穂揃期 ヒ゛ームエイトモンカットフロアフ゛ル 16,7 5~8倍 800mL/10a 収穫14日前まで 無人航空機による散布 出穂30日前~出穂 リンバー粒剤 $3 \sim 4 \text{kg} / 10 \text{a}$ 収穫30日前まで 2回以内 モンカット粒剤 出穂30~10日前 3∼4kg/10a 出穂30~10日前 但し、収穫14日前 湛水散布 4回以内 白葉枯病 P02 3∼4kg/10a 2回以内 移植活着後及び出すりだメート粒剤 移植活着後及び出穂3~4週間前 散布 穂3~4週間前 収穫14日前まで ごま葉枯病 第1回目穂ばらみ フ゛ラシンフロアフ゛ル P02 1000倍 60~150⅓%/10a 収穫7日前まで 散布 2回以内 3∼4kg/10a ブラシン粉剤DL P02 散布 2回以内 収穫7日前まで 第2回目穂揃期 稲こうじ病 出穂10日前まで Zボルドー粉剤DL P02 $3\sim 4 \text{kg}/10 \text{a}$ 散布 出穂10日前まで 穂ばらみ期 P02 4kg/10a 散布 2回以内 ブラシン粉剤DL 収穫7日前まで $1\sim$ 1.3kg/10a オリゼメート1キロ粒剤 2回以内 もみ枯細菌 出穂3~4週間前 P02 収穫14日前まで 散布 病 オリゼメート粒剤 3∼4kg/10a 2回以内 P02 移植活着後及び出穂3~4週間前 散布 収穫14日前まで 1500~2000倍 60~150以/10a 5月中旬~6月上旬 エルサン乳剤 1B 散布 2回以内 収穫7日前まで Λ゛I (幼虫発生初期) エルサン粉剤2 2回以内 1B 3kg/10a 収穫7日前まで 散布

病害虫名	防除時期	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
	5月中旬	ェルサン粉剤2	1B		3~4kg/10a		収穫7日前まで	散布	2回以内
虫 イネミズ´ゾ´ウムシ		トレポン粒剤	ЗА		2~3kg/10a		収穫21日前まで	散布	3回以内
ニカメイチュウ第1		<u> </u> エルサン乳剤 	1B	劇	1000~1500倍	60∼150¦%/10a	収穫7日前まで	散布	2回以内
ニカメイチュウ第2	773 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	エルサン乳剤	1B	劇	800~1000倍	60~150%/10a	収穫7日前まで	散布	2回以内
	(6/15〜20頃) 粒剤:発が最盛期	 パダンSG水溶剤	14	劇	1500倍	60~150%/10a	収穫21日前まで	散布	6回以内
	10日後頃(6/10 頃)	パダン粒剤4	14	劇	3~4kg/10a		収穫30日前まで	散布	6回以内
イナゴ類	6月下旬~7月下旬	トレボン粉剤DL	3A		3∼4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
ツマク゛ロヨコハ゛イ	7月下旬~8月上旬 (第2世代幼虫発 生初期) 8月中旬~8月下旬 (第3世代幼虫発		3A		3kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
	生初期)	L スタークル粉剤DL	3A		3kg/10a		収穫7日前まで	 散布	3回以内
		ダントツH粉剤DL	3A		3~4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		トレポン粉剤DL	3A		3~4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		トレポン粒剤	3A		2~3kg/10a		収穫21日前まで		3回以内
ウンカ類	7月下旬~8月上旬	スタークル粉剤DL	4A		3kg/10a		収穫7日前まで	 散布	3回以内
	(幼山発生初期)	アルハ・リン粉剤DL	4A		3kg/10a		収穫7日前まで		3回以内
		ビームスタークル粉剤5DL	4A,1 6.1		3~4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		L トップジンスタークル粉剤DL	4A,1		3∼4kg/10a		 収穫14日前まで	 散布	3回以内
		 ダントツH粉剤DL	4A		3~4kg/10a		収穫7日前まで		3回以内
		L トレポン粉剤DL	3A		3~4kg/10a		収穫7日前まで	 散布	3回以内
		トレポン粒剤	3A		2~3kg/10a		収穫21日前まで		3回以内
		アミスタートレボンSE	3A,1		1000倍	60~150 ใน/10a	収穫14日前まで		3回以内
			1		8倍	800mL/10a	収穫14日前まで	無人航空機による散布	3回以内
		L゛ームエイトEXソ゛ル	4C,1		8倍	0.8 ^{มุม} / 10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内
		,, =	6.1		250倍	25 ให้/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
					1000倍	60~150 ใน/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
		L゛ームエイトエクシート゛ソ゛ル	4C,1		250倍	25 ^ม ุง/10a	収穫7日前まで		3回以内
			6.1		8倍	0.8 ให้ / 10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内
					1000倍	60~150 ^{ปร} ู/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
		エクシート゛フロアフ゛ル	4C		2000倍	60~150 ให้/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
					16倍	0.8 ให้ / 10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内
		ェクシート゛粉剤DL	4C		3kg/10a	0.0 100	収穫7日前まで	散布	3回以内
		エミリアフロアフ゛ル	4F		8倍	0.8 ให้ /10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	2回以内
	出穂7~10日後	スタークル豆つぶ	4A		250~	0.0 (%)/ 100	収穫7日前まで	散布	3回以内
フタオヒ [*] コヤカ [*]	6月下旬~7月上旬 (第1世代幼虫発 生初期) 7月下旬~8月上旬 (第2世代幼虫発		1B		500g/10a 2000~4000倍	60~150 ¦ัน/10a	収穫21日前まで	散布	2回以内
	生初期) 6月下旬(第1世代) 7月下旬~8月上旬 (第2世代) 各世代とも若齢幼 虫発生初期	パダンSG水溶剤	14	劇	1500倍	60~150¦兆/10a	収穫21日前まで	散布	6回以内
コフ゛/ メ イ カ ˙	7月中旬~8月中旬 (成虫飛来盛期~ 幼虫ふ化期)	スミチオン粉剤3DL	1B		3~4kg/10a		収穫21日前まで	散布	2回以内 (但し、出 穂前は1 回)

病害虫名	防除時期	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
カメムシ類	早生・中生 第1回目:穂揃期 第2回目:糊熟初 期	スミチオン粉剤3DL	1B		3~4kg/10a		収穫21日前まで	散布	2回以内 (但し、出 穂前は1 回)
		スミチオン乳剤	1B		8倍	800mL/10a	収穫21日前まで	空中散布	2回以内
	晩生は糊熟初期に				8倍	800mL/10a	収穫21日前まで	無人航空機による散布	2回以内
	1回のみ	エクシート、粉剤DL	4C		3kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		エクシート゛フロアフ゛ル	4C		16倍	0.8 % / 10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内
					2000倍	60~150 ^ม ัก/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
		トレポン粉剤DL	3A		3∼4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		トレホ゛ンスターフロアフ゛ル	3A,4		8倍	0.8¦ँ/10a	収穫14日前まで	無人航空機による散布	3回以内
		トライトレボン粉剤DL	3A,U 16		3∼4kg/10a		収穫14日前まで	散布	2回以内
		アミスタートレホ゛ンSE	3A,1		1000倍	60~150 ใx/10a	収穫14日前まで	散布	3回以内
			1		8倍	800mL/10a	収穫14日前まで	無人航空機による散布	3回以内
		エミリアフロアフ゛ル	4F		8倍	0.8 ¦%/10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	2回以内
		スタークル粉剤DL	4A		3kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		アルバ・リン粒剤	4A		3kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		トップ・ジ・ンスタークル粉剤DL	4A,1		3∼4kg/10a		収穫14日前まで	散布	3回以内
		ビームスタークル粉剤5DL	4A,1		3∼4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		ヒ゛ームエイトスタークルソ゛ル	4C,1		8倍	0.8 ใน/10a	収穫7日前まで	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
			6.1		1000倍	60~150 ใх/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
		ビームエイトEXゾル	4C,1		8倍	0.8%/10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内
			6.1		250倍	25 ¦х̃/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
					1000倍	60~150 ใх/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
		ヒ゛ームエイトエクシート゛ソ゛ル	4C,1		8倍	0.8 ใน/10a	収穫7日前まで	無人航空機による散布	3回以内
			6.1		250倍	25 ¦х̃/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
					1000倍	60~150 หัว/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内
		ダントツH粉剤DL	4A		3∼4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		ラブ゛サイト゛タ゛ントツフロアフ゛ル	4A,1		8倍	800mL/10a	収穫7日前まで	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
			6.1		8倍	800mL/10a	収穫7日前まで	空中散布	3回以内
	出穂10日前頃	キラップ粒剤	2B		3kg/10a		収穫14日前まで	湛水散布	2回以内
		ワイドパンチ豆つぶ	2B,1		250g/10a		収穫35日前まで	散布	1回
	出穂期	ダントツ粒剤	4A		3∼4kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
	出穂7日後	アルバリン粒剤	4A		3kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		スタークル粒剤	4A		3kg/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
		スタークル豆つ。ジ	4A		250g/10a		収穫7日前まで	散布	3回以内
アザミウマ類	出穂直前	トレボン粉剤DL	3A		3∼4kg/10a	<u> </u>	収穫7日前まで	散布	3回以内

本田防除の注意事項

葉いもち

- ・圃場をよく見まわり早期発見につとめ、初期防除を徹底する。
- ・予防粒剤の適期は6月上旬頃、散布剤は初発の1週間後である。
- ・薬剤を施用した圃場でも、新たな病斑が発生したら、散布10日後に追加防除する。
- ・降雨が続いても、雨のやみ間を見て防除する。
- ・直播田や遅植田は、多発する可能性があるので注意する。
- ・粒剤は水深 $3 \sim 4$ cm、パック剤は水深 $5 \sim 6$ cmで止水、散布し、施用後 1 週間程度はかけ流しをしない。
- ・パック剤は、藻や浮草が多発している場合や風の強い日は拡散が劣る。 稲が繁茂してからは使用しない。
- ・オリブライト1キロ粒剤は、葉に褐点が出ることがある。

〔耕種的防除〕

- ・保菌種子や被害わらが第一次伝染源となるので、健全種子を使用し、種子消毒する。 育苗施設周辺から、わら、籾殻などを除去する。
- ・ 覆土時に種籾を露出させない。
- ・育苗時ハウスに紫外線カットフィルムを使用すると胞子形成が阻害される。
- ・伝染源をなくすため、補植用苗は早急に取り除く。
- ・窒素肥料を多用すると稲体が軟弱に生育し、発病を助長する。
- ・珪酸質肥料を秋起時に施用し、イネの抵抗力を高める。 秋に施用しない場合は、出穂の2週間前までに本田施用する。

穂いもち

- ・葉いもちが多発した圃場や葉色の濃い圃場、出穂期以降の連続降雨で多発しやすい。
- ・多発が予想されるときは、傾穂期 (穂揃い7~10日後)に追加防除する。
- ・使用時期が「収穫21日前まで」の薬剤は、早生品種の穂揃後に使用しない。
- ・ブラシン粉剤DL、ブラシンフロアブルは、変色米に有効である。

紋枯病

- ・前年の罹病残渣が伝染源であるので、前年多発した圃場では箱粒剤、種子塗抹剤等を 使用し、初期防除を徹底する。
- ・粒剤施用後、1週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。
- ・薬剤が稲の下部に付着するように散布する。
- ・晩生種、直播田でも7月下旬には防除する。
- ・使用時期が「収穫21日前まで」の薬剤は、早生品種の穂揃後に使用しない。
- ・初期防除を行っていても、後期に多発生が予想されるときは追加防除する。

小粒菌核病

- ・粒剤施用後、1週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。 〔耕種的防除〕
- ・発生地域では、早期落水をしない。
- ・灌排水に注意し、根腐れを起こさないようにする。

白葉枯病

- ・常発地や多発が予想されるときは、予防散布を行う。
- ・散布後、1週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。

ごま葉枯病

・発生が多い場合は、傾穂期にも防除する。

[耕種的防除]

- ・「秋落ち」など肥切れしやすい圃場で発生しやすいため、土壌改良資材を投与し土づくりを行う。
- ・適切な中干しを行い、稲体の消耗を防ぐ。

もみ枯細菌病

- ・健全種子を使用し、正しく種子消毒を行う。催芽~育苗時に 30℃以上の高温になると 感染が広がるため温度管理に気を付ける。
- ・出穂期頃の最低気温が22℃以上の高温状態で、降雨が続くと多発する。
- ・粒剤散布後、1週間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。
- ・使用時期が「収穫21日前まで」の薬剤は、早生品種では穂揃期までとする。

イネヒメハモグリバエ

- 幼虫加害初期に防除する。
- ・直播栽培など生育が遅いほど発生が多くなる。

イネミズゾウムシ

- ・山間部や雑草地の近くで発生が多い。
- ・穴あき米(穿孔米)は割れ籾(開えい籾)が多いと発生も多くなる。
- ・粉剤は浅水にして夕方散布すると効果が高い。
- ・6月上旬はニカメイチュウ、イネドロオイムシと同時に防除できる。

ニカメイチュウ

・遅植、直播、多肥栽培で発生しやすい。

〔耕種的防除〕

・幼虫が収穫後の刈り株で越冬するので、刈り株の早期すき込みと湛水管理を行う。

イナゴ類

- ・幼虫発生初期の6月下旬~7月上旬の防除が効果的である。
- ・畦畔沿いを重点に散布する。

ツマグロヨコバイ

- ・防除時期および防除要否は、予察情報または地域ごとの調査で判断する。
- ・早生品種の収穫後は、中晩生品種に集中加害することがあるので注意する。
- ・収穫期近くの防除は、農薬使用基準に従い薬剤を選ぶ。 特に、使用時期が「収穫 21 日前まで」の薬剤は、早生品種での使用に注意する。
- ・トレボン粒剤は湛水して施用し、施用後1週間程度はかけ流ししない。

ウンカ類(セジロウンカ、トビイロウンカ)

- ・防除時期および防除要否は、予察情報または地域ごとの調査で判断する。
- ・薬剤が株元にかかるように散布する。
- ・トレボン粒剤は湛水条件で使用し、施用後1週間程度はかけ流ししない。
- ・使用時期が「収穫21日前まで」の薬剤は、早生品種での使用に注意する。
- ・収穫期近くの防除は使用時期に注意する。

フタオビコヤガ (イネアオムシ)

- ・使用時期が「収穫21日前まで」の薬剤は、早生品種での使用に注意する。
- ・遅植や直播田に発生が多い。

イネツトムシ (イチモンジセセリ)

- ・葉色の濃い品種で被害がひどくなる。
- ・遅植や直播田に発生が多い。

コブノメイガ

- ・防除適期は、幼虫ふ化初期となる成虫最盛期3~5日後である。
- ・葉色が濃いイネは被害が出やすい。

カメムシ類

- ・ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、カスミカメムシ類の発生が多いときは、収穫 14~7日前に追加防除する。
- ・粒剤は湛水深3cm程度で散布し、施用後1週間程度はかけ流しをしない。

イネクロカメムシ

- ・越冬場所に近い山際などで、6月下旬に葉が萎縮するなどの被害を確認したら7月上旬までに防除する。
- ・若齢幼虫は下部の葉鞘に多いため、下部に葉剤がかかるようにする。

(4) いもち病の総合的管理

・基本的ないもち病の防除対策

育苗期防除

種子消毒

- ・いもち病の発生がなかった圃場の健全種子を用いる。
- ・塩水選を励行する。
- ・種子消毒は必ず行う。

播種時

・厚播きせずに、種籾が露出しないように、覆土をしっかり行う。

育苗施設管理

- ・屋内で保管した籾殻や稲わらは、第一次伝染源となるので育苗施設内には置かない。
- ・換気に気をつけ、過湿にならないようにする(育苗期の気温が高い場合)。

葉 い も ち 防 除

育苗箱施用

- 本田葉いもちの防除ができる。
- ・残効期間は薬剤によって差があるので注意する。
- ・薬剤によって播種時、緑化期から使用出来るものがある。
- ・広域で行うと防除効果が高い。
- ・散布ムラによる効果のばらつき、薬害に注意する。
- ・箱施用量を守る。

補 植 苗

・補植用取り置き苗は感染源になりやすいので、移植後1週間以内に取り除く。

水面施用(粒剤)

- ・予防効果のある薬剤は、感染好適条件出現までに施用する。
- ・治療効果のある薬剤は、葉いもち初発時までに施用する。
- ・湛水状態(粒剤:水深3~5 cm、パック剤:水深5~6 cm)にし、自然落水させる。 施用後7日間は落水・かけ流しをしない。
- ・本田初発は6月20日頃。

散布(粉・液剤)

- 全般発生開始期から1週間以内に薬剤散布を行う。
- ・病斑が急増したあとでは十分な効果が得られない。
- ・薬剤散布後、病斑が増加するなら7~10日後に追加防除する。
- ・直播田や遅植え田では葉いもちの発生が多くなりやすいので、防除を徹底する。
- ・降雨が続く場合は、雨のやみ間をみてでも適期防除を行う。

穂 い も ち 防 除

水面施用(粒剤)

- ・粒剤による場合は、湛水状態で施用し、施用後7日間は落水・かけ流しをしない。
- ・葉いもちが発生していると効果が劣るので、葉いもち発生量が多い場合や穂いもち の多発年においては粉・液剤を併用する。

散布(粉・液剤)

- ・穂ばらみ期と穂揃期の2回散布を行う。
- ・出穂がばらつき、遅延する場合は穂揃期の7~10日後に追加防除を行う。
- ・葉いもちが多発した圃場や、葉色の濃い圃場では多発しやすいので注意する。
- ・窒素肥料の多施用は発病を助長するので、適正な肥培管理を行う。
- ・早期落水はイネの抵抗力を弱めるので、収穫期まで適正な水管理を行う。

・いもち病の薬剤防除体系例

	5月				6月				7月			8月	
	上	中	下	上	中	下	_	Ŀ	中	下	上	中	下
	+	移植期	→	—	分げつ期	—	•	一	ばらみ其	月 一	← :	登熟其	期 →
										(出	穂期)		
	移植直前			全般発生開始前	全般発生開始	一週間以内 全般発生開始後		出穂前		出穂直前	穂揃期	傾穂期	
	—			きいも	ち防	除 ——	ı	I			I.	I.	
							+			- 穂いも	ち防除		<u> </u>
	箱施用			水面施用(粒剤)		散 布(粉液剤等)	追加散布(粉液剤等)	水面施用(粒剤)		散 布(粉液剤等)	散 布(粉液剤等)	散 布(粉液剤等)	
体系1						© —	- △			_ 0 _			
体系2				◎ –									
体系3				◎ –				- © -			_ △		
体系4	© —						- △			- O -			
体系5	<u></u> —						- △	O -			_ △		

◎:必要防除 ○:少発条件の場合省略可能 △:臨機防除

・いもち病防除薬剤の特性

	耐性菌	JV / 寸 Iエ	去日夕	效	果		
分類	発生の リスク	FRAC コード/有効成分名	商品名 (含まれる名称)	予 防	治 療	作用特性	
ベンズイミダ ゾール系	高	1/チオファネートメチル	トップジン	0	0	感染防止効果は強く、また、病斑 の拡大を阻止する。	
ジチオラン	中	6/イソプロチオラン	フジワン	0		いもち病菌の胞子発芽にはほとん ど影響がなく、付着器形成以後の 進入菌糸伸展の生育を強く阻害。	
ストロビルリ		11/アゾキシストロビン	アミスター	0	0	浸透移行性があり、胞子形成、胞子 不成、胞子飛散を抑える。	
ン系 (QoI 殺菌剤)	高	11/メトミノストロビン	オリブライト, ワイド パンチ	0	0	水面施用により根からイネ体にす ばやく吸収される。持続期間が長 い。	
		16. 1/フサライド	ラブサイド	0		予防効果が高く、胞子のイネへの 侵入阻害効果、胞子飛散抑制効果 がある。効果持続期間が長い。浸 透移行性は乏しい。	
メラニン生合 成阻害	未発生	16. 1/ピロキロン	コラトップ, デジタル メガフレア	0		菌糸のイネ体への侵入が阻止され、また、すでに形成された病斑上の胞子形成も阻害される。 浸透移行性及び残効性を有する。	
MB I -R		16. 1/トリシクラゾール	ビーム	0		浸透移行性があり、イネのあらゆる部分から吸収されて体内に分布し、いもち病菌の侵入を防ぐ。また、胞子形成を抑制し、胞子の病原力を低下させ、二次感染を抑止する。効果持続期間が長い。	
メラニン生合 成阻害 MBI-P	未発生	16.3/トルプロカルブ	サンエース,サントリ プル,トリプルキック, ツインキック	0		イネいもち病菌の付着器でのメラ ニン生合成阻害作用、それに伴う 感染阻害活性を持つ。	
抗生物質	高	24/カスガマイシン	カスミン	0	0	治療効果が高く潜伏中の病斑治療、病斑拡大阻害効果がある。残 効は短い。耐性菌が発生している。	
ピリミジン系	未発生	U14/フェリムゾン	ブラシン	0	0	治療効果が高く潜伏中の病斑治療、病斑の拡大阻止、病斑上の胞子形成阻害を有する。	
アシルオキシ キノリン系	未発生	U16/テブフロキン	トライ	0	0	病斑形成や伸長、病斑上の胞子形成を強く阻害する。	
		P2/プロベナゾール	オリゼメート, ファーストオリゼ, Dr. オリ ゼ, ジャッジ	0		根から吸収され、いもち病菌に対し、侵入阻害作用、菌糸生育阻止作用、病斑拡大阻止作用、胞子形成阻止作用を示す。効果が現れるまで期間がかかる。持続期間が長い。	
抵抗性誘導剤	未発生	P3/チアジニル	ブイゲット	0		稲が本来持っている病害防御機能 を高めることにより、いもち病菌 の稲体内での菌糸の伸展を強く阻 害する。浸透移行性に優れ、根部 から稲体へ速やかに吸収移行され ることにより、防除効果を示す。	
		P3/イソチアニル	ルーチン,スタウト, エバーゴルワイド,ツ インパディート,ツイ ンターボ,箱いり娘,箱 大臣,ヨーバルトップ, ヨーバルプライム EV	0		浸透移行性があり、感染した細胞 が過敏感細胞死を起こすことで他 の細胞への拡大を防ぐ。	
		P8/ジクロベンチアゾクス	ブーン	0		感染した細胞は活性酵素、抗菌性 物質を産生し菌糸の伸展を阻害、 さらに過敏感細胞死を起こして他 の細胞への感染拡大を防ぐ。	

· QoI 剤耐性いもち病対策

1 QoI 剤耐性いもち病菌の発生状況

2012 年度から現在まで、福井県の近隣を含めた 21 府県で QoI 剤*耐性のイネいもち病菌が確認されている。

※QoI 剤 (ストロビルリン系殺菌剤)

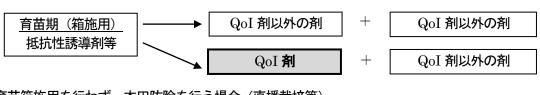
成分名	農薬名(防除指針掲載薬剤)
アゾキシストロビン	アミスタートレボン SE
メトミノストロビン	オリブライト1キロ粒剤、オリブライト250G、ワイドパンチ豆つぶ

- 2 QoI 剤耐性いもち病菌の発生を抑えるための対策
 - 1) 採種圃では、種子流通に伴って広範囲で耐性菌を広める恐れがあるため、QoI 剤の使用を避ける。
 - 2) QoI 剤の使用回数は、最大年1回とする。
- 3) 育苗箱施用で QoI 剤を使用した場合には、本田では QoI 剤を使用しない。
- 4) 種子消毒は、種子消毒の使用方法を遵守して、必ず実施する。
- 5) 耕種的防除(補植用苗を早期に除去する、種子更新による健全種子を使用する、伝染源である稲わら・ 籾を育苗ハウス内に置かない) を実施する。
- 6)薬剤は規定の施用量を均一に散布し、防除効果が低下しないようにする。
- 7) 育苗時に苗いもちの発生が確認された場合には、本田への移植を行なわない。
- 8) 連年、QoI 剤を使用している圃場では、可能な限り1年もしくは2年ごとに QoI 剤と作用機構が異なる薬剤とのローテーションで使用するか、耐性菌の発生リスクが低い薬剤を使用することが望ましい。

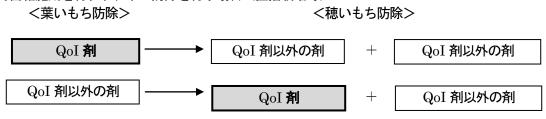
<穂いもち防除>

3 一般圃場でQoI 剤を利用する場合の防除体系例 ※薬剤については参照

1) 育苗箱施用により葉いもち防除する場合 <葉いもち防除>



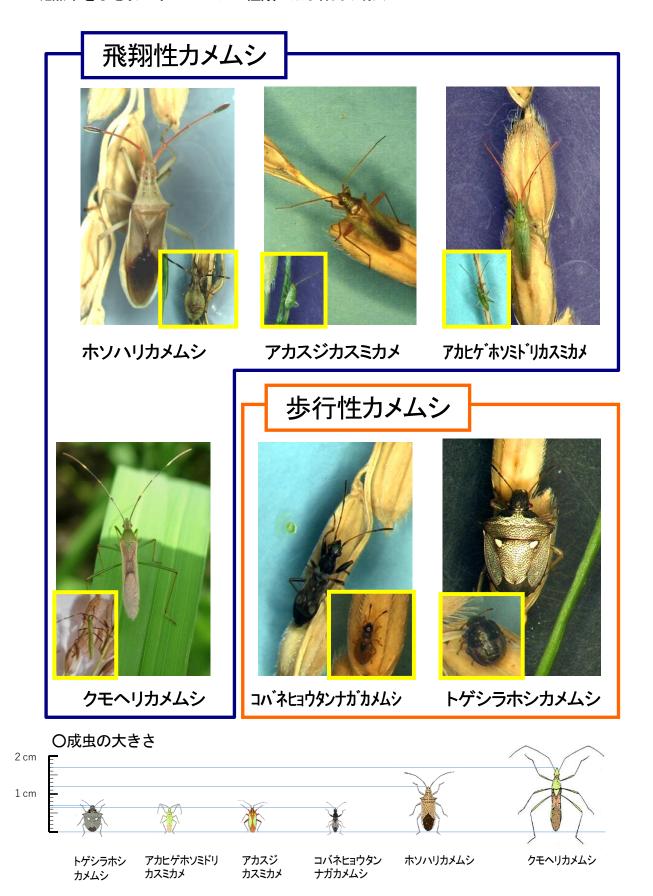
2) 育苗箱施用を行わず、本田防除を行う場合(直播栽培等)



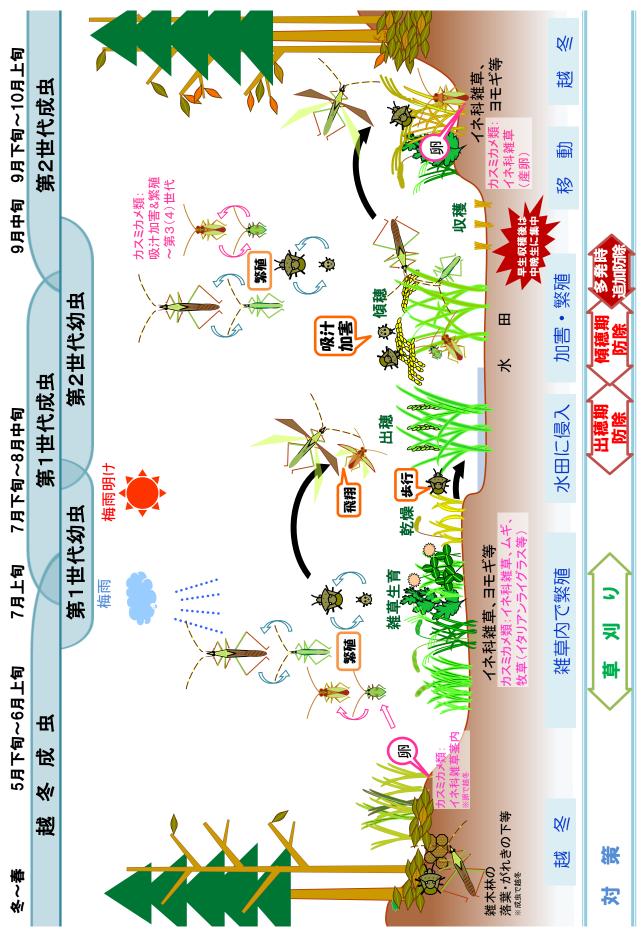
◎QoI 剤の連年使用は避け、可能な限り1年または2年おきに作用機構の異なる薬剤とローテーションで使用する(イネいもち病防除におけるQoI 剤及びMBI-D剤耐性菌対策ガイドラインより)。

(5) 斑点米カメムシ類と総合的管理

・斑点米をひきおこすカメムシの種類 ※小枠内は幼虫



・斑点米カメムシ類の生活史



斑点米カメムシ類の総合的管理方法

品種の団地化

- ・出穂が早い品種、圃場ほど斑点米の発生が多くなる。
- ・品種の団地化を行うことで、カメムシ類による集中加害を防ぎ、加害を軽減する。

雑草の管理

- ・出穂するまでカメムシ類は、主に畦畔、農道、休耕田などの雑草地で生息している。
- ・<u>草刈りを出穂10日前までに</u>こまめに行い、イネ科雑草の種子がつかないように管理し、カメムシ類の 繁殖を抑える。
- ・出穂後の草刈りは、カメムシ類の水田への侵入を助長するので、行わない方がよい。
- ・休耕田におけるカメムシ防除薬剤は、次ページを参照する。
- ・草刈りは、地域で一斉に行うとカメムシ類の避難場所をなくし、防除効果が高くなる。
- ・水田内の雑草は、カメムシ類の本田侵入を助長するので早めに取り除く。

出穂以降の管理

- ・水田内でカメムシ類が1頭以上すくい取られると、1,000粒に1粒以上の斑点米が混入する可能性が大きい。
- ・すくい取り調査方法:捕虫網を用いて、出穂始めと穂揃期の2回、25回往復(50回振り)で、水田内の畦畔沿いをすくい取る。捕獲率が高い早朝、または午後4時以降に行うとよい。

薬剤防除

〈粉剤・液剤による防除〉

- ・**薬剤防除は、穂揃期と糊熟初期の2回**防除が基本。多発生が予想される場合は3回目の防除を収穫14~7日前に行う。
- ・薬剤散布は、**地域で一斉に行うと、より効果が高くなる**。
- ・収穫期に近い防除は、特に農薬使用基準に注意する。
- ・カメムシの種類によって、効果の高い薬剤が異なる。
- ・圃場の周辺部は斑点米の発生が多いので、別刈り・別仕分けする。

IRAC	1 B	2 B	3 A	4 A		4 C	4 F
系 統	有機リン	フェニルピラゾール	ピレスロイド	ネオニコチノイド		スルホキシイミン	ピリジリデン
成 分	ME P	エチプロール	エトフェンプロックス	ジノテフラン	クロチアニジン	スルホキサフロル	フルピリミン
薬 剤	スミチオン	キラップ	トレボン	スタークル アルバリン	ダントツ	エクシード	エミリア

〈粒剤を基幹とした防除事例〉

(スタークル/アルバリンを用いた事例)

粒剤散布時の注意事項

- ・スタークル/アルバリン粒剤は水溶性が高く流亡しやすいため、水深3cm 程度の湛水状態で散布し、 その後自然落水するまで、水を落とさない。
- ・スタークル/アルバリン粒剤・粉剤DLともに、使用量は10a当たり3kgとする。
- ・額縁防除を行う場合は、水田内幅3mの額縁部のみ10a当たり3kg相当を散布し、過剰散布にならないよう、注意する。
- ・斑点米多発米地域では、粒剤だけの防除では効果が不十分であるため、粒剤散布7日後頃に必ず粉剤 による補完防除を行う。
 - ※ 粒剤、粉剤とも防除時期が遅れると、効果が著しく低下するので、注意する。

例年の斑点米発生状況	薬 剤 名	散布時期・量	散布方法
少発生地域	(スタークル粒剤 アルバリン粒剤	出穂7日後頃 3m×100m=3a	水田内周辺部、幅3mのみ 額縁散布する。
斑点米率 0.2%未満 粒剤の額縁散布		当たり 0.9 kg	
中発生地域	(スタークル粒剤 アルバリン粒剤	出穂7日後頃 10a 当たり3 kg	水田内全面散布する。
斑点米率 0.2%~0.4% 粒剤の全面散布			
多発生地域	(スタークル粒剤 アルバリン粒剤	出穂7日後頃 10a 当たり 3kg	水田内全面散布する。
斑点米率 0.4%~0.7% 粒剤の全面散布と 粉剤散布の体系防除	(スタークル粉剤 DL アルバリン粉剤 DL	粒剤散布7日後頃 10a 当たり3kg	水田内全面散布する。

福井農試調べ

休耕田におけるカメムシ防除

薬剤名	使用濃度	10 ア ー ル 当たり使用量	注 意 事 項
(アルバリン粉剤DL		3 kg	・ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等
\ スタークル粉剤DL		3 kg	の多年生雑草が優占している休耕田。
(アルバリン顆粒水溶剤	2,000 倍	60~150 ℓ	・茎葉に薬剤が十分かかるように散布する。
スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	60~150 ℓ	・越冬後の増殖を抑えるために、6~7月に
スミチオン粉剤3DL		3∼4 kg	防除する。
スミチオン乳剤	1,000 倍	60∼150 ℓ	
ダントツ粉剤DL		3∼4 kg	
ダントツH粉剤DL		3∼4 kg	
ダントツ水溶剤	4,000 倍	60~150 ℓ	
トレボン粉剤DL		3∼4 kg	
トレボン乳剤	2,000 倍	60∼150 ℓ	
キラップ粉剤 DL		$4\mathrm{kg}$	
キラップフロアブル	2,000 倍	60∼200 ℓ	
エクシードフロアブル	2,000 倍	60∼150 ℓ	

(6) 成果情報

積雪前の除草剤散布で斑点米が激減

1 はじめに

これまでの斑点米の防除は、水稲の生育期間中にカメムシ類の住み家となる畦畔雑草の除草や水田内の殺虫剤散布によるものでした。しかし、これらの作業は、田植えなどの作業と競合したり、梅雨や高温の時期と重なり、重労働となっています。そこで、斑点米を減らすだけではなく、水稲生育期間中の防除作業も軽減できる新たな防除技術を開発しました。

2 技術の効果

- ①斑点米の発生抑制
- ②防除コストの低減
- ③防除作業の分散と省力化
- ④農薬の使用回数の削減などの効果 慣行防除体系(除草作業3回+殺虫剤散布2回)の防除コストが10アール当り約4,500円に比べ、この新防除体系は、10アール当り約3,000円と、コストが約30%削減できます。

3 薬剤散布の方法

①薬剤名:カソロン粒剤4.5 ②散布時期:11月下旬~積雪前

③散布量: 8kg/10a



ムラ散布のないよう均一に散布 連続圃場で広域的に散布すると効果大

4 積雪前のカソロン粒剤散布によるカメムシ類 の発生抑制効果

積雪前にDBN粒剤を散布した畦畔では、6 月下旬に雑草が再生してきても、カスミカメムシ類(第1世代)発生がみられず、高い発生抑制効果があります(表)。

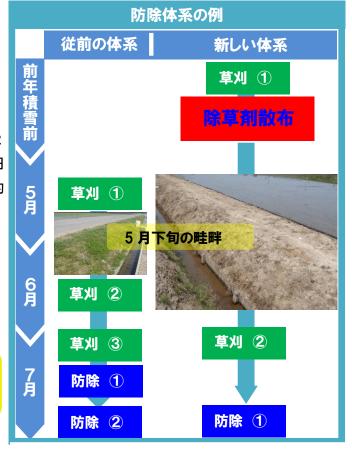


表 カソロン粒剤散布とカメムシ類の発生調査結果(2012 福井農試)

調査地	DBN 剤散布	カスミカメムシ類(頭)				
沙 直地	12 月上旬	成虫	幼虫			
N地区	有	0	0			
N地区	無	157	0			

調査月日:平成24年6月25日 調査方法:20回往復すくい取り調査

5 積雪前のカソロン粒剤散布を基幹とした防除体系事例の斑点米の発生と防除コスト

防除方法	畦田	半除草(草刈	IJ)	水田 殺虫剤		斑点米 発生率	防除コスト		
	5月中旬	6月中旬	7月上旬	穂揃期	傾穂期	(%)	(円/10a)		
新しい体系	_	_	0	_	0	0.073	3,000		
従来の体系	0	0	0	0	0	0. 084	4, 500		
無防除	_	_	_	_	_	0. 349	_		

育苗箱施薬でカメムシ防除!

1 はじめに

近年、殺虫成分の溶出を制御するなどの製剤の改良により、従来の育苗箱施薬剤に比べ効果が持続 し、初期害虫だけでなく、斑点米カメムシ類にも防除効果が期待できる新しい育苗箱施薬剤が開発されています。しかし、本県ではこれらの溶出調整型育苗箱施薬剤の使用事例は少ないため、本県で発生の多い斑点米カメムシ類に対する防除効果を検証しました。

2 溶出調整型育苗箱施薬剤(デジタルメガフレア箱粒剤)の特長

- (1) 箱処理剤で斑点米カメムシ類も防除が可能
- (2) 防除回数が減り省力化を実現
- (3) 本田散布に比べ、天候の影響を受けず効果が安定
- (4) ヤゴなどの水生動物に対する影響が少ない



図1 アカスジカスミカメ成虫

3 斑点米の発生抑制効果

ハナエチゼンの斑点米の発生量は、溶出調整型育苗箱施薬剤のデジタルメガフレア箱粒剤は、慣行の無人へりによるダントツフロアブルの2回散布よりも発生が少なく、高い防除効果が検証されました (表 1)。

いちほまれでもデジタルメガフレア箱粒剤は、高い防除効果が確認されました(表2)

以上のことから、溶出調整型育苗箱施薬剤であるデジタルメガフレア箱粒剤の斑点米の発生抑制効果は、防除時期の降雨などの気象条件による影響もなく、安定した効果が得られることが実証されました。また、早生品種のハナエチゼンから熟期の遅いいちほまれまで、県内で栽培されている主要な品種について、幅広い作型に対応可能であることがわかりました。

表1 溶出調整型育苗箱施薬の斑点米発生抑制効果				品種:ハナエチゼン			
薬剤名	調査粒数		斑点米 発生率				
米川石	神里性效	頂部	側部しみ状	斑点	合計	光王华 (%)	
デジタルメガフレア箱粒剤	24004	4	2	1	7	0.03	
ファーストオリゼプリンス箱粒剤	22760	12	8	5	25	0.11	
無 処 理	18790	9	6	4	19	0.10	

注)出穂期:7月16日 収穫期:8月20日

すべての処理区において生育期間中は無防除で行った。

無人へリ防除:ファーストオリゼプリンス箱粒剤、無処理は7月22日、7月30日に ダントツフロアブル24倍液を800ml/10a散布

表2 溶出調整型育苗箱施薬の	品種:し	いちほまれ	ا				
薬剤名	三田 木 小十米4			斑点米 発生率			
采 則 石	調査粒数	頂部	側部しみ状	斑点 合計		(%)	
デジタルメガフレア箱粒剤	26531	6	7	1	14	0.05	
Dr.オリゼフェルテラグレータム箱粒剤	24119	16	11	2	29	0.12	
無処理	27575	14	10	3	27	0.10	



図2 側部しみ状の斑点米

本技術導入の際は、生育期の防除も含め、広域的な防除計画を立てて行ってください。

秋の田起こしと冬の湛水によるニカメイガの防除法

1 はじめに

ニカメイガは、イネの茎を食害し、収量・品質を低 下させる害虫です(写真1、2)。県北部で発生が多く、 被害を受けています。

そこで、秋の田起こし(耕起)と湛水により、翌年 の発生源となる越冬幼虫を防除します。

2 秋の田起こしと冬の湛水で越冬幼虫を減らす

秋の田起こし(耕起)と冬の湛水により、幼虫の越冬 場所である刈り株や稲わらを埋没させることで、越冬幼 虫を減らすことができます(表 1)。





写真 1 幼虫 写真 2 被害 (白穂)

(1)田起こし(耕起) [10月]

刈り株を細かく粉砕し、稲わらを十分にすき込むため、ゆっくり深く耕うんします。(深さ 15cm、速度 1km)

(2) 湛水 [11 月下旬から 2 月末まで]

冬期間に降雨をためて稲わら等を水没させるため、暗きょを閉めます。湛水の目安は、土壌 表面の半分が見え隠れする程度です(写真3)。湛水は幼虫が休眠して動かなくなる11月下旬 に実施し、2月末まで続けます。

3 コンバイン収穫時に幼虫を減らす

収穫時にコンバインの排わら長を短く(8cm以下) 設定したり、地際部から刈り取ると、田起こし前に幼 虫を少なくすることができ、より効果的です。

4 作業時間

10a あたりの作業時間は、土づくりのために従来よ り行っている「田起こし」(25分)に加え、「暗きょの 開閉」(2分)のみです。



写真3 水田の湛水状況

表 1 田起こし (耕起) および湛水による越冬幼虫の防除効果

処理区	1 ㎡あたりの	幼虫数(頭)	生存率 3)	無処理比	
	処理前(10月)	処理後(3月)	(%)	無処理比	
耕起 1) +湛水 2)	8. 3	0. 7	8. 4	12	
耕起 1)	11. 1	2. 3	20. 7	31	
無処理	9. 9	6. 7	67. 7	100	

- 1) 10 月下旬に通常ロータリーで耕起
- 2)11 月下旬から2月末まで暗きょを閉める
- 3) 処理後の幼虫数/処理前の幼虫数×100

(7) 病害虫の要防除水準

圃場内での調査を行い、病害虫の発生状況を的確に把握した上で、要防除水準に基づく、効率的な防 除を実施し、環境負荷の少ない防除を推進する。

紋枯病

1 要防除水準

早生(7月下旬出穂ハナエチゼン)では穂ばらみ期(7月中旬頃)の発病株率が10%以上であれば、中生(8月上旬出穂コシヒカリ)では7月下旬の発病株率が20%以上であれば5%減収するので防除を行う。

2 調查方法

穂ばらみ期に、1 圃場あたり100株の発病株率を調査する。

イネミズゾウムシ

- 1 要防除水準
- (1) 前年の発生密度が100株あたり成虫50頭以上の場合は、育苗箱施薬を実施する。
- (2) 育苗箱施薬を行った場合 5月20日頃(本田侵入期)の成虫数が100株あたり80頭以上の場合は、薬剤を散布する。
- (3) 育苗箱施薬を行わなかった場合

5月20日頃(本田侵入期)の成虫数が100株あたり30頭以上の場合は、薬剤を散布する。 また、漏水田や砂質土壌田では同時期に成虫数が100株あたり20頭以上の場合は粉剤を散布 し、50頭以上の場合はさらに7日後にも粉剤を散布する。

2 調査方法

本田侵入期の5月20~25日に、畦畔から1m内部に入った所の株を見とり調査する。

セジロウンカ

1 要防除水準

6月末~7月中旬に飛来成虫数で1株あたり4頭以上、7月下旬~8月上旬(幼虫加害盛期)に幼虫数で1株あたり30~40頭以上の場合は、薬剤を散布する。

2 調査方法

6月末~7月中旬と7月下旬~8月上旬に水田内部の3か所以上で株の払い落とし、または見とり 調査を行う。

トビイロウンカ

1 要防除水準

8月初めに短翅成虫数で1株あたり0.1頭以上、8月中旬に成幼虫数で1頭以上、9月中旬に幼虫数で40頭以上の場合は、薬剤を散布する。

2 調查方法

8月初めと8月中旬に1水田あたり3か所以上で株の払い落とし、または見とり調査を行う。

イチモンジセセリ (イネツトムシ)

- 1 要防除水準(直播栽培) 7月下旬(若齢幼虫期)の若齢幼虫数で、1 m³あたり4.4頭以上の場合は防除する。
- 2 調査方法7月下旬に、1水田あたり1㎡(1m×1m)を5か所程度の見とり調査を行う。

イネアザミウマ (黒点米)

- 1 要防除水準 出穂前のすくいとり調査で、成虫が100頭以上すくいとられた場合は防除する。
- 2 調査方法 早生品種の出穂7日前頃に、水田内の畦畔沿いを20回往復すくいとり調査を行う。

(8)福井県稲奨励品種等病害虫抵抗性一覧

	品	種	Ħ			病	害 虫	名	
		性	名		葉いもち	穂いもち	白葉枯病	紋 枯 病	イネカラバエ
	ハ	ナエ	チセ	シン	中	中	やや弱	中	中
>	フ	クヒ	: カ	リ	中	中	やや弱	やや弱	中
う	コ	シヒ	: カ	リ	弱	やや弱	やや弱	中	強
る	イ	クヒ	: カ	リ	中	中	中	やや弱	強
ち	キ	ヌヒ	: カ	リ	中	中	中	中	強
米	あ	きさ	シュ	り	やや弱	中	弱	やや弱	_
	V	ちほ	まま	れ	強	強	弱	中	_
	日	本	1	晴	中	やや強	中	中	強
酒	五	百	万	石	中	中	中	中	強
	お	< 18	まま	れ	中	弱	中	中	強
米	さ	かに	まま	れ	弱	弱		_	
ŧ,	恵			糯	強	強	中	中	強
もち米	力	グラ	ナモ	チ	中	中	中	中	強
米	タ、	ンチョ	・ウュ	E チ	強	中	中	中	強

(9)農業資材の消毒

	1			·
薬剤名	使用	方 法	注 意 事 項	
	対 象	希釈倍数	使用方法	在 总 事 復
イチバン	育苗箱 (木箱、プラスチック箱) 育苗用ポット 支柱等資材	500~1,000倍	瞬時浸漬 または ジョロ散布	・湿熱で60℃60分間、65℃30分間消毒してもよい。 ・イチバンは水稲育苗箱消毒後の水洗、乾燥は不要。 ・ケミクロンGは農業資材消毒後はきれい
ケミクロンG	催芽箱、育苗箱、育苗トレイ・ポット、植木鉢、果実類貯蔵箱、温室用資材、収穫用かご等農具の消毒	1,000倍 500倍	10分間 浸漬 瞬時浸漬 または ジョウロ散布	な水で水洗し、水切り乾燥する。 金属類や木箱に使用した場合、必ずその後水洗する。 ・消毒後の液は河川、用排水路、池などに流さず、適正に処理する。

2 水稲除草剤

(1) 使用上の注意事項

① 土壌条件に応じた安全な除草剤の選定

除草剤ごとに定められた適用地帯、適用土壌の範囲で使用する。特に極端に減水深の大きい圃場 や強還元田などでは薬害が発生しやすいので、土壌条件に合った安全な除草剤を選ぶ。

② 適期・適量で均一に散布

イネの生育状況と雑草の発生実態に合わせ、適期、適量散布を基本とする。

除草剤の散布時期の誤りや多量散布、むらまきなどは、効果が劣ったり薬害発生の原因となるので、処理時期を見定め、基準量を守って均一に散布する。

③ 除草剤の排水路等への流出防止

散布後は水田表面の土が露出しないよう処理後7日間程度は湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしない。

畦畔の野生動物が破損した箇所や小動物が開けた穴を補修したり、畦畔シートを使うなど、畦畔整備で畦畔からの漏水をなくす。水田外への農薬流出防止のためにも、畦畔や水尻からオーバーフローさせない。

散布後の水管理では、止水管理の実施も考慮する。

④ 薬剤や成分ごとの使用回数の厳守

薬剤だけでなく成分ごとにも使用回数の上限が定められているので、それを確認し、絶対に守る。

⑤ 健苗の育成と適正な植付け

軟弱徒長苗は活着および初期生育が悪く、除草剤の薬害を受け易いので健苗育成につとめる。また極端な深植、浅植も活着の遅れや薬害を受け易いので適正な植付けを行なう。

⑥ 水管理の徹底と生育の健全化

田面の均平化につとめ、極端な深水にならないよう注意する。また活着後の初期生育を促進するため、地温を高めるように水管理を行い、生育の健全化を図る。

⑦ 生育障害の発生防止

極端な漏水田、強還元田、未熟有機物の多用田などでは薬量を減量するか、もしくは使用を避ける。

⑧ 散布作業における安全確保

人体への毒性が強い薬剤もあるので、体調が十分の時を選んで作業し、取扱いや散布作業の際は 手袋、マスク、防塵めがね等を着用する。また、作業中の転倒、落下等の事故にも注意する。

⑨ 環境の保全

除草剤の散布はできるだけ風の弱い日に行い、付近の作物、動物への飛散や流失による危被害及び使用時の事故を防止する。さらにできるだけ飛散しにくい剤型の除草剤を選択するとともに、液剤や水和剤を散布する場合には、飛散低減ノズルを使用する。

(2) 除草剤の使用法

同一成分(系列)薬剤の数年間の連続施用により、特定雑草の優占化や抵抗性雑草の発生を助長することがあるので、適宜体系処理(初期剤+中期剤)も組み合わせるなどして特定雑草の優占化等を予防する。

(3) 田植え同時処理剤の使用法

- ① <u>「移植時」登録のある除草剤を使用</u>し、除草剤の剤型と散布機との適合性を作業前に確認する。 使用時期が「移植直後」となっている除草剤は、田植え同時処理に使用できず、<u>「移植時」とし</u> て登録のある除草剤でなければ田植え同時処理に使用することはできない。使用に当たっては、 必ずラベルを確認するなど、十分注意する。
- ② 除草効果を高め薬害を軽減するために、田植え時に落水しても土壌表面の土を固めすぎないようにする。(根が露出したり、転び苗となると薬害発生につながる。)

- ③ 散布にあたっては、基準量を守って散布するよう、散布前に必ず機器の調整を行う。作業中に も散布量や散布幅等が適正かを確認する。雨天時作業では、水分や湿気で薬剤が固まることがあ るので避ける。
- ④ 移植後は速やかに入水を開始し、移植後24時間以内には目標の水深となるようにする(急激な入水では水口付近の効果が劣ることもあるので注意)。散布後7日程度は落水やかけ流しは絶対に行わない。
- ⑤ 除草剤散布後の補植は、極力行わない。
- ⑥ 苗箱施薬用殺虫殺菌剤散布機も付いている田植機では、薬剤とそれを入れる散布機の組み合わせを絶対に間違えないように注意する。

(4) 少量散布粒剤の使用法

少量散布粒剤の処理方法には、手持ちの散布器具を使用しての簡便散布や畦畔からの周辺散布、または無人航空機による散布がある。

- ① 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水し、湛水散布の場合は水田全面に行きわたるよう、また周辺散布の場合は水田周辺部に沿って帯状に散布する。
- ② 藻類の発生等により、剤の拡散が不十分になることが予想される場合には、周辺散布を避け、本田内で水田全面に散布する。

(5) フロアブル剤の使用法

フロアブル剤の使用方法には、手振り散布、田植同時滴下処理(「移植時」登録のある除草剤に限る、田植同時散布機を用いる)または水口流入処理(登録のある除草剤に限る)がある。

- ① 田面の均平にあたっては粒剤を使用するとき以上に均平化に心がける(しろの掻き過ぎに注意)。
- ② 散布前に容器を軽く振り、原液のまま散布する。散布にあたっては水深を十分確保し、散布後3日間は湛水する。
- ③ 表層剥離やアオミドロの発生田は、水稲の生育が抑制され、除草効果が劣るので使用を控える。
- ④ 強風時の処理は、除草効果にムラを生じやすいので行わない。
- ⑤ 散布後2日以内に大雨が予想される時は、使用を避ける。
- ⑥ 幅30mまでの水田の場合は、畦から散布する。幅40mの水田では畦畔からの散布に加え、水田中央に1列散布する。
- ⑦ 水口流入処理は、パイプ灌漑を原則とし、5時間以内に $4\sim5$ cmの湛水深が確保できる圃場に限る。
- 圏 顆粒剤については、専用容器に規定量を清澄な水で希釈しムラなく散布する。

(6) ジャンボ剤の使用法

- ① ジャンボ剤の投げ込みについては、田面が露出しないように5~6cmの湛水止水として下手投げで均等に拡散するように投下する。
- ② 表層剥離やアオミドロがすでに発生している場合は、成分の拡散が阻害され、水稲に生育抑制 が生じ、除草効果が得られない危険があるので、使用を控える。
- ③ パックは、濡れた手で扱わない。
- ④ 強風時や大雨時の使用も避ける。その他の注意事項は、他の剤型に準ずる。

RPA

(7) 本田除草剤の使用方法(移植)

	・ 本田除早別の使用	/J /A \	191世/			RPA
区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
移植	アークエース1キロ粒剤	0,15	1kg/10a	植代後〜移植7日前または移植直後〜ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
初期			1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	かねつぐ1和粒剤	15,2	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
			1kg/10a	L 移植直後〜ノピエ1.5葉期 但し、移植後30日まで	↓ 湛水散布	1回
	 シング乳剤	"18(F		 移植直後〜ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布	10
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•	散布)			
	ソルネット1キロ粒剤	15	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
			1kg/10a	移植直後〜ノビエ1葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布	1回
	ヒ゜ラクロンフロアフ゛ル	14	500mL/10a		<u>-</u> 田植同時散布機で施用	1回
	へ゛クサーフロアフ゛ル	14	500mL/10a		 田植同時散布機で施用	2回以内
			500mL/10a		原液湛水散布又は水口施用	2回以内
			Journey 10d	ただし、移植後30日まで		2四次门
	マーシェットシ゛ャンホ゛	15		植代後~移植前7日または移植後1日~ノビエ1葉期 た	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
			(500g)/10a	だし、移植後30日まで		
	マットタフ゛シ゛ャンホ゛	15,30	5~10個(250~	植代後~移植前7日又は移植直後~ノビエ1葉期 但し、	水田に投げ入れる。	1回
			500g)/10a	移植後30日まで	ko##	1 🗔
			5~10個(250~ 500g)/10a	移植直後〜ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	水口施用	1回
	メテオ1キロ粒剤	14	1kg/10a		 田植同時散布機で施用	2回以内
			1kg/10a	植代後~移植前7日又は移植直後~ノビエ1葉期 但し、		2回以内
			ing/ioa	た。	/ 世 刈 入 自 入 作 月 入 作 入 作 入 作 入 作 入 作 入 作 入 作 入 作 入	
	メテオシ゛ャンホ゛	14	小包装(パック)10個	植代後~移植前7日又は移植直後~ノピエ1葉期 但	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま	1回
			(300g)/10a	し、移植後30日まで	投げ入れる。	
	メテオフロアフ゛ル	14	500mL/10a	植代後〜移植前7日又は移植直後〜ノピエ1葉期 但し、 移植後30日まで	原液湛水散布又は水口施用	2回以内
			500mL/10a	移植時	 田植同時散布機で施用	2回以内
		14	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	10
20 枯	プログロググ が アカツキ1キロ粒剤		1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	10
炒怛	/ ガノキエキロ水立河 	27				
一発			1kg/10a	移植直後〜ノピエ3葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布	10
処理	アカツキシ゛ャンホ゛	15,2, 27	小包装(^ ック)10個 (250g)/10a	移植後3日〜ノピエ3葉期 但し、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
刘	アカツキフロアフ゛ル	_	500mL/10a	 移植後3日〜/ビエ3葉期 但し、移植後30日まで	原液湛水散布	1回
	7,374,747,77	27		1970世後30日まで19末朔 1年10、1970世後30日まで		
	アクシズMX1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	移植後7日~ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	湛水散布	1回
			1kg/10a	移植後7日〜ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	無人ヘリコプターによる散布	1回
-	アクシス゛MXエアー粒剤	2,27	300g/10a	移植後7日〜ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	湛水散布、水口施用又は無人航空機による る散布	1回
	アクシス゛MXシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (300g)/10a	 移植後7日〜/ピエ4葉期 ただし、収穫45日前まで 	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	アシュラ1キロ粒剤	14 2	1kg/10a	移植時	 田植同時散布機で施用	10
	、、→ / ▼ / B/(五/円)	27	1kg/10a	127 121 13	選水散布又は無人航空機による散布	10
	アシュラ400FG		400g/10a			
	//±/400FG	27	HUUK/ 108	移植直後〜ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	11111
	アシュラシ゛ャンホ゛	14,2,	小包装(パック)10個	移植直後〜ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
		27	(400g)/10a			
	アシュラフロアフ゛ル	14,2,	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	500mL/10a	移植直後〜ノビエ4葉期 但し、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	•	-	•			•

\	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤 使用回
	アネシス1キロ粒剤	15,2,	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
ŀ	アピログロウMX1キロ粒	15,2,	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
	剤	27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布	1回
ŀ	イネキング 1キロ粒剤	14,27	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
			1kg/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
ľ	イネセ゛ットEW	14,15	500mL/10a		田植同時散布機で施用	1回
			500mL/10a	植代後〜移植前7日または移植直後〜ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布	1回
	イネヒーロー1キロ粒剤	0,14,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		2	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	イネヒーローエアー粒剤	0,14,	400g/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
	イネヒーローシ゛ャンホ゛	0,14,	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植直後〜ノピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	イネリーク゛1キロ粒剤		1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		,4	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ウィニング ラン1キロ粒剤		1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期但し、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ウルティモZ1キロ粒剤	2,27,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		33	1kg/10a	移植直後〜ノピエ3.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ウルティモZシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (350g)/10a	移植後5日〜ル゛ェ3葉期ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ウルティモZフロアフ゛ル	2,27, 33	500mL/10a	移植後5日〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	エンペラー1キロ粒剤	14,2,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	移植直後〜ノピエ3葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	エンヘ゜ラーシ゛ャンホ゛	14,2, 27	小包装(パック)10個 (250g)/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	エンヘ゜ラーフロアフ゛ル	14,2,	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	500mL/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	エンペ ラー豆つぶ250	14,2, 27	250g/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
	カウンシルエナシ゛-1キロ粒剤	15,2,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	移植直後〜ノピエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	カウンシルエナシ゛ーシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植直後〜ノピエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	カウンシルエナシ゛ーフロアフ゛ル	27	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	カウンシルコンフ゜リート1キロ粒	2,27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	剤 		1kg/10a	移植直後〜ノピエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	カウンシルコンフ゜リートシ゛ャン ホ゛		(300g)/10a	移植後5日〜ル゛ェ3.5葉期 ただし、移植後30日まで		1回
	カウンシルコンフ゜リートフロアフ゛ ル	,	500mL/10a	移植後5日〜ル゛ェ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	カチドキZ楽粒	2,4	250g/10a	移植後3日〜ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
	ガンガン1キロ粒剤	15,2	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
			1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	ガンガンジャンボ	15,2	小包装(パック)10個 (250g)/10a	移植後3日〜ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
ſ	ガンガン豆つ。ジ250	15,2	250g/10a	移植後3日〜ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人^リコプターによる散布	1回

ì	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回
Ī	キラリ1キロ粒剤	14,2,	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
		27	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
; !	キラリ400FG	14,2, 27	400g/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
ŀ	キラリフロアフ゛ル	14,2,	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	500mL/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
-	クラールEW	15,5	500mL/10a	植代後〜移植7日前又は移植直後〜ノビエ1.5葉期 但 し、移植後30日まで	原液湛水散布	1回
ľ	ゴエモン1キロ粒剤	15,2,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
-	コ゛エモンシ゛ャンホ゛	15,2, 30	小包装(パック)10個 (300g)/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	コ゛エモンフロアフ゛ル 15,2	15,2,	500mL/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は水口施用	1回
		30	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
f		14,2,	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
-	コメットシ゛ャンホ゛	14,2, 27	小包装(パック)10個 (300g)/10a	移植後5日〜/ピエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
ľ	コメット顆粒 1	14,2,	80g/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	80g/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫60日前まで	顆粒水口施用	1回
			80g/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
ŀ	サキガケ楽粒	15,27 ,4	250g/10a	移植直後〜/ピエ3葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
İ	サスケ粒剤200	0,15, 2,27	200g/10a	移植後3日〜ノビエ2葉期ただし、移植後30日まで	水口施用、湛水散布又は無人航空機によ る散布	1回
ı	サラブレッドKAl1キロ粒 剤	14,2, 30	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	サラフ゛レット゛RXフロアブル	2,30,	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		4	500mL/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 但し移植後30日まで	原液湛水散布又は水口施用	1回
I	ジェイソウル1キロ粒剤	15,27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
		,33	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	シ゛ェイソウルシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (450g)/10a	移植後1日〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	シ゛ェイソウルフロアフ゛ル	15,27 ,33	500mL/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	10
			500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	ジェイフレンド1キロ粒剤		1kg/10a	移植直後〜ル゙ェ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
		,27,3	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	ジェイフレンド400FG	30,14, 27,30	400g/10a	移植後5日〜/ビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	10
l	シ゛ェイフレント゛シ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後5日〜/ピエ3葉期ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
		27,30		移植後5日〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は水口施用	1回
	シグナス1キロ粒剤	0.7	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	27	27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	シグ゛ナスシ゛ャンホ゛	27	(300g)/10a	移植後1日〜ノピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
-	シク゛ナスフロアフ゛ル	15,2, 27	500mL/10a	移植後1日〜ノピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
多植	ジャスタ1キロ粒剤 クサウェポン1キロ粒剤	2,27, 33	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
-発	シ゛ャンタ゛ルムMX1キロ粒	2,27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
1理	剤		1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	ジャンダルムMX豆つ。ぶ 250	2,27	250g/10a	移植後3日〜/ピエ3.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
	シュナイデン1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	移植直後〜ル゙エ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
		2,27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	シュナイテ゛ンシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後3日〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	シュナイテ゛ンフロアフ゛ル	2,27	500mL/10a	移植後3日〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	シンケ゛ キ1キロ粒剤	15,27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		15,27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布	1回
	シンケ゛キシ゛ャンホ゛	15,27	小包装(パック)10個 (250g)/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	シンケ゛キフロアフ゛ル	15,27	500mL/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
			500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	シンズ イΖ1キロ粒剤	2,27,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a	移植直後〜ノピエ4葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	シンス゛イΖフロアフ゛ル	2,27, 30	500mL/10a	移植後3日〜/ピエ4葉期 但し、移植後30日まで	原液湛水散布又は水口施用	1回
	シンズイZ豆つ。ジ250	2,27, 30	250g/10a	移植後3日〜ノビエ4葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
	ストレング ス1キロ粒剤	2,27, 4	1kg/10a	移植後5日〜ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
	セイテン1キロ粒剤	2,27,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		30,5	1kg/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	セ゛ータシ゛ャカ゛ー1キロ粒剤	14,2,	1kg/10a	移植直後〜ノビエ4葉期ただし、移植後30日まで		1回
		27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	セ゛ータタイカ゛ー1キロ粒剤	14,2,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	10
	ቲ* -タタイカ* -300FG	14,2, 30	300g/10a	移植後3日〜ノピエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
	セ゛ータタイカ゛ーシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (300g)/10a	移植後3日〜/ビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	セ゛ータタイカ゛ーフロアフ゛ル	14,2, 30	500mL/10a	移植後3日〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	ゼータハンマー1キロ粒剤	14,2	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
			1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	ゼータプラス1キロ粒剤	2,27	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
	セ゛ータフ゜ラスシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (200g)/10a	移植後3日〜/ピエ4葉期 ただし、移植後30日まで	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。	1回
	セ゛ータフ゜ラスフロアフ゛ル	2,27	500mL/10a	移植後3日〜ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	ダブルスターSB顆粒	15,2,	80g/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	80g/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
			80g/10a	移植直後〜ル゙エ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	顆粒水口施用	1回

·分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
直	ダンクショットジャンボSD	,	小包装(パック)10個 (200g)/10a	移植後3日〜ノピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
美	タ [*] ンクショットフロアフ [*] ル			移植後3日〜ノピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	ツイゲ キ1キロ粒剤	2,27, 5	1kg/10a	移植後14日(稲5葉期以降)〜/ピエ4葉期 但し、収穫60 日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ツルキ 250粒剤	15,2, 27	250g/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	ツルキ゛シ゛ャンホ゛	15,2,	小包装(パック)10個 (250g)/10a	移植直後〜/ビエ2.5葉期但し、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	<u></u>		1kg/10a	 移植時	 田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a		 湛水散布又は無人航空機による散布	10
	テ゛ィオーレシ゛ャンホ゛	2,27,	_	移植後1日〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	デ゛ィオーレフロアフ゛ル			移植後1日〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
	ディオーレ顆粒		80g/10a	移植後3日〜/ピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	基水散布又は無人航空機による滴下	1回
		30	80g/10a	移植後3日〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	顆粒水口施用	1回
		14,2,	1kg/10a	 移植時	 田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a			1回
	ト゛ニチS1キロ粒剤	15,2,	1kg/10a		 田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a			1回
	ト゛リフ1キロ粒剤	15,2,	1kg/10a		 田植同時散布機で施用	1回
		4	1kg/10a		 湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ノックアウト楽粒	15,2, 27,5	250g/10a	移植後7日〜ノビエ3.5葉期 但し、移植後30日まで	 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
	/ブレクト乳剤		250mL/10a	移植後20日〜ノビエ5葉期 ただし、収穫45日前まで	落水散布、ごく浅く湛水して散布、又は湛水散布	2回以内
		14,2,	1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a		┃ 湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	ก`	14,2, 30	400g/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
	ハ゛ッチリLX1キロ粒剤		1kg/10a		湛水散布又は無人航空機による散布	1回
		30	1kg/10a		 田植同時散布機で施用	1回
	バッチリLX400FG	14,2, 30	400g/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	 湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
	バッチリLXジャンボ		小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ハ゛ッチリシ゛ャンホ゛			移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	<i>ハ</i> ゙ッチリフロアフ゛ル		500mL/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで		1回
		30	500mL/10a	 移植時	 田植同時散布機で施用	1回
	バットウZ1キロ粒剤	14,2,	1kg/10a	 移植時	 田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	基水散布又は無人航空機による散布	1回
	バットウZフロアブル	14,2, 27	500mL/10a	移植後3日〜/ビエ3葉期ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
	ビ <i>ク</i> トリーZ400FG		400g/10a	移植後5日〜/ビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
	ビクトリーZジャンボ	14,2	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後5日〜ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内
	ビクトリーZフロアブル	14,2		移植後5日〜/ビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人ヘリコプター による滴下	1回

}	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
	フルイニング スカイ500グ ラム 粒剤	14,15 ,2,27	500g/10a	移植後7日〜ノピエ4葉期但し収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
⊢	フルスコアΖ1キロ粒剤		1kg/10a	移植後5日〜/ビエ3.5葉期但し収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
-	フルスコアΖシ゛ャンホ゛	Γ-	小包装(パック)10個 (300g)/10a	移植後5日〜/ピエ3.5葉期但し収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
-	フルチャーシ゛シ゛ャンホ゛			 移植後5日〜/ピエ4葉期 但し収穫45日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
-	フルハ [°] ワーMXシ゛ャンホ゛	14,2, 27	小包装(パック) 10個(500g)/10a	移植後1日〜/ビエ3.5葉期但し収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
,	ベッカク1キロ粒剤		1kg/10a		田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	L 移植直後〜/ピエ3葉期 但し、移植後30日まで		1回
,	へ゛ッカクシ゛ャンホ゛	15,2, 27	小包装(パック)10個 (250g)/10a	移植後3日〜/ピエ3葉期 但し、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
,	ベルーガ1キロ粒剤		1kg/10a	 移植直後〜/ピエ3葉期但し、移植後30日まで		1回
			1kg/10a		 田植同時散布機で施用	1回
,	ヘ゛ルーカ゛シ゛ャンホ゛	2,27		 移植直後〜/ビエ3.5葉期 但し、移植後30日まで 	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
,	ベルーガ豆つ。ジ250	2,27	250g/10a	移植直後〜/ピエ3.5葉期 但し、収穫75日前まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
į	ホットコンビ 200粒剤	15,27	200g/10a	移植直後〜ノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
7	ホットコンヒ゛シ゛ャンホ゛	15,27	小包装(パック)10個 (200g)/10a	移植直後〜ノビエ2葉期ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
7	ホ゛デ ーガ ード プ ロ1キロ	2,27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
3	粒剤		1kg/10a	移植直後〜ノビエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
ī	ボデーガードプロジャン ボ	2,27	小包装(パック)10個 (300g)/10a	移植後5日〜/ビエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ボデ−ガ−ドプロフロア ブル	2,27	500mL/10a	移植後5日〜/ピエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	1回
į	ホ゛ランティアシ゛ャンホ゛	15,2, 27	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後5日〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
-	マスラオ1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	移植直後〜ノピエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
			1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
-	マスラオシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (200g)/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
-	マスラオフロアフ゛ル	2,27	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
			500mL/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
7	メガ ゼ ータ1キロ粒剤	14,2	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	2回以
			1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以
,	メガ ゼ −タ400FG	14,2	400g/10a	移植後5日〜ノピエ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	1回
	メカ゛セ゛ータシ゛ャンホ゛	14,2	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後5日〜ノピエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以
	メカ゛セ゛ータフロアフ゛ル	14,2	500mL/10a	移植後5日〜/ピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人ヘリコプター による滴下	1回
	ライシ゛ンハ゜ワーシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (500g)/10a	移植後3日〜/ビェ2.5葉期ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ラオウ1キロ粒剤	0,15,	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布	1回
		2,27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
ļ	レオセ゛ータ1キロ粒剤	2,27,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		30	1kg/10a	移植直後〜ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで		1回
	レオセ゛ータフロアフ゛ル	2,27, 30	500mL/10a	移植後3日〜ル゛ェ4葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布	1回

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
移植	7ザアリ楽粒	15,27	250g/10a	移植直後〜ノピエ3葉期 但し、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
一発	銀河1和粒剤	0,14,	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
処理		2	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
剤	銀河ジャンボ	0,14,	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後5日〜ノビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	先陣200FG		200g/10a	植代後〜移植7日前又は移植直後〜ル゚ェ1葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無 人航空機による散布	1回
	先陣ジャンボ	14,5	小包装(パック)10個 (200g)/10a	植代後〜移植7日前又は移植直後〜ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	天空1和粒剤	15,2,	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
		27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	天空ジャンボ	15,2, 27	小包装(パック)10個 (300g)/10a	移植後1日〜/ピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	10
	天空フロアブル	15,2,	500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	500mL/10a	移植直後〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
	忍1和粒剤		1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
		27	1kg/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	忍ジャンボ		小包装(パック)10個 (200g)/10a	移植直後〜ノピエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	忍フロアブル	14,2, 27	500mL/10a	移植直後〜ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機 による滴下	10
			500mL/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	流星1和粒剤	14,2,	1kg/10a	移植直後〜ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
		27	1kg/10a	移植時	田植同時散布機で施用	1回
	流星ジャンボ	, ,	小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後3日〜/ピエ3葉期 ただし、移植後30日まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	流星フロアブル		500mL/10a	移植後3日〜/ビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
移植	アトカラSシ゛ャンホ゛MX	2,27	小包装(パック)20個 (500g)/10a	移植後14日〜/ピエ3.5葉期 ただし、収穫45日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
中期	アトリ1キロ粒剤	2	1kg/10a	移植後14日(稲5葉期以降)〜/ビエ4葉期 但し、収穫 45日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	アトトリ豆つぶ250	2	250g/10a	移植後14日(稲5葉期以降)〜/ピエ4葉期 但し、収穫 45日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	アレイルSC	2	500mL/10a	移植後20日~/ビエ5葉期 ただし、収穫45日前まで	湛水散布又は落水散布	1回
	ウィート゛コア1キロ粒剤	2,27,	1kg/10a	移植後7日~/ビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
	ウィードコア200SD粒剤	·	200g/10a	移植後10日〜/ビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機 による散布	2回以内
	ウィート゛コアシ゛ャンホ゛SD	2,27, 4	小包装(パック)10個 (200g)/10a	移植後10日〜/ピエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内
	ク゚ランクロスSシ゚ャンポ			移植後14日(稲4葉期以降)〜/ピエ4葉期 ただし、収穫 60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	グランクロスZ1キロ粒剤		1kg/10a	移植後14日(稲4葉期以降)〜/ビエ4葉期 ただし、収穫 60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ゲパード1キロ粒剤		1kg/10a	移植後14日〜/ビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	10
	ゲパードギア1キロ粒剤		1kg/10a	移植後14日〜ノビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	10
	ケ゛ハ゜ート゛シ゛ャンホ゛	0,14,	小包装 (パック)10 個(400g)/10a	移植後14日〜/ビエ4葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	 シアゲMF1キロ粒剤		1kg/10a	 移植後20日〜ノビエ4.5葉期 但し、収穫60日前まで	 湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
	セカント゛ショットSシ゛ャンホ゛		_		水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	MX	, -	(500g)/10a			

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
移植	ツイケ キ豆つ ぶ250	2,27, 5	250g/10a	移植後14日(稲5葉期以降)〜/ビエ4葉期 但し、収穫60 日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	10
中期	テッケン1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	移植後15日~/ビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
剤	テッケンシ゛ャンホ゛	2,27	小包装 (パック)10 個(500g)/10a	移植後15日〜/ビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ニトウリュウ1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	移植後15日~/ピエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ニトウリュウシ゛ャンホ゛	2,27	小包装 (パック)10 個(500g)/10a	移植後15日〜/ピエ4葉期 但し、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	バイスコープ1キロ粒剤	27,33	1kg/10a	移植後14~60日ただし、収穫45日前まで	湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無 人航空機による散布	1回
	ヒエクッパ゚ エース1キロ粒剤	2	1kg/10a	移植後14日〜ノビエ5葉期但し収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	2,6	3kg/10a	移植後15日〜ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	ごく浅く湛水して散布	1回
			3kg/10a	移植後15日〜ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	ごく浅く湛水して散布	1回
	ブイゴールSM1キロ粒剤	2,4,5	1kg/10a	移植後15日~/ピエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで		1回
	レプラス1キロ粒剤	0,2,2 7,5	1kg/10a	移植後14日〜/ピエ4葉期 但し、収穫60日前まで	 湛水散布又は無人航空機による散布 	1回
	レブラスギア1キロ粒剤	2,27, 33	1kg/10a	移植後14日〜ノビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	レフ゛ラスシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	移植後14日〜/ピエ4葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	10
	ባ イト *	2	100mL/10a	移植後20日(稲5葉期以降)〜/ピエ6葉期 但し、収穫30 日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	ワイドパワー粒剤	2,6	3kg/10a	移植後20日~/ピエ5葉期 但し、収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
移植	カウンシルワンフロアフ゛ル	2	10mL/10a	移植直後〜ノピエ4葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による滴下	2回以内
	クリンチャー1キロ粒剤	1	1kg/10a	移植後7日~/ピエ4葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内
その			1.5kg/10a	移植後25日〜/ピエ5葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内
他	クリンチャーEW	1	100mL/10a	移植後20日~/ピエ4.5葉期 但し、収穫30日前まで	無人航空機による散布	2回以内
			100mL/10a	移植後20日~/ピエ6葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布又は落水散布	2回以内
	クリンチャーシ゛ャンホ゛	1	小包装(パック)30個 (1.5kg)/10a	移植後25日〜/ピエ5葉期 但し、収穫30日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内
			小包装(パック)20個	移植後7日〜ノピエ4葉期 但し、収穫30日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内
	クリンチャーバスME液剤	1,6	1000mL/10a	移植後15日〜ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	トドメMF1キロ粒剤	1	1kg/10a	移植後14日〜ル゛ェ5葉期まで 但し、収穫50日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	3回以内
	トドメMF乳剤	1	200m ใน/10a	移植後14日〜ノビエ7葉期まで 但し、収穫50日前まで	湛水散布又は落水散布	2回以内
	トドメバスMF液剤	1,6	1000mL/10a	移植後15日〜ノビエ6葉期 但し、収穫50日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	/ミニー液剤	2	50~100mL/10a	移植後30日~クサネムの草丈40cmまで 但し、収穫60日 前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
			50~100mL/10a	移植後30日〜イボクサの茎長30cmまで 但し、収穫60 日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
	バサグラン・エアー1キロ粒 剤	6	1kg/10a	移植後15日〜収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
	バサグラン液剤(ナトリウム 塩)	6	500~700mL/10a	移植後15日〜収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	バサグラン粒剤(ナトリウム 塩)	6	3~4kg/10a	移植後15日〜収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
	ヒエクリーン1キロ粒剤	2	1kg/10a	移植後15日~/ビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	ヒエクリーン豆つぶ250	2	250g/10a	移植後15日〜ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人ヘリコプター による散布	1回
	マイティーワンフロアフ゛ル	27	100mL/10a	移植直後~ホタルイ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布又は無人航空機による滴下	2回以内

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
移植	モゲトン粒剤	0	2~3kg/10a	ウキクサ類、藻類の発生始〜発生盛期 但し、収穫45日前	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	3回以内
				まで		
その			1~2kg/10a	藻類・表層はく離の発生時 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	3回以内
他	ロイヤント乳剤	4	200mL/10a	移植後20日〜ル゛ェ5葉期 ただし、収穫45日前まで	落水散布、ごく浅く湛水して散布又は湛	2回以内
					水散布	
			200mL/10a	移植後20日〜ノピエ5葉期 ただし、収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	ワンステージ1キロ粒剤	2	1kg/10a	移植後15日〜ノピエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	粒状水中MCP	4	3.0~3.5kg/10a	有効分けつ終止期〜幼穂形成期前(但し収穫60日前	湛水散布(あらかじめ水田の水の出入り	1回
				まで)	をとめ、湛水のまま10a当り所要量を全	
					面に均一散布する。)	

RPA

(7) 本田除草剤の使用方法(直播)

本剤の 希釈倍数使用量 区分 RAC 使用時期 薬剤名 使用方法 使用回数 直播 プレキープ1キロ粒剤 27 | 1kg/10a 湛水直播の代かき後~は種7日前またはは種直後 |湛水散布又は無人航空機による散布 1回 ~ノビエ1葉期但し収穫90日前まで 初期 1kg/10a は種時 は種同時散布機で施用 1回 剤 プ レキープ フロアブ ル は種時 は種同時散布機で施用 27 300~ 1回 500mL/10a 湛水直播の代かき後~は種7日前またはは種直後 300~ |原液湛水散布又は無人航空機による滴下 1回 500mL/10a 〜ノビエ1葉期但し収穫90日前まで 湛水散布 直播 アカツキ1キロ粒剤 15,2, 1kg/10a 稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで 1回 27 一発 アカツキシ゛ャンホ゛ 15,2, 小包装(パック)10個 稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 1回 処理 (250g)/10a剤 アカツキフロアフ゛ル 1回 15,2, 500mL/10a |稲1葉期〜ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで 原液湛水散布 2,27 1kg/10a アクシス゛MX1キロ粒剤 稲1葉期~ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで 無人ヘリコプターによる散布 1回 稲1葉期~ル エ4葉期 ただし、収穫45日前まで 1kg/10a 湛水散布 1回 稲1葉期~ル エ4葉期 ただし、収穫90日前まで アシュラ1キロ粒剤 14,2, 1kg/10a 湛水散布又は無人航空機による散布 1回 27 稲1葉期~ル 14葉期 ただし、収穫90日前まで 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機によ 14,2, 400g/10a アシュラ400FG 1回 る散布 27 アシュラシ゛ャンホ゛ 14,2, 小包装(パック)10個 稲1葉期~ノビエ4葉期 ただし、収穫90日前まで 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 1回 27 (400g)/10aアシュラフロアフ゛ル 14,2, 500mL/10a 稲1葉期~ノビエ4葉期 但し、収穫90日前まで 原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ 1回 る滴下 2,27 1kg/10a 湛水散布又は無人航空機による散布 アピロファースト1キロ粒剤 湛水直播のは種直後~ノビエ1.5葉期 ただし、収穫 1回 90日前まで 1回 1kg/10a 湛水直播のは種時 は種同時散布機で施用 イネキング 1キロ粒剤 14,27 1kg/10a 稲1葉期~ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで 湛水散布又は無人航空機による散布 1回 1kg/10a 稲1葉期~ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで 湛水散布又は無人航空機による散布 1回 イネリーク゛シ゛ャンホ゛ |15,27||小包装(パック)10個||稲1葉期~ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 1回 (400g)/10aイネリーク゛フロアフ゛ル 15,27 500mL/10a 稲1葉期~ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 1回 稲1葉期~ノビエ3.5葉期ただし、収穫90日前まで 1回 ウルティモZ1キロ粒剤 2,27, 1kg/10a 湛水散布又は無人航空機による散布 33 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 ウルティモZシ゛ャンホ゛ 2,27, 小包装(パック)10個 稲1葉期~/ビエ3.5葉期ただし、収穫90日前まで 1回 (350g)/10aウルティモZフロアフ゛ル 稲1葉期~ノビエ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 2,27, 500mL/10a 1回 33 エンペラー1キロ粒剤 14,2, 1kg/10a 稲出芽揃期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで 湛水散布又は無人航空機による散布 1回 27 エンヘ゜ラーシ゛ャンホ゛ 14,2, 小包装(パック)10個 稲出芽揃期~ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで 1回 |水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。 (250g)/10aエンヘ゜ラーフロアフ゛ル 14,2, 500mL/10a 稲出芽揃期~ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 1回 27 14,2, 250g/10a 稲出芽揃期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで 1回 エンペラー豆つぶ250 湛水散布又は無人航空機による散布 27 30,2, 1kg/10a オサキニ1キロ粒剤 は種時 は種同時散布機で施用 1回 湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人ヘリコ 1回 1kg/10a は種直後~ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで プターによる散布 は種時 は種同時散布機で施用 カイシMF1キロ粒剤 1,27 1kg/10a 1回 1kg/10a 湛水直播のは種直後~ル I2.5葉期 但し、収穫60 湛水散布又は無人航空機による散布 1回 日前まで

分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
播	カウンシルエナシ゛-1キロ粒剤	15,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ3.5葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
発理	カウンシルエナシ゛ーシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜/ピエ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	カウンシルコンフ゜リート1キロ粒		1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
	剤		1kg/10a		基水散布又は無人航空機による散布	10
	カウンシルコンフ゜リートシ゛ャン	2,27		 稲1葉期〜バエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	10
	ホ ゛	_,_ :	(300g)/10a			
	カウンシルコンフ [°] リートフロアフ [°] ル	2,27	500mL/10a	は種直後〜ノビエ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	10
	カラット1キロ粒剤	14,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ภริฺット400FG	14,2, 27	400g/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	カラットシ゛ャンホ゛	14,2, 27	小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ガンガン1キロ粒剤	15,2	1kg/10a	稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	カ゛ンカ゛ンシ゛ャンホ゛	15,2	小包装(パック)10個 (250g)/10a	稲1葉期〜/ピエ2.5葉期 但し、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ガンガン豆つぶ250	15,2	250g/10a	稲1葉期~ノビエ2.5葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	キラリ1キロ粒剤	14,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	+ิรป400FG		400g/10a	稲1葉期〜/ビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	キラリフロアフ゛ル	14,2, 27	500mL/10a	稲1葉期〜/ビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	1回
	ケ゛ハ゜ート゛シ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノピエ4葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ゴエモン1キロ粒剤	30,15	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	コ゛エモンシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (300g)/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	コ゛エモンフロアフ゛ル	30,15	500mL/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布	1回
	コメット1キロ粒剤	14,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	コメット顆粒	14,2,	80g/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
		27	80g/10a	稲1葉期~ノビエ2.5葉期ただし、収穫60日前まで	顆粒水口施用	1回
	サラブ・レット・GO1キロ粒 剤	30,14	1kg/10a	稲1葉期〜/ピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ี่ ว ีว ั	30,14	400g/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	サラフ゛レット゛GOジャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	サラブレッドGOフロアブル	30,14	500mL/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	1回
	サラブレッドRXフロアブル	30,2, 30,4	500mL/10a	稲1.0葉期〜ノピエ2.5葉期 但し収穫90日前まで	原液湛水散布	10
	ジェイソウル1キロ粒剤	15,27 ,33	1kg/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	シ゛ェイソウルシ゛ャンホ゛	·	小包装(パック)10個 (450g)/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	10
	シ゛ェイソウルフロアフ゛ル		500mL/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
直播	ジェイフレンド1キロ粒剤	30,14, 27,30	1kg/10a	稲1葉期〜/ピエ2.5葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
一発 処理	ジュイフレンド400FG		400g/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	シ゛ェイフレント゛シ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	シ゛ェイフレント゛フロアフ゛ル		500mL/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布	10
	シ゛カマック500グ ラム粒剤		500g/10a	は種直後〜ノビエ1.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
			500g/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
	シグナス1キロ粒剤	15,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜/ピエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	シク゛ナスシ゛ャンホ゛	, ,	小包装(パック)10個 (300g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	シク゛ナスフロアフ゛ル			稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
	ジャスタ1キロ粒剤		1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
	シュナイデン1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	稲1葉期~ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	シュナイテ゛ンシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜/ピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	シュナイテ゜ンフロアフ゛ル	2,27	500mL/10a	稲1葉期〜/ピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	1回
	シンズイZ1キロ粒剤	2,27, 30	1kg/10a	稲1葉期〜ノピエ3.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	シンズ゛イΖフロアブ゛ル	2,27, 30	500mL/10a	稲1葉期〜/ピエ3.5葉期 但し、収穫90日前まで	原液湛水散布	1回
	シンズイZ豆つぶ250	2,27,	250g/10a	稲1葉期〜/ピエ3.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ストレング ス1キロ粒剤		1kg/10a	1 稲1葉期〜ル゙エ4葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
	セ゛ータシ゛ャカ゛ー1キロ粒剤		1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ4葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布	1回
	セ゛ータシ゛ャカ゛ーシ゛ャンホ゛	14,2,	小包装(パック)10個 (200g)/10a	稲1葉期〜ノビエ4葉期ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	セ゛ータシ゛ャカ゛ーフロアフ゛ル			稲1葉期〜ノピエ4葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布	1回
	セ゛ータタイカ゛ー1キロ粒剤	30,14	1kg/10a	稲1葉期〜/ピエ3葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ቲ [*] –タタイカ [*] –300FG	30,14	300g/10a	稲1葉期〜/ピエ3葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	セ゛ータタイカ゛ーシ゛ャンホ゛	-	小包装(パック)10個 (300g)/10a	稲1葉期〜/ピエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	セ゛ータタイカ゛ーフロアフ゛ル			稲1葉期〜/ピエ3葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
	セ゛ータフ゜ラス1キロ粒剤		1kg/10a	稲1葉期~ビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	セ゛−タプ ラス200FG	2,27	200g/10a	稲1葉期〜ノピエ4葉期 ただし、収穫75日前まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人 航空機による散布	1回
	セ゛ータフ゜ラスシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (200g)/10a	稲1葉期〜ノピエ4葉期 ただし、収穫75日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	セ゛ータフ゜ラスフロアフ゛ル	2,27	500mL/10a	稲1葉期〜ノピエ4葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	1回
	ダブルスターSB顆粒	15,2,	80g/10a	稲1葉期〜ハビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	顆粒水口施用	1回
		27	80g/10a			1回

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
直播	ダンクショットジャンボSD		小包装(パック)10個 (200g)/10a	稲1葉期〜ノピエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
一発 処理	<i>ダ</i> ンクショットフロアフ゛ル	15,27 ,4	500mL/10a	湛水直播の稲1葉期〜ノピエ3葉期 ただし、収穫90日 前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
削	ツルギ 250粒剤	15,2, 27	250g/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	ツルキ゛シ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (250g)/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期但し、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ディオーレ1キロ粒剤	2,27, 30	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	゙ _て ゛ィオーレシ゛ャンホ゛	, ,	小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ディオーレフロアブル	2,27, 30	500mL/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
	ディオーレ顆粒	2,27,	80g/10a	稲1葉期~/ピエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
		30	80g/10a	稲1葉期~ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	顆粒水口施用	1回
	ドニチS1キロ粒剤	30,15	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	ドリフ1キロ粒剤	15,2, 4	1kg/10a	稲1葉期〜ノピエ3葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ノックアウト楽粒	15,2, 27,5	250g/10a	稲1葉期〜ノピエ3.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	バッチリ1キロ粒剤	-	1kg/10a	稲出芽始期〜/ピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	กั	30,14	400g/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	バッチリLX1キロ粒剤	30,14	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	10
	กั	30,14	400g/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人 航空機による散布	1回
	バッチリLXジャンボ		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノピエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ハ゛ッチリシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	バッチリフロアフ ゙ル	30,14	500mL/10a	稲出芽始期〜ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は水口施用	1回
	バットウZ1キロ粒剤	14,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ハ゛ットウ <i>Zシ゛</i> ャンホ゛		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	バットウZフロアブル	14,2, 27	500mL/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	1回
	ビクトリーZ400FG	14,2	400g/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
	ヒ゛クトリーΖシ゛ャンホ゛	14,2	小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノピエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内
	ビクトリーZフロアブル	14,2	500mL/10a	稲1葉期~ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	原液湛水散布又は無人ヘリコプターによる滴下	1回
	フルチャーシ゛シ゛ャンホ゛	14,2	小包装(パック)10個 (500g)/10a	稲1葉期〜/ピエ4葉期 但し収穫45日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	フルハ [°] ワーMXシ [°] ャンホ [°]			稲1葉期~/ピエ3.5葉期但し収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ベッカク1キロ粒剤		1kg/10a	稲1葉期~/ピエ3葉期 但し、収穫75日前まで	湛水散布	1回
	へ゛ッカクシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (250g)/10a	稲1葉期〜/ピエ3葉期 但し、収穫75日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回

分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
番	ベルーガ1キロ粒剤	2,27	0.5~1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
			1kg/10a	は種直後~ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで	湛水散布	1回
発			0.5~1kg/10a	は種直後	ごく浅く湛水して散布	1回
理	ヘ゛ルーカ゛シ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (250g)/10a	稲出芽揃期〜/ピエ3葉期 但し、収穫75日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
•	ベルーガ豆つぶ250	2,27		稲出芽揃期〜/ピエ3葉期 但し、収穫75日前まで	湛水散布、水口施用又は無人航空機による散 布	1回
	ホ゛デ ーガ ード プ ロ1キロ	2,27	1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
	粒剤		1kg/10a	は種直後〜ル゙エ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
•	ボ デ −ガ −ド プ ロジ ャン ホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (300g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ボ デ −ガ −ド プ ロフロア ブル	2,27	500mL/10a	は種直後〜ノビエ3.5葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	1回
•	ホ [゛] ランティアシ゛ャンホ゛	15,2, 27	小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ル゙エ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
•	マスラオ1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	は種直後〜ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人航 空機による散布	1回
			1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
•	マスラオシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (200g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	マスラオフロアフ゛ル	2,27	500mL/10a	稲1葉期~ノピエ3葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
	メガ ゼータ1キロ粒剤	14,2	1kg/10a	稲1葉期~ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内
•	Уガ ゼ -タ400FG	14,2	400g/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	1回
i	メカ゛セ゛ータシ゛ャンホ゛	14,2	小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内
	メカ゛セ゛ータフロアフ゛ル	14,2	500mL/10a	稲1葉期~ノビエ3葉期 ただし、収穫60日前まで	原液湛水散布又は無人ヘリコプターによる滴下	1回
•	ライシ゛ンハ゜ワーシ゛ャンホ゛		小包装(パック)10個 (500g)/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
•	ラオウ1キロ粒剤	0,15, 2,27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで	湛水散布	1回
•	レオセ゛ータ1キロ粒剤	2,27, 30	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ4葉期 ただし、収穫90日前まで	湛水散布	1回
•	レオセ゛ータフロアフ゛ル	2,27, 30	500mL/10a	稲1葉期〜ノビエ4葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布	1回
•	レフ゛ラスジャンボ		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ4葉期ただし、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
,	天空ジャンボ	, ,	小包装(パック)10個 (300g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
•	天空フロアブル	15,2, 27	500mL/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回
•	忍1扣粒剤	14,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
,	忍ジャンボ		小包装(パック)10個 (200g)/10a	稲1葉期〜ル゙エ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	忍フロアブル			稲1葉期〜ノビエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機によ る滴下	1回
	流星1和粒剤	14,2, 27	1kg/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	流星ジャンボ		小包装(パック)10個 (400g)/10a	稲1葉期〜ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	流星フロアブル	14,2, 27	500mL/10a	稲1葉期〜ノピエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	1回

区分	薬剤名	RAC	希釈倍数使用量		使用方法	本剤の
直播	アトカラSシ゛ャンホ゛MX	2,27	小包装(パック)20個	 稲4葉期〜ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	使用回数 1回
			(500g)/10a			
稲 2	アレイルSC	2	500mL/10a	稲3葉期〜ノピエ5葉期 ただし、収穫45日前まで	湛水散布又は落水散布	1回
葉期 以降	ウィート゛コア1キロ粒剤	2,27, 4	1kg/10a	稲3葉期〜ノピエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
処理 剤	ケ゛ハ゜ート゛1キロ粒剤	0,14, 2,27	1kg/10a	稲2葉期〜ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	シアゲMF1キロ粒剤	1,2,4	1kg/10a	稲3.5葉期〜ノピエ4.5葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
	セカント゛ショットSシ゛ャンホ゛ MX	2,27	小包装(パック)20個 (500g)/10a	稲4葉期〜ノビエ4葉期 ただし、収穫45日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ツイケ゛ キ1キロ粒剤	2,27, 5	1kg/10a	稲5葉期〜/ビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ッイケ キ豆つ ぶ250	2,27, 5	250g/10a	稲5葉期〜ノピエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	テッケン1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	稲4葉期~/ビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	テッケンシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (500g)/10a	稲4葉期〜ノビエ4葉期但し、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	トドメMF1キロ粒剤	1	1kg/10a	稲3.5葉期〜ノビエ4葉期まで 但し、収穫50日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	3回以内
	l-l-゙メMF乳剤	1	200m ¦x̃/10a	は種後10日〜/ビエ6葉期まで 但し、収穫50日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
	トト・メハ・スMF液剤	1,6	1000mL/10a	は種後10日~ノビエ6葉期 但し、収穫50日前まで	乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
	ニトウリュウ1キロ粒剤	2,27	1kg/10a	稲4葉期〜ル゛14葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ニトウリュウシ゛ャンホ゛	2,27	小包装(パック)10個 (500g)/10a	稲4葉期〜/ピエ4葉期但し、収穫60日前まで	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1回
	ノブレクト乳剤	1,4	250mL/10a	稲3葉期~ノビエ5葉期 ただし、収穫45日前まで	乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
	バイスコープ1キロ粒剤	27,33	1kg/10a	稲3葉期〜出芽後50日ただし、収穫45日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	2,6	3kg/10a	イネ3葉期~ノビエ4葉期但し、収穫60日前まで	ごく浅く湛水して散布	1回
	レプ ラス1キロ粒剤	0,2,2 7,5	1kg/10a	稲2葉期〜ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航空機による散布	1回
	ロイヤント乳剤	4	200mL/10a	稲3葉期〜ノビエ5葉期 ただし、収穫45日前まで	乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
	ワイト゛アタックSC	2	100mL/10a	稲3葉期~ノピエ5葉期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
			100mL/10a	稲3葉期~/ビエ5葉期 但し、収穫30日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	ワイドパワー粒剤	2,6	3kg/10a	稲4葉期~/ビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
	銀河1和粒剤	0,14,	1kg/10a	稲2葉期〜ル゛ェ3葉期ただし、収穫60日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
直播	クリンチャー1キロ粒剤	1	1kg/10a	は種後10日~/ビエ3葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内
			1.5kg/10a	は種後25日~/ビエ4葉期 但し、収穫30日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	2回以内
	クリンチャーEW	1	100mL/10a	は種後10日~/ビエ5葉期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
他			100mL/10a	は種後10日~/ビエ4.5葉期 但し、収穫30日前まで	無人航空機による散布	2回以内
	クリンチャーハ、スME液剤	1,6	1000mL/10a	は種後10日〜ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布	2回以内
	バサグラン液剤(ナトリウム 塩)	6	500~ 700mL/10a	は種後35日~収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	2回以内
	バサグラン粒剤(ナトリウム 塩)	6	3kg/10a	稲3葉期~収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
	ヒエクリーン1キロ粒剤	2	1kg/10a	稲3葉期~ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
			1kg/10a	は種直後~稲出芽前	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回
			0.5~1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
	ヒエクリーン豆つぶ250	2	250g/10a	稲3葉期〜ノビエ3葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
	ŧゲトン粒剤	0	1.5~2kg/10a	稲1葉期以降、アオミドロ、表層はく離発生時 但し、収 穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	3回以内
	ワンステーシ゛1キロ粒剤	2	1kg/10a	稲3葉期~ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	1回
			0.5~1kg/10a	は種時	は種同時散布機で施用	1回
			1kg/10a	は種直後~稲出芽前	落水散布又はごく浅く湛水して散布	1回

(8) 本田除草剤の成分および使用回数

(8)本田院	ミ草剤の かんこう	成り	<u>おた</u>	<u> よひ</u>	使月	申厄]数																										* 33	3作用:ホ			ラネシルトラ	ランスフェラ	ーゼ阻害
		RAC	1	de						2	4						25.1	4 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	LW Yor Life	5	6		14	-			5 77.00					27			33	 		0 - HH	
		作用	ACCase阻	.告						ALS	沮吾	Т				Т	イント	・一ル酢酸	禄沽性	光合原	吾	PP	0阻害	+	-	VLCFA	S阻害	<u> </u>	1			白化			*			明	
			アリールオキシ									ピリミ	ジニル	レベース	ベルホン	トリアソ゛ロ	フェ	ノキシカ	レボン	トリア	ベン ジ ザチア	N-71	N-フェ ニルトリ その	アゾリ ルカル) α -クロロアセ	αーオ トキリアセーベン	アゾリ		オキ				ŀ	ピラゾー	上 [°] リ タ゛シ゛				
		ルー フ°	ロヒ [®] オン酸コ テル	エス			スルホ	ニルウ	フレア				エート		ニリド			酸	,	ン	ジアシリン		アゾリ 他	ボキシ アミト	アミト	hrs z	カルボ シアミ	7 1111	シシラン		トリケ	トン		ル	ンジェオ			_	
			シメ	マア	べ	シ	エフ	7 /	1	メ	プピ	ビ	۲°	E° t	-° }	~	ク	ンフ M	M	ジミ	/ ~	~	カピ	力	ブープ	ティ	· フ	イ フ	1	フ	メーテ	ベ	ラ 1	ピピ	゜シ	A 2	オーク	ダニ	ブーピ
			ハ	ジ	ン	ク	トル		Y	タ	ローラゾ	F.	У	ıı j	J J	1	п	ロル		メ		ン	ルフラ	フ	タレ	= 3		プェ	ン	工	y フ		ンコ	ララ	ク		+		u J
			П	4	スル	ロス	キーセ	マ スル	\ 'j'	ゾ	ピース	リバ	E	3	ミア	丰		ピ ラ C	С	タフ	レン	ŀ	エ	エ	J =	ル		フェーノェー	ダ	ン	IJ	ゾ	<u>١</u>	ゾ	, П		サミ	1	ブ
		成	ホッミ	. z		ル	シート	. 7		ス	リルコ	ッ	バ	フラ	Z			フ ゜			-	.3-	トク		クラ		<u>۲</u>	ント		キ	トル	ビ	リンオ ン	ゾーキ			ジ		モ
		分	プオ	、ル	口	フ	スルルル		/ -	ル	スプロル		ツ	タノ	レ	ス	プ	ンキ		X 1	タ	+	ラゾロ	X	ロク	クール		カース) 	ŋ ŀ	v 1	温ン	レシ			クレロ		ブ チ
			ブ	フ	ン	T	7 7		´ フ	フ	フレン	l l	ク		ファ	ス	口	シ フ ア	P	F 1	ı y	サ	ν		П	ㅁ ㅓ	ザ	ルーハル		ı, ıj	IJ	ク	ト	フ			メーロ		カ
			チージ		メチ				. 12	口	エローチ	1/	チー	IJ,	アーモ	ラ	ツ	エン		IJ		ゾ	エチ	1		1	3	ゾーホ	ア	オ	オーオ	口口	リ ウ	エ			ホー		チール
	1)V/ (ルフ	^γ ν	ル	ン	ンン	ノル	<u>ン</u>	ン	ンル	塩	ル	ドン	/ / /	A	プ	ルベ A	В	ン ン	ノン	ン	ルル	- / -	ルル	ル	トド	ンン	ン	ン	ンン	ン	4	トン	1	N	ンン	ン	ドブ
成分ごとの使用回		1 9	3 3	3 1	2	2	2 2	2 2	2	2	2 1	1	2	2 2	2 2	2	2	3 1	2	2 2	2 2	2	2 2	1	2 2	2 2	2 1	2 2	2	2	2 2	3	1	2 2	4	9.00	2 2	2	2 2
イネゼットEW	7月1	2																				4.00			7.50 12.00											9.00			
かねつぐ1キロ粒剤		2				0.40																1.00			4.00														
兆フロアブル		1																					3.60	0															
移 ピラクロンフロアブル	/	2																					3.30		8.00														12.00
ンング 乳剤 ソルネット1キロ粒剤		1																							4.00														12.00
がががった。ベクサーフロアブル		1																				2.90																	
剤マーシェットジャンボ		1																				_			20.00	0.00													
//・マットタブジャンボ メテオ1キロ粒剤		1																				2.50				3.00											18.00		
メテオフロアブル		1																				5.00																	
メテオジャンボ		1																				8.30																	
アカツキ1キロ粒剤		3								1.00		-																2.00 8.00		3.00		-						\perp	
アカツキジャンボアカツキフロアブル		3								1.90																		3.80		12.00 5.70					+				
アクシズMX1キロ粒	剤	3								0.80			2.	.40														0.00			0.90								
アクシズMXジャンボ		3								2.70				.00																	3.00								
アクシズMXエアー料	立剤	3								2.70			8.	00.	0.50								2.00	0							3.00	2.00							
アシュラ1キロ粒剤 アシュラフロアブル		3													0.50								2.00 3.80									3.80			+				
アシュラジャンボ		3													1.25								5.00									5.00							
アシュラ400FG		3													1.25								5.00	0								5.00							
アネシス1キロ粒剤 アピログロウMX1キ	ロボナネII	3									0.30		1	.50											10.00						0.90	2.00						\perp	
イネキング1キロ粒剤		3									0.30		1.	.50									2.00	0	4.50)					0.90	2.00	10	0.00					
イネヒーロー1キロ粒		3								1.00												3.00	2.00									2.00						10.00	
イネヒーロージャンオ		3								2.50												7.50																25.00	
イネヒーローエアー* オネリーグ1キロ粒剤		3								2.50							4.50					7.50					3.00				3.00							25.00	
核 イネリーグフロアブル	<u> </u>	3															8.50										5.70				5.70								
植 イネリーグフロアブハ イネリーグジャンボ		3															11.20										7.50				7.50								
ー ウィニングラン1キロラ 発 ウルティモZ1キロ粒		3			0.75						0.90																2	.50					C	.00	3.00			9.	.00
処 ウルティモZフロアブ	月リ ブル	3									1.65																							1.00	5.50				
理 ウルティモZジャンボ	S .	3									2.57																							7.10	8.60				
剤 エンペラー1キロ粒剤	削	3											0.75										2.00	_						3.00									
エンペラー豆つぶ2 エンペラーフロアブ		3											3.00										8.00 3.70							12.00 5.60									
エンペラージャンボ		3											3.00										8.00							12.00									
カウンシルエナジー		3													0.50												3.00			3.00									
カウンシルエナジー カウンシルエナジー		3													1.20												7.50 5.70			7.50 5.70									
カウンシルエナシー		3													0.95												5.70			5.70									
ボデーガードプロ1	キロ粒剤	2													0.50																3.00								
カウンシルコンプリー		2													1.60																10.00								
ボデーガードプロジカウンシルコンプリー																																							
ボデーガードプロフ		2													0.97																5.80								
カチドキZ楽粒		2									3.60				50		1	2.00										0.00											
ガンガン1キロ粒剤 ガンガンジャンボ		2												0	50													2.00 8.00											
ガンガン豆つぶ250)	2												2.0	00													8.00											
		-		-																				_															

		I DACI	1	1						0								4			I c		1.4				1.5					97			00	1		0	
		RAC 作用	I ACCase阻急	Ę .						2 ALS阻:	害					\dashv	インド	<u>4</u> ール酢酸	様活性	5 光合原	<u>6</u> 如果	+	14 0阻害				VLCFAs			+		27 白化			33 *			_0 不明	
				+						ILC IL	<u>н</u>					l II 7		н	134111111111111111111111111111111111111	76 17			VI_7-	マリ゛	. 11							ПП	<u> </u>		ا ۴۰ اا				
			アリールオキシフ [°] ロヒ [°] オン酸エス	χ			スルフ	ホニルウ	フレア				ミジニル				フェノ	'キシカ <i>!</i>	レボン	トリア		一元/3 ~	ニルトリーそ	そのが	ル α - /1	ロロアセト キ)	ソアセーベン	アゾリカルボ	土 イソキサ	オキシラ		トリケトン		ピラゾー				_	
		プ゜	テル										バエート	73	ニリド	シ"ン		酸		ン	シェア シェノン	l*)	アソ゛リ ノン	他 ボキ アミト	Fシ アミ	(1) 	フラ	シアミ	ドーゾリン	ン				ル	ンシ゛オ				
		\vdash	シメ	ア	ベ	シ	エ	フーハ	1	メニ	プピ	ピ	ピ	° Ľ	1	~	クン	ノフ M	M	ジミ	/ ベ	~°	力	ピカ	ブ	プ	テベ	ファ	イ フ	イラ	フ メ	テーベ	ラ	ピピ	シ	A	オーク	ダ	ブピ
			ハタ	ジ	ン	ク	' '	ルロ	7	タ	ローラゾ	スピ	IJ I	IJ	IJ	1	D D	ロル		y		ン	ルフ	フ	, タ	レ	= ン			ン	r	, フレン	ンコ	5	ラ ク		+		п J
				4	スル	ロス		セースル	ゾ		ピース	リバ	3 2	3	ア	丰	*	۲°	С	タフ	× ン	l l	エン			チ	ルーフ	ンピ	7 /	ダーン		リゾ	<u>۱</u>) >	j II		サミ	. 1	」」ブ
		成	ホーミ	ス		ル	シス	トスフ		ス	リールフ	ツカ	バ	, ス		ス	プミ	ラ C ッウ		الحا	, g	.34	1	クレス		ラ	クレ	١ ١	キササ	3 3	F 1	ルビ	カオ	ゾ	F E		ジクル	4	モーチ
		分	プポ	ル		ファ		, D	1 / 1 /	ル	ルロ	ナ	ッ	ルル				キ シ P			` '	,	ラゾ	П /	口口	ク		ラーフ	カース		IJ	トシ	塩ンナ	レジ	/ +				ブ
			ブーッ	フ	ンメ	4		レフレメ		フ	フレー	トリリ	<i>2</i>	フ	ア	ス	П	フ	P		J ゾ	サ	ンエ	_ □	1	П	ローセ	サ	レール	フリリ	, ,	リク	, ,	, 7	フレ		メロ	. 0	力工
			チ	口	チ	п	п	ローチ	. 12	口	工工	ウム	チ	ア	モ	ラ	ツ	エン		IJ		ゾ	チ	=	'	1		3	<i>ブ</i> ホ	アーオ	r 2	才口	リーウー]]	r]		ホ		チール
	ハットの住田回粉 (回り内)	Щ	ルプ	ン	ル	ン	ン	ンル	ン	ン	ンル	塩	ル I	ン	ン	<u>ا</u>	プル	レベ A	В	ンコ	/ ン	ン	ル	ルル	ルル	ル	ルト	ド :	ンン	ンン	/ ン	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>ا</u>	ト ン 2 2	/	N	$\frac{\mathcal{V}}{2}$	ン	ドブ
	分ごとの使用回数 (回以内) J1キロ粒剤		3 3	1	2	2	2	2 2		2	2 1	1	4 4	2	2	2	2	3 1	2	2 2	2 2	2		2 1	2	2	2 2	1	2 2	2 2	2 2		1	2 2	2 2	3	2 2	2	2 2
カラ	ット1キロ粒剤	3							0.90														2	.00								2.00							
	Jフロアブル ットフロアブル	3							1.70														3	.80								3.80							
	リジャンボ								0.65															0.0								5.00							
カラ	ット400FG	3							2.25														5	.00								5.00							
	J400FG v\400FG	3							2.25														5	.00								5.00							
	25400FG 1キロ粒剤	3							1	.00													2	.00														10.00	
銀河	ジャンボ	3								.50														.00														25.00	
	ールEW モン1キロ粒剤	2 3							0.90											0.50					20.00			2.	50										9.00
	モンジャンボ	3							3.00																				33										30.00
	モンフロアブル	3							1.70																			4.	60										16.70
	小1キロ粒剤 小ジャンボ	3								.60						\dashv								.00								6.70							
コメッ	小顆粒	3								.50														5.00								25.00							
サキ	ガケ楽粒	3				0.05											2	.00					_	10.5				10	.00			12.00						22.52	
	ケ粒剤200 ブレッドKAI1キロ粒剤	3				2.25			0.90							-							2	10.5	50							10.00					0.40	22.50	
サラ	ブレッドGO1キロ粒剤	4							0.90														1	.00													0.60		9.00
	ブレッドGOフロアブル ブレッドGOジャンボ	4							1.70 2.25															.90													1.10 1.50		16.70 22.50
	ブレッドGOシャンホ ブレッドGO400FG	4							2.25							_								.50													1.50		22.50
移サラ	ブレッドRXフロアブル	4							1.70							(6.60																				1.20	9.50	
	イソウル1キロ粒剤 イソウルジャンボ	3		-						-						-						\vdash	_					3.00 6.70			_		_	3.30	3.00 6.70				
	イソウルフロアブル	3 3 3																										4.50						1.00	5.50				
	イフレンド1キロ粒剤	3																						.00								3.00					0.30		
	イフレンドジャンボ イフレンドフロアブル	3														-								.80								7.50 5.70					0.75 0.57		
がエ	イフレンド400FG	3																					_	.00								7.50					0.75		
	ナス1キロ粒剤 ナスジャンボ	3								.60						_												3.00				2.00 6.70							
)	3								.20																		6.00				4.00							
	スタ1キロ粒剤	3													0.50																		6	5.00	3.00				
	ウェポン1キロ粒剤 キロ粒剤	3							0.90														2	.00								2.00							
忍フ	ロアブル	3							1.80														3	.90								3.90							
	ャンボ ンダルムMX1キロ粒剤	3							4.50				1 (0.50									10	0.00							0.9	10.00							
	ンダルムMXIキロ松剤 ンダルムMX豆つぶ250	3												0.50																	3.0								
シュ	ナイデン1キロ粒剤	3								.60																						2.00		0.00					
	ナイデンジャンボ ナイデンフロアブル	3								.50																						5.00 3.60		5.00 8.20					
シン	ゲキ1キロ粒剤	2								.10																		3.00		3.0	00	3.00	10	5.20					
シン	ゲキジャンボ	2 2																										12.00 5.60		12.									
	ゲキフロアブル ズイZ1キロ粒剤	4								0	.90																	5.60		5.6 3.0							0.80		9.00
シン	ズイZフロアブル	4								1.	.60																			5.4	10						1.10		16.10
	ズイZ豆つぶ250 /ングス1キロ粒剤	3								3.	.60				0.50		0	15												12.	00	3.00					2.40		36.00
	アンクス1キロ松剤 テン1キロ粒剤	4			0.75										0.50		0	.45		0.60										3.0	00	3.00					0.80		
ゼー	タジャガー1キロ粒剤	3									.90											2.00								3.0	00								
ゼー	タジャガージャンボ タジャガーフロアブル	3								4.	.70											10.00 3.80								15.7 5.7	70								
Ľ-	JUTA JULIJIV	J								1.	10											5.60								0.7	U								

		1																																								
	RAC	1 ACCase阻	生							<u>2</u> 阻害							ンノドー	4 -ル酢酸	送迁州	5 业A	 	6 * r	14 PO阻得	ŧ			VI	15 CFAs阻	生						,		3	3		0 不明	3	
	1F/H	ACCASEPE	一						ALS	四古				I	Τ,	7	7 F-	プレ日ト的	你们生	儿百	1 灰阳-	i i	T UPH. 7	<u> </u>			VLC	JEASPE	.古		$\overline{}$			11 1	<u></u>					71.0	J	
		アリールオキシンロヒ [®] オン酸シ				スル	ホニル	ウレア	•		۲°)	リミジニ ノゾエー	・ト	スル アニ!	ホン リド ピシ		フェノ	キシカ/ 酸	レボン	トリアン	アジリシ	ハフェ ドチア ドア ドノン	N-フェ ニルトリ アソ゛リ ノン	その ル ボア	ソーリ レカル c ニキシ ミト゛	α -クロロアセ アミト゛	α -オ ト キソアセ トアミ	- ラニン	アゾリル カルボキ シアミト	11775	オキ シラ ン		トリケ	トン		ピラゾル		リ シ゛ ゛オ ノ		-		
成分ごとの使用回数(回以内) ゼータタイガー1キロ粒剤 ゼータタイガージャンボ ゼータタイガー300FG ゼータタイガーフロアブル ゼータハンマー1キロ粒剤 ゼータプラス1キロ粒剤 ゼータプラスジャンボ ゼータプラスジャンボ ゼータプラス200FG 先陣ジャンボ 先陣200FG タブルスターSB顆粒 ダンクショットジャンボSD ツルギ250粒剤 ツルギジャンボ ディオーレ1キロ粒剤 ディオーレフロアブル ディオーレフロアブル ディオーレジャンボ	成分 成分 3 3 3 3 3 3 3 3	ロピーナン かい アン		スルフロンメ	ロスルファムロン2	エトキシスルフロン	フルセトスルフ	3.6 3.6	イ メ タ グ ゾ ス ス ス ル ル フ フ ロ ロ ン ン 2 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	リ ル コ フ フ コ ロ ラ フ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	ご デスピリバックナトリウム塩 1	ノゾエー ピリミノバッ	-トピリフタリド	アニ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	リド リアファモン	パンペノキススラム コンペノキススラム	ク ン ュ メ プ ジ コ ツ ル	酸 フロルピラウキシフェンベ 3 1	M C P B 2	ン ジ メ タ メ ト リ ン	シ シ メ ト リ ン			7: ピ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	**** カフェンストロール	α-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η-η	デールクロール	フラン ベ ン フ レ セ l ト 2	カルボキトフェイプフェンカルバゾン1 2 25.00 10.00 10.00 6.00 10.00 6.00		シラ イ ン ダ ノ フ ア ン 2 3 5 1 1	ンキノトリオン	トリケ メ テフリル リ オ オ ン 2 2 2.00 4.00 5.00 25.0	ベン	ランコトリオンナトリウム 1	ピラゾレート		* A	イ キサジクロメホン 2 0.40 0.80 1.00 5.00		9.00	ブ チ カ ル ブ 2
移 ドニチS1キロ粒剤 ドリフ1キロ粒剤 ノックアウト楽粒 一 バッチリコロアブル バッチリフロアブル バッチリジャンボ バッチリLX1キロ粒剤 バッチリLXジャンボ バッチリLXジャンボ バッチリLX400FG バットウZ1キロ粒剤 フルイニングスカイ500グラム粒剤 フルスコアZ1キロ粒剤 フルスコアZジャンボ	3 4 4 3 3 3 3 4 4 4 4 2 2					0.17	0.44	2.2 2.2 0.9	90 70 25 25 90 25	0.90 1.70 0.90 3.00					0.40	4.	50			6	6.00		1.80	2.00 3.70 5.00 5.00 2.00 5.00 5.00 2.00 3.80 4.	.20				3.00				10.0	2.00 3.80 4.00					0.40 0.75 0.75		9.00 16.30 22.50 9.00 22.50 22.50	
フルチャージジャンボ フルパワーMXジャンボ ベッカク1キロ粒剤 ベッカクジャンボ ベルーガ1キロ粒剤 ベルーガジャンボ ベルーガ豆つぶ250 ホットコンビ200粒剤 ホットコンビジャンボ ボランティアジャンボ マスラオ1キロ粒剤 マスラオジャンボ マスラオフロアブル メガゼータフロアブル ビクトリーZ 1キロ粒剤	2 3 3 3 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 2 2 2 2 2					_	0.44	2.2 0.9 4.5 1.7	90 50	0.90		0.90 3.60 3.60 0.60 3.00 1.20		0.50									1.80	4.00 7. 2.00 3.90	.50		10.00			2.00	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	13.00 12.00 3.00 12.00 12.00 12.00 15.00	1.80	10.00								

		RAC	1	Т							2							Π	Δ		Т	5	1	; T	14		T			11	5			Т			27			ર	33		0	
		作用	ACCase阻	害							阻害							イン	ドール	酢酸様活	舌性	光合用	成阻害	:	PPO阻:				,	VLCFA:		Ē		\dashv			白化				*		不明	
			アリールオキシンロヒ [®] オン酸コテル				スル	ホニル	ウレア			1		ジニルエート		ベルホン アニリト			- ノキシ 酸		シ	トリアン	ジッジッジジ	7 =11/1	N-フェ ニルトリ アソ゛リ ノン	他	ホ゛キシ アミト゛		ロアセトキソ	ーオ アセ ベン フラ	② カ	アゾリル カルボキ ンアミド	1777	オキシラン		トリケ	トン		ピラゾル		。 り シ ヾ オ ン		-	
		成分	シハロホップブチルメタミ ホッフ	, 7	スルフロンメ	シクロスルファムロン	シスルフ	セトスルフ	ハロスルフロンメチルイ マ ゾ ス ル フ ロ ン	ゾスルフ	プロピリスルフロン	ピラゾスルフロンエチル	スピリバックナトリウム	・ノバッ	リファク	ピリミスレファントリアファモン	キスス	ロメプロッ	フロルピラウキシフェンベ	C P	C :	タメトリ	シンメントタンンン	トササ	ルフェント	ピラクロニル	カフェンストロール	ブ タ ク ロ ー ル	チラク	テニレクロート		トレカル	ノキサス・	インダノファン	ı IJ	メ ソ ト リ オ ン	ゾビシク	塩塩	ラゾレー	ノゾキシフ	ク コ ピ リ C	ロメホン	ロロロン	サカルブチドブ
	成分ごとの使用回数 (回以内) メガゼータジャンボ		3 3	1	2	2	2	2 2	2 2	2	2	1	1	2	2 2	2 2	2	2	3	1	2	2	2 2	2	2			2	2	2 2	2 1	1 2	2	2	2	2 2	3	1	2	2 2	2 3	2	2 2	2 2 2
	ビクトリーZジャンボ	2									2.25				_			L								5.00					\perp			_								Ш		
植	メガゼータ400FG ビクトリーZ400FG	2									2.25															5.00																		
	ライジンパワージャンボ ラオウ1キロ粒剤	3			0.75							\dashv			+								+			3.00	Н			+			1.50	2.40	2.50		6.00					\Box	6.0	00
発	流星1キロ粒剤	3								1.00					1									2.5										;	3.00							\blacksquare		
理	流星ジャンボ 流星フロアブル	3								2.50														6.2 5.0	_										7.50 6.00									
剤	レオゼータ1キロ粒剤 レオゼータフロアブル	3									0.90																								3.00 5.60									9.00 16.70
	ワザアリ楽粒	2									1.70																					10.00	0	,	3.00	12.0	00							16.70
	アトトリ1キロ粒剤 アトトリ豆つぶ250	1													0.°	75																_	+									\Box		
	アレイルSC	2						1.8	.80	2.40					5.	00																												
	ウィードコア1キロ粒剤 ウィードコアジャンボSD	3										-					0.50 2.50	_	2.00														+				2.00	_				\blacksquare		+
	ウィードコア200SD粒剤	3															2.50	_	2.00																		10.00							
	グランクロスZ1キロ粒剤 グランクロスSジャンボ	4									0.90						1.00			_			.50						_		-	_	+	_		3.0	_			1.5 3.0	50	\Box		
	ゲパード1キロ粒剤	4								1.20							1.00					0.	.00			2.00	_									4.0	2.00			5.0	70		10	.00
	ゲパードジャンボ ゲパードギア1キロ粒剤	3								3.00		-			_				Н							5.00		Н			_		+		2.50		5.00			1.5	50	\blacksquare	25.	00
	シアゲMF1キロ粒剤	3	0.9	9						1.20					0.	60				2	.40													-	2.00					1.0				
工力	セカンドショットSジャンボMX アトカラSジャンボMX	3		0.3	6												0.36																		2.	00								
植	ツイゲキ1キロ粒剤	3													0.	75							.00											4	2.50									
	ツイゲキ豆つぶ250 ニトウリュウ1キロ粒剤	3													3.0	00						12	2.00								_			1	10.00							\Box		
期	テッケン1キロ粒剤	2															0.50																				2.00							
	ニトウリュウジャンボ テッケンジャンボ	2															1.00																				4.00							
	ノブレクト乳剤	2	10.6																2.10																									
	バイスコープ1キロ粒剤 ルナクロス1キロ粒剤	2																																		3.0	00			2.0	00			
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	2											0	.40									11.	00																				
	ヒエクッパエース1キロ粒剤 ブイゴールSM1キロ粒剤	1 3					(0.33									0.30			9	.40	1	.50								_			_								\Box		
	レブラス1キロ粒剤	4								1.20							0.50			2	1.	.00	.50													3.0							10	.00
	レブラスジャンボ レブラスギア1キロ粒剤	3		+						3.00		\dashv			-				Н		2.	.50				\vdash		\vdash					+			7.5 2.5				1.5	50		25.	00
	ロイヤント乳剤	1								1.20								_	2.70																	2.0				1.6	, 5			
	ワイドアタックSC ワイドパワー粒剤	1 2															3.60 0.12						11.	00																				
	クリンチャー1キロ粒剤	1	1.8														0.12						11.																					
	クリンチャーEW クリンチャージャンボ	1	30.0 1.8																																									
移	トドメMF1キロ粒剤	1	1.4																																									
	トドメMF乳剤 トドメバスMF液剤	1 2	4.9	_																			18.	30																				
そ	ヒエクリーン1キロ粒剤	1											1	.20																														
他	ワンステージ1キロ粒剤 ヒエクリーン豆つぶ250	1												.80																														
	クリンチャーバスME液剤	2	3.0																				20.	00																				
	ノミニー液剤 バサグラン液剤(Na塩)	1										2	.00										40.	00																				
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,																																											

	1	T .																																						T				
	RAC 作用	1 ACCase阻得	害							2 ALS距								イン	4 ドール	: 酢酸様?	活性	5 光合F		6 F F	14 PPO阻害	Ę			VI	CFAs				+			27 自化			33			0 不明	
	ク゛	アリールオキシフ ロヒ [®] オン酸エ, テル	,0			スパ	ルホニ	ルウレ			<u> </u>	Ľ	リミジンゾエ	ニルベート	スルアニ	ンホン ニリド		フェ		ノカルオ		トリア・ン	ジッグ	ン チア Nーフェ	N-7 _x	その	アソ゛リ ルカル ホ゛キシ アミト゛	α –クロロア アミト゛	α -オ セト キソアセ	ナベンソ	アゾリ カルボ	+ 11/1	オキシラン	;	F.	リケトン			ラゾール	t° IJ			-	
成分ごとの使用回数(回以内) 、バサグラン粒剤(Na塩)	成分	シハロホップブチル33	ジムスルフロン	スルフロンメ	ロスルファムロン	T シ ス ル フ ロ ン	フロン	ルフロンメチル	ゾスルフロン	ブメルフロン	プロピリスルフロンコ リスルフロンコ リスルフロンコ リスルフロンコ リスルフロンコ	ピリバックナトリウ	クミノバックメ	フタリド	ピリミスルファン2	アモン	ペ ノ キ ス ス ラ ム 2	コメプロップ	ン ジ ジ ル 3	C P	C P	ジ メ タ メ ト リ ン 2	メ こ ト ジ ン こ 2 2 2	ベント キサゾン 22 2	カルフェントラゾンエチル 2	ピ ラ ク ロ ニ ル 2	エンストロール	タクロールル		フレセート	エントラザミド	イプフェンカルバゾン2	ンダノファン	ナノト	ソトリオン	リルトリオン	ベ ン ゾ ビ シ ク ロ ン 3	ランコトリオンナトリウム 1	ラゾキシフェン	ロピリモレート	A C N 3	ロメホン	ク 3 ミ イル ユロロロロンン ユロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	モ ブ チ カ ル フ
移植	1 1 1 1 1 1 1 2													40.30						1.20				000							27.00						.00		10.00	0	9.00			
アカツキ1キロ粒剤 アカツキフロアブル アカツキジャンボ アクシズMX1キロ粒剤 アシュラ1キロ粒剤 アシュラフロアブル アシュラジャンボ アシュラ400FG アピロファースト1キロ粒剤	3 3 3 3 3 3 3 3								1 4	.00 .90 .00 .80				2.40		0.50 0.96 1.25 1.25										2.00 3.80 5.00 5.00						2.0 3.8 8.0	0	3.00 5.70 12.00		3 5 5	.00 .80 .00 .00							
イネリーグ1キロ粒剤 イネリーグフロアブル イネリーグジャンボ イネキング1キロ粒剤 ウルティモZ1キロ粒剤 ウルティモZフロアブル ウルティモZジャンボ エンペラー1キロ粒剤 エンペラージャンボ	3 3 3 3 3 3 3 3									1	0.90		0.75	5				4.50 8.50 11.20								2.00					3.00 5.70 7.50			3.00		3.00 5.70 7.50	.00	10.00 6.00 11.00 17.10	00	3.00 5.50 8.60				
エンペラーフロアブル エンペラー豆つぶ250 直 播 カイシMF1キロ粒剤 カイシルエナジー1キロ粒剤 カウンシルエナジージャンボ カウンシルコンプリート1キロ粒剤 ボデーガードプロ1キロ粒剤	3 3 3 2 3 3 2	0.2	2						0.90				1.40 3.00 0.60)		0.50 1.20 0.50										3.70 8.00					3.00			5.60 12.00 3.00 7.50		3.00	.00	F						9.00
対ウンシルコンプリートジャンボボデーガードプロジャンボカウンシルコンプリートフロアブルボデーガードプロフロアブルガンガン1キロ粒剤ガンガンジャンボガンガン豆つぶ250キラリ1キロ粒剤	2 2 2 2 2														0.50 2.00 2.00																	2.0 8.0 8.0	0			5.80								
カラット1キロ粒剤 キラリフロアブル カラットフロアブル キラリジャンボ カラット400FG キラリ400FG カラット400FG	3 3 3								0.90 1.70 2.25 2.25																	2.003.805.005.00										2.003.805.00								
グノット400FG ゲパードジャンボ ゴエモン1キロ粒剤 ゴエモンジャンボ ゴエモンフロアブル コメット1キロ粒剤 コメット無粒	4 3 3 3 3 3								0.90 3.00 1.70	.60																2.00 25.00					2. 8. 4.	33				2.00	.00						25.	9.00 30.00 16.70

		I D.C.	-	_							0											1 ,	- 1	0.1	1.1	4	-				1.5						07			0.0	ı				—
		RAC 作用	1 ACCase阻得	害						A	2 LS阻	.害						-	インド・	4 一ル酢酢	俊様活性	光	5 <u></u> 合成阻	り 害	14 PP0別		+				15 As阻害	<u> </u>		-+			27 勻化			33 *			0 不明		\dashv
		グ	アリールオキシブ ロヒ [®] オン 西 俊エ, テル	0			スル	ンホニ ノ	ルウレ			· I-	ピリン	ミジニ ·ゾエー	ルベト	スルンアニ	ホンリドと	トリア			ルボン	トリ	アジン	^*ソ _{N-}	フェールーフ	7ェ リ そ(リ 他	アソ゛リ の ルカル は、キ、キシ アミト゛	$\alpha - \beta$	ロロアセト キ	χ - 	アングランカ	・ ゾリル ルボキ アミド	イソヤザ	オキシラン		トリケトン			ラゾー ル	t° IJ			-		
	成分ごとの使用回数 (回以内) サラブレッドGO1キロ粒剤 サラブレッドGOジャンボ	成分 4 4	シハロホップブチル33	ムスルフロン	ベンスルフロンメチル2	スルファムロン	シスルフロン	フルセトスルフロン2	(ゾスルフロン	ゾスルフロン	プロピリスルフロンエチル1	ピリバックナトリ	ピリミノバックメチル2	ピ リ フ タ リ ド 2	ピリミスルファン2	リアファモン	キススラム	ロップル	フロルピラウキシフェンベ A	C	メ タ メ ト リ ン	メトリン	ベ ン ト タ キ ザ ソ ン 2 2 2	ルフェントラゾンエチル	ラクロニル	ストロートル2 1 100	タクロ	チラクロール	ニルクロール	ンフレセート	7 イプフェンカルバゾン2	フェノキサスルホン2	ンダノファン	ンキノトリオン	ソ ト リ オ ン	ベ ン ゾ ビ シ ク ロ ン 3	ランコトリオンナトリウム 1	ピラゾキシフェン2	ロピリモレート		ロメホン	ロロン	ブーチ	ピ リ ブ チ カ ル ブ2
	サラブレッドGO400FG サラブレッドGO400FG サラブレッドGOフロアブル サラブレッドRXフロアブル ジェイソウル1キロ粒剤 ジェイソウルフロアブル ジエイソウルジャンボ ジェイフレンド1キロ粒剤 ジェイフレンドフロアブル ジェイフレンドジャンボ ジェイフレンド400FG ジカマック500グラム粒剤	4 4 4 4 3 3 3 3 3 3 3 3							2	2.25 1.70 1.70	60							6	.60							2.5 1.9 2.0 3.8 5.0 5.0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00				3.0 4.5 6.7	50				3.00 5.70 7.50 7.50	2.00	6.00 11.00 13.30		3.00 5.50 6.70		1.50 1.10 1.20 0.30 0.57 0.75	9.	22.50 16.70 50	
	シグナス1キロ粒剤 シグナスジャンボ シグナスフロアブル 忍1キロ粒剤 忍フロアブル 忍ジャンボ ジャスタ1キロ粒剤 クサウェポン1キロ粒剤 シュナイデン1キロ粒剤 シュナイデンジャンボ	3 3 3 3 3 3 3								0. 2. 1. 0.90 1.80 4.50	60 00 20						0.50									2.0	00				3.C 10. 6.C	00				1	2.00 3.90 0.00	6.00 10.00 25.00	,	3.00					
」 一発処理	シュナイデンフロアブル シンズイZ1キロ粒剤 シンズイZ フロアブル シンズイ豆つぶ250 ストレングス1キロ粒剤 ゼータジャガー1キロ粒剤 ゼータジャガージャンボ ゼータジャガーフロアブル	3 4 4 4 3 3 3 3									10 0. 1. 3. 0. 4.	.90 .60 .60 .90 .50					0.50		0.	.45				2.0	00									3 12	3.00 3.40 2.00 3.00 5.00 5.00	3.00	3.60	18.20				0.80 1.10 2.40		9.00 16.10 36.00	
Ai	ゼータタイガー1キロ粒剤 ゼータタイガーフロアブル ゼータタイガー300FG ゼータタイガージャンボ ゼータプラス1キロ粒剤 ゼータプラスブロアブル ゼータプラスジャンボ ゼータプラス200FG ダブルスターSB顆粒	3 3 3 2 2 2 2 2 3									1. 3. 3. 0. 1. 4.	.90 .70 .00 .00 .90 .70 .50												2.0 3.7 6.6 6.6	70 67						25.	00		5 15	5.00 5.80 5.00 5.00	2	25.00							9.00 16.80 30.00 30.00	
	ダンクショットフロアブル ダンクショットジャンボSD ツルギ250粒剤 ツルギジャンボ ディオーレ1キロ粒剤 ディオーレフロアブル ディオーレジャンボ ディオーレ顆粒	3 3 3 3 3 3								2.	00 00 00 50									.94							5.70					10.00				1 8	3.80 .0.00 3.00 3.00					0.40 0.80 1.00 5.00			
	テッシン1キロ粒剤 天空1キロ粒剤 天空ジャンボ 天空フロアブル ドニチS1キロ粒剤 ドリフ1キロ粒剤 ノックアウト楽粒 バッチリ1キロ粒剤	3 3 3 3 4 4 4 3			0.75		0.17			0.							0.40	4	.50				6.00			2.0				18	3.0 10. 6.0 3.0 2.0	00 00 00 00		3	3.00	1	3.00							9.00	

		DAG	1								0							4					1./					_					97			100	<u> </u>		0	
		RAC 作用	ACCase阻急	丰							<u>2</u> 阻害					\dashv	インド	<u>4</u> ール酢酸	様活性	5 光合成	16		<u>14</u>)阻害	:				5 s阻害			-		27 白化			33	_		0 不明	
		11-713	Accase PIL E	1						ALO	四日	T		\top		1 11-7	-101	/ Hrex		Л П //		110		711	. ,,		, [+		μπ	T		*	,		1.91	
			アリールオキシフ [°] ロヒ [°] オン酸エス				スルズ	ナール	ウレア				ミジニル				フェノ	゚キシカノ	レボン	トリアシ	シーグ チア		ーフェ ルトリ そ	アソ その <i> 1</i> カ1	リ ル α ーク	クロロアセト	αーオ キソアセ ベ:		ブリル ンボキ	1777	ナキンラ	k 11	リケトン		ピラゾ	·— 5 3) /		_	
		プ゜	テル	^			<i>\(\)</i> \(\)	N-10	90)			ン	ゾエート	ア	ニリド	ピリミ ジン		酸		ン	シェア シェノン	h	ソ゛リ ノン	他 ボキアミト	シア	₹*	トアミン	シア シア	アミド	ゾリン	ン	r 2	クトン		ル	ンジン	オ			
			シメ	7	\sigma'	37	~ ·	フー,	<u> </u>	7 7	プレ	L.v	F ₀ 1	° L°	· L	~	カ、	/フ M	M	ジーシ	<i>,</i> ,,	0	力	ピカ		ープ	アー テーフ	ジーフ	1	フ	1 7	7 2	テーベ	7	P₀	ピシ	Λ Λ	ーナー	カ た	゛゙゙゚ヺ゙゙゚レ゜
				37	ン	ク	L	ルド		7 9	ロ ラ		ן ט	11				口	IVI				ル						プ	エ	1 / I	_	フレン	ン		ラーク		4		
			ロタ		ス	口			z X	, ,	トッツ	ピリ	₹ !		IJ	1	П	ルピ		メ	ン		フェ	ラ	タ	チ	=		フ	1	$\begin{array}{c c} \nu & \nu \end{array}$, ソ	リゾ	コト	ラ	y D		サ	1 1	р J
			ホミ	A	ル	ス	シ	h /	ルー		リリル		1.	7 7		キ	メ	ラ C	С	タ			ン	η V	/ h		ル		エ	+	ダキ			IJ	\ <i>j</i>	ر ا ا		ジ		て ブ
		成分	ッ	ス		ルっ		スー		ス	スフ	ク	バッ		フ	ス	プミ	ブウ キ		メト	タ	+	トラー			ラ	ク	h	ンカ	サ)]	. '		塩~		キリリ	С	ク	12 2	
		37	プポ		ロン	ファ	ル		·/	レル	1 1	1	7 /	ノル	ア	ス	П	₹ シ	P	F		+}-	ゾ	П	П	7	П	ラーボ	カル	ス	フ ト	. リ	トシ	ナ	V	シーモ		口口		ブーカ
			ブーッ	フ	メ	4	フ	フーラ	x 7	フーフ	フレエ	J J	メール	」				フェ	1	IJ	ゾ		ンエ	= 0	1	口	1	, サ	バ	ル	IJ		リク	٦.	1	フレ	,	メ		4
			チ	口	チ	П	口	П =	チード	2 1	ローチ	'/	チ	ア	モ	ラ	ツ	ン		IJ		ゾ	チ	_ 1	'	1 1	I	3	ゾ	ホ	アオ	- ~	才口	ウ	.	エー		ホ) ル
	キハギトのは田 <u>同米</u> (同以内)	Щ	ルプ	ン	ル	ン	ン	ン /	レン	/ ン	ンル	塩	ル	、ン	ン	4	プル	レベ A	В	ンン	ン	ン	<i>/\u03b4</i>	ルル	ルル	ル	ル	トド	ン	ン	ンン	ン	ンン	7	<u>۱</u>	ント	N	ン	ンン	ドブ
	成分ごとの使用回数(回以内) ッチリフロアブル	3	3 3	1	2	2	2	2 2	$\frac{2}{1.7}$	70	2 1	1	2 2	2 2	2	2	2	3 1	2	2 2	2	2	_	2 1	2	2	2	2 1	2	2	2 2	2	2 3	1	2	2 2	3	2	2 2	2 2 16.30
	ッチリジャンボ	3							2.2															5.00																22.50
ノギッ	ッチリ400FG	3							2.2	25													5	5.00																22.50
	ッチリLX1キロ粒剤	4							0.9	_														2.00														0.40		9.00
	ッチリLXジャンボ ッチリLX400FG	4							2.2														_	00.00														0.75		22.50 22.50
ノギッ	ットウZ1キロ粒剤	3							2.2		0.90													2.00									2.00)				0.10		
バ	ットウZフロアブル	3									1.70												3	3.80									3.80							
	ットウZジャンボ いチャージジャンボ	3 2						4.4			2.25											1	.80	00.									5.00)						
	レチャージジャンボ レパワーMXジャンボ	3						.44														1	.00	.00								1.80								
	ッカク1キロ粒剤	3						. 10						0.50	0								1							2.00	3.0									
	ッカクジャンボ	3												2.00	0															6.00	12.0									
	ルーガ1キロ粒剤	2 2											0.90			_										-					3.0									
	ルーガジャンボ ルーガ豆つぶ250	2											3.60			-															12.0									
	ランティアジャンボ	3 3							2.2	25			0.00											7.50	0								5.00)						
	スラオ1キロ粒剤								0.9				0.60													\Box					3.0	-								
	スラオジャンボ スラオフロアブル	3							4.5	70			3.00			\dashv															15.0 5.8									
	ヘノス ノロノ ノル ブゼータ1キロ粒剤	2							1.1	10	0.90		1.20			\dashv							2	2.00							0.0									
メオ	ブゼータ400FG	2									2.25													5.00																
	ケトリーZ400FG ブゼータジャンボ															\rightarrow																								
	クトリーZジャンボ	2									2.25												5	5.00																
メス	ブゼータフロアブ <i>ル</i>	2									1.70												3	3.90																
	ケトリーZフロアブル イジンパワージャンボ	3														\rightarrow								3.00						9	.40		6.00)						
	ナウ1キロ粒剤	4			0.75																		- 3	.00						1.50	2.5	0	0.00	'					6.0	0
レス	ナゼータ1キロ粒剤	3									0.90																				3.0									9.00
	ナゼータフロアブル	3								2.00	1.70					_				0.50											5.6		7.50						05.	16.70
	ブラスジャンボ 星1キロ粒剤	3								3.00						-				2.50		2.50									3.0		7.50						25.	00
流。	星ジャンボ	3								2.50												6.25									7.5									
	星フロアブル	3								2.00												5.00		. 0.0							6.0	0								
	河1キロ粒剤 光1キロ粒剤	3								1.00													2	3.00	0														10.	
アレ	ノイルSC	2						1.8	80	2.40														0.00															10.	
	ノードコア1キロ粒剤	3														0.50		.40															2.00							
	アードコアジャンボSD アードコア200SD粒剤	3														2.50		.00															10.00							
	パードコナ2005D松州 パード1キロ粒剤	4								1.20						2.00	2	.00					2	2.00									2.00						10.	00
単シ	アゲMF1キロ粒剤	3	0.9											0.60	0				2.40																					
	カンドショットSジャンボMX トカラSジャンボMX	3		0.36												0.36																2.00								
	トカラSシャンホMX イゲキ1キロ粒剤	3												0.7	5					3.0	0										2.5	0								
世世ツィ	イゲキ豆つぶ250	3												3.00						12.0											10.0									
	トウリュウ1キロ粒剤	2														0.50																	2.00)						
以に	ッケン1キロ粒剤 トウリュウジャンボ															4.00																								
テジ	ッケンジャンボ	2														1.00																	4.00)						
	ブレクト乳剤	2	10.6														2	.10																						
	ジMF1キロ粒剤 ジMF乳剤	1	1.4																																					
トド	メバスMF液剤	2	1.2																		18.30																			
バ	イスコープ1キロ粒剤	2																															3.00			2.00	0			
ル	ナクロス1キロ粒剤																																			2.00	-			

	RAC	1 1									2										1		$\overline{}$	5	1 6	· T	14		1				15							27	7			33	$\overline{}$		0		
		ACCase	R宝								<u>2</u> 3阻害	<u> </u>							1	ンドー	<u>4</u> -ル酢	60.	灶:				PPO阻		+			VIC	FAs阻	宝			+			<u> </u>				*	_		不 不		
	ТЕЛП	Ассаѕер	<u>. </u>							ΛL	川山古		Т			т-		\top	+1	V 1.	/ Hr	校祝口	1.	, 니 다 년			T OPEL	T	+	Т		VLC.	LVSbH	一		$\overline{}$	+			ΠΊ	<u>L</u>	$\overline{}$		+	+-			71	
		アリールオキシ ロヒ [®] オン 酉 変 テル				7	スルホニ	ニルウ	'レア						ニル〜	× ス.ア	ルホン ニリト	トリソドピリンド	アロフドン	エノ	キシカ 酸	ルボン	/ 1	トリア	ジッジジジ	// - 1./	N-フェ ニルトリ アソ゛リ ノン	他	アソ゛リ ルカル ホ゛キシ アミト゛	, P	'ロロアセト ミト゛	α −オ キソアセ トアミ ト	ベンゾ フラン	アゾリ カルポ シアミ	(キー!!)	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	キラノ		トリケ	トン			ラゾー ル	e*リ タ*シ*オ ンシ*オ ン			-		
	成分	ロボップブ	タミホッ	フムスルフロンメ	レジアルコン	コスレファム	トスルフ	スルフロンメ	マゾスルフー	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ピリスルフ	ゾスルフロンエ	ハックナトリ		フ		, P	キスス	ロロ・メ フロ・ロロ・ロロ・ロロ・ロロ・ロロ・フロ・ロロ・フロ・フロ・フロ・ロロ・ロロ・ロ		ロルピラウキン			ジメタメトリ	× × ×	ペントキサゾ	カルフェントラゾンエチル	ラ	カフェンストロー・	タ	プレチラクロー・	テニルクロー・	ベンフレセー・	ントラザ	フェンカルバ	サーク)			ゾ	塩、	ランコトリオンナトリウ・ピーラーゾーレート	ラゾキシ	クロピリモレ	A C	オキサジクロメホ	クミルロ	ダイムロ	ブロモブチル
成分ごとの使用回数(回以内)		3	3	$\frac{1}{1}$	2 2	$\frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$	2	2	1 2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1//	$\frac{1}{3}$	1 2	3	2 2) 9	2 2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2 2	2 2	2 2	2 2	3	1	$\frac{\Delta}{1}$ $\frac{\Gamma}{2}$	2	2	3	2	2	2	2 2
ヒエクリーンバサグラン粒剤	2	0	5	1 2					+-			1	1	0.40	_					,					11.				1			2		1						- 5	1	1	-	Ť	1				
直レブラス1キロ粉刻	4								+	1.20				0.10									1.	00	111														3.0	0				+-				10.00	
明播以稿ロイヤント乳剤	1																			2.	70																												
降 2 アイドアタックSC	1																	3.6	0																							\top		\top			\Box		
ワイドパワー粒剤	2																	0.1	2						11.	00																							
クリンチャー1キロ粒剤	1	1.8																																															
クリンチャーEW	1	30.0																																															
直 ヒエクリーン1キロ粒剤	1													1.20	0																																		
播 ヒエクッパエース1キロ粒剤	1						0.33	3																																									
ヒエクリーン豆つぶ250	1													4.80	0																																		
そ クリンチャーバスME液剤	2	3.0																							20.	00																							
の バサグラン粒剤(Na塩)	1																								11.	00																							
他 バサグラン液剤(Na塩)	1																								40.	00																							
モゲトン粒剤	1																																												9.00				
ワンステージ1キロ粒剤	1													1.20	0																																		

(9) 刈取後、畦畔等除草剤使用基準

① 刈取後除草剤

	107 .			
除草剤名	10アール 当たり 使用量	使 用 時 期	使 用 方 法	注 意 事 項
プリグロックスL ジクワット 7% パラコート 5%	800~ 1000ml (移植水稻) 600~ 1000ml (直播水稻)	稲刈取後または 春期水田耕起1か 月前~直前まで	雑草茎葉散布 10a当たり 100~150 ℓ に 溶かして散布	・毒物につき、取扱注意。 ← (保管、安全使用) ・ミスト機での散布はしない。 ・隣接の作物、水源地・養殖池等 へ飛散、流入させない。
ラウンドアップ マックスロード グリホサートカリウム塩 48%	200~ 500ml (一年生雑草) 500~ 1000ml (多年生雑草)	稲刈取後 雑草生育期	雑草茎葉散布 10a当たり 通常散布で50~1000、 少量散布で5~500に溶 かして散布	・散布後2時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。 ・専用ノズルを使用する。 ・養魚田およびその付近では使用しない。 ・眼に入らないよう注意する。 ・皮膚に付着しないよう注意する。
ザクサ液剤 グルホシネート P ナトリウム塩 11.5%	300~ 500ml	水田刈跡	雑草茎葉散布 10a あたり 100~1500	•一年生雑草 雑草生育期
クサトールFP水溶剤 クロレートS L 塩素酸ナトリウム 60%	10~13 kg (マツバイ) 13kg (ミズカヤツリ)		雑草茎葉散布 10a当たり80~100 g に溶 かして散布	・消防法の適用を受けるので取扱いには十分注意する。 ・◆ 「(厳重保管、安全使用) ・火気・衝撃を避ける。 ・衣類などに付着すると着火することがあるので火気を避けるとともに、作業終了後薬剤の付着した衣類や地下足袋はよく水で洗う。 ・隣接の作物、水源地・養殖池等へ飛散、流入させない。 ・散布前後に石灰や木炭を施用しない。

② 水田畦畔除草剤(雑草発生前処理)

除	草	剤	名	10アール 当たり 使用量	使	用	時	期	使	用	方	法	注	意	事	項
カソロ	ン粒剤な	1. 5 DBN	4.5%	6~12 kg 6~15 kg (スキ*ナ)		草発	·春期 生前·		全面	上壤散石	布		除く)、 を除く ・水源》 しない	ま、一年生、多年生ル、多年生ル(1)、スギナは、養殖池といように注え	広葉雑草(。 。 1等に飛間 意する。	マメ科

除	草	剤	名	10アール 当たり 使用量	使	用	時	期	使	用	方	法	注	意	事	項
カー>	メックス[DCMU	80.0%	150~ 300g			前~初期		10a≟	兼土壌 áたり70 かして間	~100 ()の水		20℃以上 効果的。	で高湿度の	の条件
ダイロ	ンゾル	DCMU	50.0%	200~ 250ml		期(重	生前~ 草丈1		土壌	当たり 1						
カーン	メックス界	類粒水 DCMU		150~ 300g	発生	上始其 Ξ揃期	前、 朝~ 計 cm 以	推草	土壌 10a	茎葉散 散布 áたり25 かして間	~300 €					

③ 水田畦畔除草剤(雑草生育期処理)

除 草 剤 名 プリグロックスL ジクワット 7%	10アール 当たり 使用量 600~1,000ml	使 用 時 期 雑草生育期	使用方法	注 意 事 項 ・前頁注意事項参照		
パラコート 5%	(一年生雑草) 1,000~2,000ml (多年生雑草)	张	10a当たり 100~150 0 に 溶かして散布	·毒物 🗗		
クサトールFP水溶剤 クロレートS L 塩素酸ナトリウム 60%	7.5∼15 kg	雑草生育期	雑草茎葉散布 10a当たり 100~200 ℓ に 溶かして散布	·前頁注意事項参照 .◆		
ラウンドアップ マックスロード グリホサートカリウム塩 48%	(一年生雑草) 200~1,000ml (多年生雑草) 1,500~2,000ml (スギナ) 200~1000m し (一年生及び 多年生雑草)) 500~1,000ml (一年生雑草) 及び多年生土 葉雑草))		雑草茎葉散布 10a当たり50~100ℓ(通常 散布)に溶かして散布 10a当たり(少量散布)5~ 25ℓに溶かして散布 (ULV5/xル使用)	・草種によって、薬量が異なることがあるので、ラベルに記載された使用方法をよく読んでから使用する。 ・ラウンドアップマックスロードは散布後2時間、バスタ液剤は6時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。 ・散布後2~3週間は刈取りをしない。 ・専用ノズルを使用する。 ・周囲の作物に飛散させない。 ・養魚田およびその付近では使用しない。		
バスタ液剤 グルホシネート 18.5%	500∼ 1,000mℓ	稲収穫7日前まで (雑草生育期: 草丈30 cm以下)	雑草茎葉散布 10a当たり 100~150 ℓに 溶かして散布 少量散布は 30~401/10a	・眼に入らないよう注意する。 ・皮膚に付着しないよう注意する。		
ザクサ液剤 グルホシネート P ナトリウム塩 11.5%	500∼ 1,000mℓ	稲収穫7日前まで (雑草生育期: 草丈30 cm以下)	雑草茎葉散布 10a当たり 100~150 ℓに 溶かして散布	・養魚田およびその付近では使用しない。		

	ı			T
除草剤名	10アール 当たり 使用量	使 用 時 期	使 用 方 法	注 意 事 項
タッチダウンiQ グリホサートカリウム塩 44.7%	250~500m0 (一年生雑草) 500~1000m0 (多年生雑草) 1,500~2,000m0 (スギナ)	稲収穫14日前まで (雑草生育期: 草丈30 cm以下)	雑草茎葉散布 10a当たり 50 ~1000 に 溶かして散布	・散布後2時間以内に降雨が予想されるときは使用を避ける。・飛散防止のためキリナシノズルを使用して低圧で散布する。
草枯らしMIC シンノングリスター グリホサートイソプロピルアミン塩 41%	250~500ml (一年生雑草) 500~1000ml (多年生雑草)	稲収穫14日前まで (雑草生育期: 草丈30 cm以下)	雑草茎葉散布 通常散布では1000に溶かして使用	・散布後6時間以内に降雨が予想される場合は散布を見合わせる。 ・散布後2~3週間は刈取りや耕耘をしない。 ・専用ノズルを使用する。 ・養魚田およびその付近では使用しない。 ・眼に入らないよう注意する。 ・皮膚に付着しないよう注意する。 ・ジェネリック除草剤としてエイトアップ液剤、クサトローゼがある。
サンダーボルト 007 グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0% ピラフルフェンエチル 0.16% グラスショート液剤 ビスピリバックナトリウム塩 3.0%	400∼ 600mℓ 300∼ 500 mℓ	稲収穫14日前まで (雑草生育期: 草丈30 cm以下) 雑草生育初期(草 丈10cm)及び草刈 り後10~20日の 雑草再生期(収穫 前日まで)	雑草茎葉散布 10a当たり1000に溶かして散布 雑草茎葉散布 10a当たり50~1000に溶かして散布	・激しい降雨が予想される場合は使用を避ける。 ・付近の有用作物にかからないように散布する。 ・草丈抑制による刈り取り軽減。 ・畦畔のイボクサに効果あり。

(10) 除草剤体系 (例)

① 移植栽培田

除草剤を使用する場合、使用時期が「移植後△日~ノビエ〇葉期(ただし移植後□日まで)」というように規定されている。

また、移植後◇日以内、または収穫前◎日以前という規定もあるので、使用時期には十分注意する。 同一圃場で除草剤を複数回使用するときは、各薬剤の使用回数だけでなく、薬剤の成分ごとの使用 回数を超えないこと。

稚苗の機械移植の場合は苗の素質、活着状態、浅植えなどの条件により薬害の出る恐れがあるので、 次のことを留意のうえ使用する。

- 健苗で活着良好であること。
- 田面の整地が丁寧で均平が良く、水深は3~5cmであること。
- 極端な浅植えは避け、水稲根が地表に露出しないようにする。

(ア) 一発除草剤を使用する場合

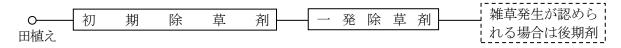
通常、一発除草剤を適正に処理すれば十分に雑草防除が可能である。

- 一般的に「初期一発剤」と呼ばれるもの、一般的に「初中期一発剤」と呼ばれるものが、適期処理が労力的に困難な場合、もしくは雑草多発田である場合は、初期剤を併用する。
 - ・散布後7日間は湛水を保ち、落水や掛け流しはしない。水尻や畦畔からの漏水、オーバーフローもさせない。
 - ・減水深2cm以上の圃場では、薬害の恐れがあるので使用しない。
 - ・多年生雑草発生田では、使用時期のうちで早めに処理する。
 - ・残草が目立つ場合は、後期剤を処理する。
- a) 初期一発剤を用いる場合



b) 初中期一発剤を用いる場合

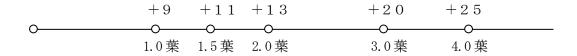
c) 初期剤との体系で用いる場合



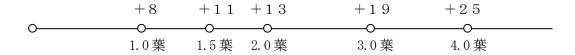
- ・初期剤の抑草期間は、およそ20~25日。
- 一発除草剤の使用時期(田植後日数など)を守る。
- ・初期剤にプレチラクロールを含む剤を使用する場合、同一成分(プレチラクロール)を含む一 発剤の使用は避ける。また、各除草剤に含まれる成分ごとの使用回数も確認し、その回数を超 えないように薬剤を選択する。

<ノビエの葉齢の進み方(福井県嶺北地方平坦地での例)> 代かき日を+0日とした場合(移植時期や播種時期が5月10日頃の場合、移植や播種は代かき後3~5日)

・移植栽培 (移植時以外は湛水条件)



・ 湛水直播栽培 (播種直前~播種後10日程度は落水条件)



(気温が高い時は葉齢の進展はこれより早まる)

(イ) 一発除草剤を使用しない場合(初期剤+中期剤の体系)



(ウ) 田植同時処理(「移植時」(田植同時処理)の登録のある薬剤のみ)

「移植時」登録のある除草剤 雑草発生が認められる場合は中後期剤

- ・田植機にセットした散布機械で散布するが、作業前に散布量をよく調節してから使用する。
- ・薬剤によっては、砂壌土では登録がないものもあるので注意する。
- ・田植えと同時に散布できなかった場合は本田に散布する(使用時期は薬剤により異なる)。
- ・後期に残草が目立った場合は、体系処理とする。
- ・軟弱苗となった場合、浅植えの場合は使用しない。
- ・田植え時の土壌表面を硬くし過ぎない(根が露出しないようにする)。

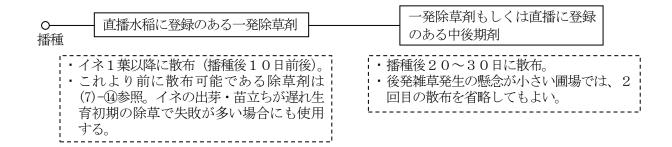
② 直播栽培田

使用時期について、稲の葉齢やノビエの葉齢、収穫前日数の規定があるので、これらを遵守する。 同一圃場で除草剤を複数回使用するときは、各薬剤の使用回数だけでなく、薬剤の成分ごとの使用 回数を超えないこと。

(ア) 湛水直播

除草剤散布は、体系処理を基本とする。

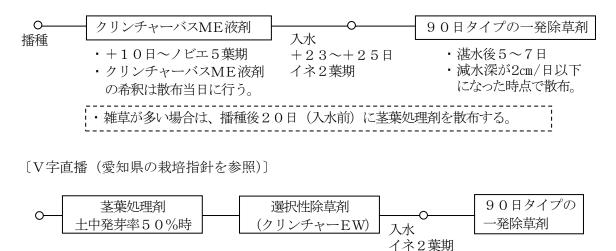
出芽安定のため播種後は落水管理を原則としているが、これは除草剤の効果確保の面からすれば望ましくない。田面に大きな亀裂が入らないよう、また黒ボク土などでは特に土が乾きすぎないよう適宜入水する。



[注意事項]

- ・同一除草剤の2回使用は避ける。
- ・使用する薬剤の成分ごとの使用回数にも留意し、薬剤を選択する。
- ・SU抵抗性雑草の発生に注意する。

(イ) 乾田直播

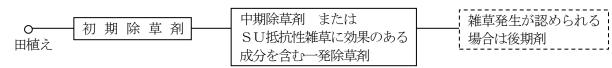


③ スルホニルウレア系 (SU) 抵抗性雑草に対する除草体系

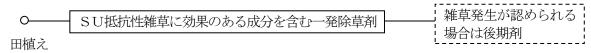
SU剤は少量で効果的で、多くの一発剤に混合されてきたところだが、SU剤に抵抗性のあるアゼナ、ホタルイ、コナギ等の発生が認められている。残草が多く、SU剤を連用してきたところはその疑いがある。

SU抵抗性雑草であることを確認した場合は、以下の除草体系により防除する。 栽培期間の途中からSU抵抗性雑草を防除する場合は、後期剤で対応する。

(ア) 体系除草



(イ) 一発除草剤



(注) SU抵抗性雑草を抑えるためには、初期剤と中期剤の体系処理が最も効果的である。一発除草剤を使う場合は、雑草の葉齢が進んでいない、できるだけ早い使用時期(適用範囲)に使用する。

<参考1>

ホタルイが多発する水田での対応について

近年のホタルイの葉齢進展は、ノビエとほとんど同じである(下図)。

初中期一発除草剤のホタルイの限界葉齢は2葉期のものが多いため、ノビエの葉齢だけを見て除草剤を使用すると、ホタルイが限界葉齢を超えており、枯殺できないことがある。ホタルイの防除可能な葉齢は除草剤のラベルに記載されているので、よく確認してから散布を行うようにする。

また、5月中の気温が高いと雑草の生育が早く進み、限界葉齢で処理を行うと取りこぼすことがあるため、葉齢に余裕を持って散布を行うと効果が高まる。

ホタルイが水田内で目立つようになるのは花茎が伸びだしてからであり、その時には一発除草剤はほとんど効果が見られないので、すみやかに中後期剤を処理する。

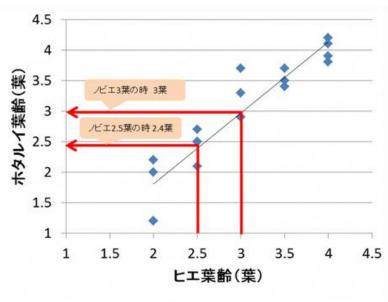


図 ヒエとホタルイの葉齢進展の関係

(福井県農業試験場、H25~29 適 2 試験の平均、移植栽培)

④ 多年生雑草(ウリカワ、ホタルイ、オモダカ、ミズガヤツリ)多発田の場合

 初期剤
 一発除草剤
 粒状水中MCP

 バサグラン粒剤(Na塩)
 バサグラン液剤(Na塩)

 バサグラン・エアー1キロ粒剤

多年生雑草に対する除草有効期間は非常に狭いので、適期に散布する。

⑨と組み合わせることでさらに高い効果がある。

⑤ ノビエ取りこぼし田

クリンチャー1キロ粒剤 (ヒエクリーン1キロ粒剤 ワンステージ1キロ粒剤 ヒエクッパエース1キロ粒剤 クリンチャーEW トドメMF1キロ粒剤 トドメMF1キロ粒剤 移植:ノビエ4葉期まで、直播:ノビエ3葉期まで 移植:ノビエ4葉期まで、直播:ノビエ4葉期まで

移植: ノビエ5葉期まで、直播: ノビエ5葉期まで 移植: ノビエ6葉期まで、直播: ノビエ5葉期まで 移植: ノビエ5葉期まで、直播: ノビエ4葉期まで 移植: ノビエ7葉期まで、直播: ノビエ6葉期まで

⑥ ノビエも広葉雑草も目立つ田

クリンチャーバスME液剤

ヒエクリーンバサグラン粒剤

ワイドアタックSC

アレイルSC

ワイドパワー粒剤

ロイヤント乳剤

シアゲMF 1キロ粒剤

移植:移植後15日~ノビエ5葉期、収穫50日前まで 直播:播種10日後~ノビエ5葉期、収穫50日前まで

移植:移植後15日~ノビエ4葉期、収穫60日前まで 直播:イネ3葉期~ノビエ4葉期、収穫60日前まで

移植:移植後20日(稲5葉期以降)~ノビエ6葉期まで

収穫30日前まで)

直播:イネ3葉期~ノビエ5葉期、収穫30日前まで

移植:移植後20日~ノビエ5葉期、収穫45日前まで

出穂始期15日前まで

直播:稲4葉期~ノビエ5葉期、収穫45日前まで

出穂始期15日前まで

移植:移植後20日~ノビエ5葉期、収穫60日前まで

直播:稲4葉期~ノビエ4葉期、収穫60日前まで

移植:移植後20日~ノビエ5葉期、収穫45日前まで

直播:稲3葉期~ノビエ5葉期、収穫45日前まで

ホタルイは適用雑草ではない

移植:移植後20日~ノビエ4.5葉期、収穫60日前まで直播:稲3.5葉期~ノビエ4.5葉期、収穫60日前まで

⑦ ウキクサ、藻類多発田



ウキクサ、藻類の多発田のみ使用する。 トリアジン系中期除草剤を直ちに散布するときは、使用する必要はない。

⑧ 中後期剤を使用する場合

中後期剤は、対象草種の葉齢等にあった除草剤を選択し、適量を散布する。ただし、それ以前に 散布した除草剤と同じ成分の入ったものの使用は避ける。また、粒状水中MCPを使用する場合、 有効分げつ終止期以前に散布すると、十分な有効茎が確保できない場合があるので注意する。

9 稲刈取後の雑草防除

ミズガヤツリ、クログワイ、セリ、オモダカなど難防除雑草の多い圃場で使用する。

- ア) 刈取後なるべく早めに除草剤を散布し、地上部を枯死させ、地下茎の形成を阻害する。
- イ) 塊茎形成時期はかなり幅があり、早いものは9月中~下旬にすでに塊茎の形成がみられる。
- ウ) 散布時期が遅れるほど塊茎の数が多くなるので除草効果が劣る (9月中下旬まで)。
- エ) 2年連続で秋散布をすると、ほぼ根絶が可能となる。

(散布上の注意)

- 散布前後に降雨があると効果が落ちるので、天候をよく見極めて散布すること。
- 田面がワラで覆われているときは、雑草が発生してから散布し、茎葉に薬剤をよく付着させる。
- 散布する場合、圃場周辺の作物の薬害防止に細心の注意を払う。

*薬剤は例

上記以外の薬剤は、(7)本田除草剤の使用方法を参照すること。

3 水稲植物成長調整剤

(1) 湛水直播栽培の発芽率向上、苗立歩合の安定

薬剤名	使用時期	処 理 量	処理方法	回数	注 意 事 項
カルパー粉粒剤16 過酸化カルシウム 16%	は種筋後	乾燥籾重 量の等倍 ~2倍量	湿 粉 衣	1	・は種前日に粉衣する。 ・発芽した籾は使用しない。 ・陰干しし、薬剤が固化してから播種する。 ・眼に強い刺激性があるので、眼に入らないように注意する。 ・直射日光を避け、酸類と隔離し乾燥した場所に密封して保管する。 ・無人ヘリコプターによる散播時にも使用可。
タチガレエースM粉剤 ヒドロキシイソキサゾール 4% メタラキシルM 0.25%	は種前	乾籾重量の 3 %	過酸 ルシウム剤 に 種 板 衣 数 て る る る る る る る る る し る る し る る し る る し る	1	・根の生育促進による苗立の安定
オクソスDS 過酸化カルシウム 19%	は種前	乾燥種籾 重量の 0.5倍~ 等倍量	種子粉衣(湿粉衣)	1	・苗立の安定

(2) 節間短縮による倒伏軽減

薬剤名	使用時期	10a当たり 処 理 量	処理方法	回数	注 意 事 項
スマレクト粒剤 パクロブトラゾール 0.6%	出穂15~ 10日前 (登録は出穂20 ~7日前	2~3kg	湛水散布	1	・均一散布 ・散布後7日間は落水やかけ流しをしない。 ・砂壌土では2kg/10a施用とする。 ・本剤を使用した水田土を野菜類の育苗用床土に使用しない。
ビビフル粉剤DL プロヘキサジオンカルシウム塩 0.12%	出穂10~ 5日前	3~4kg	散布	1	・均一散布・散布の際はマスクを着用し、作業 後はうがいをする。
ロミカ粒剤 ウニコナゾール P 0.04%	出穂25〜 10日前	2~3kg	湛水散布	1	・均一散布・黒ボク土壌では効果が劣る場合がある。・散布後7日間は落水やかけ流しをしない。・スマレクト粒剤の注意事項を参照。